

平成 29 年度

卓越研究員事業

公募要領等

文部科学省 科学技術・学術政策局

平成 29 年 1 月



## < 目 次 >

公募要領	1
1. 事業の目的	4
2. 事業の概要	4
3. 卓越研究員候補者の選考及び卓越研究員の決定	10
4. 申請方法	11
5. 取組の実施	14
6. 留意事項	15
7. 問合せ先	24
8. スケジュール（予定）	24
審査要領	29
申請様式	33
<研究機関様式>	
(研究機関_様式1)	33
(研究機関_様式2)	35
(研究機関_様式3)	37
<研究者様式>	
(研究者_様式1)	41
(研究者_様式1別紙)	43
(研究者_様式2)	44
(研究者_様式3)	54
参考様式（分野・分科表等）	55



平成 29 年度

卓越研究員事業

公募要領

文部科学省 科学技術・学術政策局

平成 29 年 1 月



## 用語の説明

本事業に関する用語の定義等は以下のとおりとします。

### 「テニユアトラック制」

若手研究者・教員のキャリアパスの明確化に資するため、以下の要件を満たした形態で研究者・教員を採用する人事制度のこと。

- ①国際公募を実施するなど、公正で透明性の高い選抜方法で採用すること
- ②一定の任期（5年程度）を付して雇用すること
- ③任期終了前に公正で透明性の高いテニユア審査が設けられていること

### 「研究責任者」

独立した研究体制の中で、若手研究者・教員を牽引するリーダーとして活躍するとともに、若手研究者・教員の指導者としての責務を負う段階にある研究者・教員。

### 「若手研究責任者」

独立した研究者・教員の初期段階であり、より経験を積んだ者から適切な助言を受けながら、自立的な研究環境の中で研究を進める段階にある研究者・教員。

### 「メンター」

若手研究責任者が自立して研究することができるよう、研究室運営のノウハウを習得させ、また、自ら筆頭研究者として外部資金を獲得できるようにするために広範囲の助言等を行う経験や知識のある研究者・教員等。

### 「クロスアポイントメント制度」

研究者・教員が大学等と他の機関のそれぞれと雇用契約を結ぶ等により、各研究機関の責任の下で業務を行うことができる制度。

## 1. 事業の目的

近年、短い任期での雇用など不安定な雇用によって、新たな研究領域に挑戦し、独創的な成果を出すことができるような環境に若手研究者が置かれておらず、我が国の科学技術や学術研究の持続的な発展が不安視されています。また、産学官のセクター間を越えた研究者の流動性が低く、人を介した知の移転がなされず、世界規模での急速な産業構造の変化への対応が困難となっています。

一方、人材の育成・活躍促進や多様性の確保に向けては、大学や公的研究機関、企業等が、組織として人材育成やキャリア形成に強い責任感を持って取り組むことが重要です。また、若手研究者自身も、自らのキャリアパスは自ら切り拓くものとの意識を持ち、自らの持つ能力を高め、社会の様々な場でその能力を発揮していくことが求められています。

このような状況を背景とし、新たな研究領域に挑戦するような若手研究者が安定かつ自立して研究を推進できるような環境を実現するとともに、全国の産学官の研究機関をフィールドとして活躍し得る若手研究者の新たなキャリアパスを提示するため、「卓越研究員事業」を実施します。

## 2. 事業の概要

本事業では、産学官の研究機関で活躍し得る意欲や柔軟性を有し、新たな研究領域の開拓等を実現できるような若手研究者が、産学官の研究機関において安定かつ自立した研究環境を得た場合に、当該研究機関に対し支援を行います。

最初に、文部科学省が、本事業への参加を希望する研究機関からポストを募集し、提示されたポストのうち要件を満たすものを文部科学省又は中立的な公的機関のホームページ（HP）を通じて、一覧化し、公開します。それと並行して、若手研究者に対し、卓越研究員の公募を実施します。次に、中立的な公的機関が、本事業の目的を踏まえ、申請した若手研究者の審査を実施し、文部科学省が卓越研究員候補者を決定します。一方で、一覧化公開されたポストを提示した各研究機関と卓越研究員候補者が個別に交渉を行い（以下「当事者間交渉」という。）、その結果、各研究機関において卓越研究員候補者が安定かつ自立した研究環境を得た場合に、文部科学省が当該候補者を卓越研究員として決定し、必要に応じて、一定の期間、研究費等を支援します。

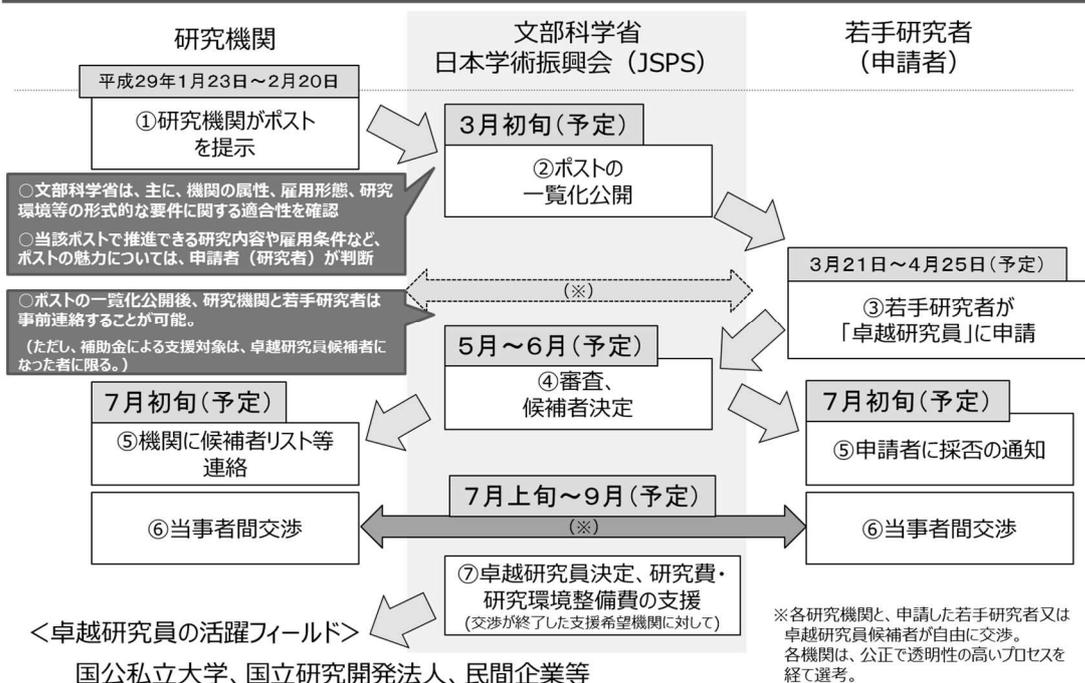
平成 29 年度公募では、独立行政法人日本学術振興会（以下「日本学術振興会」という。）が、中立的な公的機関として、本事業に関する審査等について、文部科学省を支援します。

なお、本事業の実施は、本事業に係る平成 29 年度予算が成立することを前提とします。予算の状況等によっては、内容等に変更があり得ることをあらかじめご承知おきください。

※平成 28 年度公募において、卓越研究員候補者に決定され、平成 28 年度中に一覧化公開されたポストを提示した研究機関との調整が完了しなかった者のうち、平成 29 年度に一覧化公開されたポストを提示した研究機関との当事者間交渉を行う意思がある者についても、平成 29 年度に当事者間交渉に参加することが可能です。当該者には、文部科学省から平成 29 年度の当事者間交渉への参加の意思確認を予定しており、後日連絡します。

＜平成 29 年度公募に係る全体スケジュール＞

平成29年度卓越研究員事業のプロセス



(1) 提示対象となるポスト

提示対象となるポストは、以下の要件等を満たすものに限りです。

a. 研究機関の要件

以下のいずれかに該当する機関とします。

- ・ 大学（学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 1 条に規定する大学をいう。）。ただし、学校教育法第 109 条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学は除く。
- ・ 高等専門学校（学校教育法第 1 条に規定する高等専門学校をいう。）
- ・ 大学共同利用機関（国立大学法人法（平成 15 年法律第 112 号）第 2 条第 4 項に規定する大学共同利用機関をいう。）
- ・ 国立研究開発法人（独立行政法人通則法（平成 11 年法律第 103 号）第 2 条第 3 項に規定する国立研究開発法人をいう。）
- ・ 公設試験研究機関
- ・ 日本国内に法人格を有する企業等（研究開発活動を行っていること）

b. 提示対象となるポストの研究分野等

研究分野は、人文学、社会科学及び自然科学の全分野とします。

また、提示対象となるポストは、各研究機関の長（学長等）のリーダーシップの下、当該機関の将来構想に基づくポストであって、以下のいずれかの雇用形態を満たすも

のとします。なお、給与形態としては、年俸制の導入を原則とします。

○テニユアトラック制又はこれと同趣旨の公正で透明性が高く、安定性の高い人事システムでの雇用。なお、研究機関が策定・公表する規程等に基づき、上位職（教授相当）の全員に再任回数の限度のある任期制を適用している機関においては、当該ポストでの雇用を可とする。

○任期の定めのない雇用。

### c. 研究環境

- ① 卓越研究員が、研究責任者若しくは若手研究責任者として、研究テーマを自ら設定し、研究を遂行できるよう、自立的な研究環境を構築すること（例：メンターの配置、研究資金の措置、研究支援体制の充実、研究スペースの確保、共用機器の配置、主任指導教員としての大学院生の研究室への配置等）。ただし、卓越研究員として所属する研究機関と相談して、研究テーマの一部変更等を行うことは排除しません。
- ② 年間の全業務時間を100%とした場合、原則として雇用後5年間は、研究活動に関するエフォートが50%以上であること（50%以上の範囲内で、研究機関の特性に応じて70%や80%などに設定することも可とする）。

※卓越研究員は、全国の産学官の研究機関をフィールドとして活躍することが期待されており、各研究機関において、クロスアポイントメント制度等（特に大学と企業など、異なる機関種間を想定）を積極的に活用していくことが望まれます。

<参考>

・クロスアポイントメント制度の基本的枠組と留意点（平成26年12月26日 経済産業省産業技術環境局 文部科学省高等教育局）（特に「第2 3 「在籍型出向」形態によるクロスアポイントメント制度の推奨される実施例」）

（URL：<http://www.meti.go.jp/press/2014/12/20141226004/20141226004.html>）

・産学官連携による共同研究強化のためのガイドライン（平成28年11月30日 イノベーション促進産学官対話会議事務局）（特に「2.（4）（4-1）クロスアポイントメント制度の促進」）

（URL：[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/28/12/1380114.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/28/12/1380114.htm)）

### d. 当事者間交渉

本事業では、一覧化公開されたポストを提示した各研究機関と申請した若手研究者又は卓越研究員候補者が個別に交渉を行い、その結果、各研究機関において卓越研究員候補者が安定かつ自立した研究環境を得た場合に、必要に応じて、下記2.（5）に記載の経費を補助します。

ポストの一覧化公開以後（平成29年3月初旬を予定）であれば、卓越研究員候補者の決定前であっても、一覧化公開されたポストを提示した各研究機関は、申請を予定している研究者から希望等を受け付け、当該研究者と連絡を取り合うこと（以下「事前連絡」という。）が可能です。ただし、各研究機関においては、下記4.（2）（イ）に定める、研究者の申請期限終了までは、採用予定者の内定等を行わないようにご留意ください。

各研究機関は申請書（研究機関\_様式2）において、事前連絡の要否や各研究機関における選考プロセスやスケジュール等の概要を記入してください。その際、各研究機関は、当事者間交渉における選考プロセスが、公正で透明性の高いものとなるよう、配慮してください。なお、ポストの一覧化公開後、各研究機関における選考プロセス・スケジュール等の情報を更新いただくことも可能です。また、卓越研究員候補者の決定前であれば、事前連絡を必要とするポストから、事前連絡を不要とするポストに変更していただくことも可能です。（ただし、事前連絡を不要とするポストから必要とするポストへの変更は、申請者にとって不利益が生じる可能性があるため、不可とします。）

また、各研究機関における事前連絡が可能となる時期に関わらず、下記2.（5）に記載の補助金の交付先を決定するのは、卓越研究員決定後になります。

#### e. 研究開始時期

各研究機関における卓越研究員としての研究開始時期は、原則として、平成29年度中とします。ただし、平成29年度に下記2.（5）に記載の補助金による支援を受けることができる者は、原則として、下記3.（2）に記載のとおり、平成29年9月末までに当事者間交渉が完了した場合に限ります。

#### f. 留意事項

- ・企業においては、上記b.c.の要件について、その特性を踏まえて、任期や職位・職責等を設定することを可能とします。
- ・各研究機関は、本事業へのポスト提示と並行して、当該ポストについて独自に公募を行うことも可能ですが、上記dに記載のとおり、下記4.（2）（イ）に定める、申請者（研究者）の申請期限終了までは、採用予定者の内定等を行わないようにご留意ください。
- ・下記2.（5）に記載の補助金による支援を希望する機関においては、下記「6. 留意事項」に記載のとおり、府省共通研究開発管理システム（e-Rad）に登録の上、「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）」（平成19年2月15日文部科学大臣決定、平成26年2月18日改正）に基づく体制整備を行い、「体制整備等自己評価チェックリスト」を提出することや、「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」（平成26年8月26日文部科学大臣決定）に基づく体制整備を行い、卓越研究員に研究倫理教育を履修させなければならないことに留意してください。

#### （2）ポストの一覧化公開

各研究機関は、申請書に基づき、本事業の対象ポスト（複数可）を文部科学省に提示します。文部科学省において、上記2.（1）に記載の要件への適合性の観点から確認を行い、その上で、文部科学省又は日本学術振興会のHPを通じて、当該要件を満たすポストを一覧化し、公開します。その際、各ポストに関する詳細な情報については、原則として日本語と英語の双方で、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が運営

する JREC-IN Portal (<https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekTop>) に登録するか、各研究機関の HP 等において公開してください。

### (3) 申請者（研究者）

申請者（研究者）は、産学官の多様な研究機関において活躍しようとする若手研究者のうち、以下の要件を満たす者とします。申請時において、以下の要件を全て満たしていることが必要です。

#### a. 学位取得等

次の①から③の要件を全て満たす者

- ① 博士の学位を取得した者又は博士課程に標準修業年限以上在学し、所定の単位を修得の上、退学した者（いわゆる「満期退学者」）
- ② 平成 30 年 4 月 1 日現在、40 歳未満（ただし、臨床研修を課された医学系分野においては 43 歳未満）の者

なお、出産又は育児により、合計 3 カ月以上の間、研究を中断した者（性別を問わない）については、個別の事情に応じ、1～2 年程度、上記の年齢要件について配慮します。

※この場合、申請時に出産・育児により研究を中断した旨を申請書類に記入し、本事由を証明する書類を追加提出していただきます。申請手続の詳細は「4. 申請方法（2）」の「(カ) 出産・育児のため、3 ヶ月以上研究活動を中断した場合」を確認してください。

- ③ 直近 5 年間（2012 年度以降）に研究実績（博士の学位を取得した者は、博士論文を含めてもよい）があること

#### b. 国 籍

次の①又は②のいずれかに該当する者

- ① 日本国籍を持つ者、又は我が国に永住を許可されている外国人
- ② 我が国と国交がある国の国籍を有する者（台湾及びパレスチナの研究者については、これに準じて取り扱う。）

#### c. 留意事項

卓越研究員は、以下のやむを得ない事由がある場合を除き、自ら研究テーマを設定し、研究室主宰者又はそれに準ずる形で研究を遂行することや、全国の産学官の研究機関をフィールドとして、新たな研究課題に挑戦することが求められるため、博士課程在学時に所属していた研究室（以下「出身研究室」という。）及び申請時に所属する研究室（以下「現所属研究室」という。）以外で研究を遂行することが望ましいです。

（やむを得ない事由）

- ・身体障害、出産・育児等の理由により、出身研究室及び現所属研究室以外で研究に従事することが難しい場合
- ・研究目的・内容及び研究計画等から、研究に従事する研究室を出身研究室及び現所属研究室以外の研究室に変更することが我が国の研究機関における研究の現状にお

いて、極めて困難な場合

また、下記3.(2)に記載のとおり、卓越研究員候補者となった者は、一覧化公開されたポストを提示した研究機関と当事者間交渉を行っていただきます。なお、文部科学省又は日本学術振興会は、卓越研究員候補者の決定後、当該候補者のリスト及び「研究者\_様式1」及び「研究者\_様式1別紙」について、一覧化公開されたポストを提示した全ての研究機関に送付しますので、申請時に申請システム上で同意していただく必要があります。

#### (4) 卓越研究員の予定人数

平成29年度は、100名程度(このうち、下記2.(5)に記載の補助金による支援をする者は80名程度を想定)を卓越研究員として新たに決定する予定です。

なお、平成28年度公募において、卓越研究員候補者に決定され、平成28年度中に一覧化公開されたポストを提示した研究機関との調整が完了しなかった者のうち、平成29年度に一覧化公開されたポストを提示した研究機関との当事者間交渉を行う意思がある者についても、平成29年度に当事者間交渉に参加することが可能ですが、上記の予定人数(100名程度)は、当該者が当事者間交渉を完了した場合も含めた人数です。

#### (5) 補助対象となる経費(研究費及び研究環境整備費)

本事業により、卓越研究員に決定した若手研究者が安定かつ自立して研究を遂行するための経費として、支援を希望する研究機関に対しては、文部科学省から日本学術振興会を通じて、以下の①及び②を科学技術人材育成費補助金(以下「補助金」という。)として交付します。なお、本事業の実施は、本事業に係る各年度の予算が成立することを前提とします。

また、研究機関との当事者間交渉を完了した若手研究者が、上記(4)に記載の予定人数を大幅に超過する場合等、各研究機関が申請した補助金額(平成30年度以降を含む)を支援できない可能性がありますので、あらかじめご承知おきください。

なお、使用できる経費の種類は、原則として、別表-1及び別表-2に示すものとします。

特定の研究機関に対する支援の過度な集中を排除する観点から、平成29年度から支援を開始する卓越研究員に係る一研究機関当たりの補助金総額の上限は1億円とします。

##### ① 卓越研究員の研究費

卓越研究員の研究活動に係るスタートアップに要する研究費として、卓越研究員の決定後1～2年度目に限り、卓越研究員一人当たり各年度600万円を上限として支援します。ただし、人文学及び社会科学については、各年度400万円を上限とします。

##### ② 研究環境整備費

卓越研究員を中心とした若手研究者が安定かつ自立して研究を遂行する体制を構築するため、研究環境整備費(例えば、リサーチ・アシスタントの雇用やメンターへ

の諸謝金、共同利用の研究機器等の購入・修理、卓越研究員の評価を行うための会議開催などに要する経費)として、卓越研究員の決定後1～2年度目は300万円(人文学及び社会科学は200万円)、3～5年度目は200万円に各研究機関に在籍する卓越研究員の数を乗じた額を上限として支援します。

なお、卓越研究員が当初の研究機関から異動した場合には、その翌年度より、当初の研究機関及び異動先の研究機関のいずれに対しても、上記の支援は行わないこととします。ただし、平成30年度以降に新たに一覧化公開されるポストへ卓越研究員が異動した場合には、異動先の研究機関に対して、その翌年度より、上記の支援を引き続いて行うことがあります。

### (6) 重複支援の排除

本事業以外の科学技術人材育成費補助事業(「科学技術人材育成のコンソーシアムの構築」事業等)による支援を受けている研究機関においては、同一の研究者に対して、本事業による研究費等との重複支援を行うことはできないことに留意してください。

## 3. 卓越研究員候補者の選考及び卓越研究員の決定

### (1) 卓越研究員候補者の選考

卓越研究員候補者(以下「候補者」という。)の選考のための審査は、日本学術振興会に設置する「卓越研究員候補者選考委員会(以下「選考委員会」という。)」において行います。審査は、申請者から提出された申請書(特に、研究者\_様式1(別紙を含む)・様式2)に基づき、選考委員会における委員の書面審査により行います。(具体的な審査方法については、「平成29年度卓越研究員事業 審査要領」を参照してください。)

選考委員会における委員の審査結果を踏まえ、文部科学省が候補者を決定し、本人に通知します。

### (2) 卓越研究員の決定

候補者について、一覧化公開されたポストを提示した研究機関と候補者間の当事者間交渉を経て、平成29年9月末までに当事者間交渉が完了し、平成29年度中に雇用が開始される場合、平成29年度の卓越研究員として、文部科学省が決定します。

また、平成29年度に一覧化公開されたポストについて、平成29年10月から平成30年3月末までに交渉が完了した候補者や、交渉の結果、平成30年度から雇用開始となった候補者についても、卓越研究員として決定し、上記2.(5)に記載の支援について、平成30年度以降の補助対象となる可能性があります。

なお、平成29年度中に交渉が完了しなかった候補者が、平成30年度以降に一覧化公開されるポストにおいて、卓越研究員になることを希望する場合、再度、当該年度の本事業に申請し、審査を経て、新たに卓越研究員候補者に決定される必要があります。

## 4. 申請方法

### (1) 研究機関

本事業への申請は、日本学術振興会が設置・運営する電子申請システムを通じて行ってください。詳細は、日本学術振興会の HP における「卓越研究員事業」の「公募情報（研究機関向け）」を参照してください。

日本学術振興会 HP 公募情報（研究機関向け）

URL：[http://www.jsp. go. jp/j-le/koubo\\_kenkyu\\_kikan. html](http://www.jsp. go. jp/j-le/koubo_kenkyu_kikan. html)

### (ア) 申請書類

別添の申請書（研究機関\_様式1・2）に記載する事項について、電子申請システム上において、必要事項を入力して提出してください。

「研究機関\_様式1」は、研究機関の基本情報を入力していただく様式です。機関全体として1回作成してください。「研究機関\_様式2」は、ポストに関する詳細情報を入力していただく様式ですので、提示するポストごとに作成してください。

※上記2.（5）に記載の補助金の支援を希望する研究機関においては、本申請書とは別に、「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）」に基づく「体制整備等自己評価チェックリスト」を文部科学省研究振興局振興企画課競争的資金調整室に提出していることが必要になります。（詳細は、下記「6. 留意事項（3）」を参照してください。）

### (イ) 申請期間

平成29年1月23日（月）14時から同年2月20日（月）17時まで（期限厳守）

### (ウ) 提出方法・提出先

電子申請システムを使用するには、日本学術振興会の HP から「ID・パスワード発行申請」を行った上で、取得した ID・パスワードを用いて電子申請システムにログインし、申請書の作成・提出を行ってください。ID・パスワードの取得及び申請書作成の詳細は、日本学術振興会の HP に掲載しますので、参照してください。

### (エ) その他

- ・文部科学省又は日本学術振興会の HP を通じて、各研究機関から提示されたポストのうち、上記2.（1）の要件を満たすものを一覧化公開します。
- ・「研究機関\_様式2」に記載する事項については、上記の一覧化公開後、速やかに JST が運営する JREC-IN Portal (<https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekTop>) 又は各研究機関の HP 等を通じて公開してください。なお、JREC-IN Portal への登録に当たっては、参考2に従って、入力してください。

## (2) 申請者（研究者）

本事業への申請は、日本学術振興会が設置・運営する電子申請システムを通じて行ってください。詳細は、日本学術振興会 HP における「卓越研究員事業」の「公募情報（研究者向け）」を参照してください。

日本学術振興会 HP 公募情報（研究者向け）

URL：[http://www.jsps.go.jp/j-le/koubo\\_kenkyu.html](http://www.jsps.go.jp/j-le/koubo_kenkyu.html)

### (ア) 申請書類

別添の申請書（研究者\_様式1（別紙を含む）・2・3）について、電子申請システム上で入力又は所定の様式をダウンロードして作成の上、提出してください。

#### a. 研究者\_様式1（別紙を含む）

電子申請システムに必要事項を入力して提出してください。様式1別紙（研究概要）については所定の様式をダウンロードし、作成後、電子申請システムに登録してください。

#### b. 研究者\_様式2

所定の様式をダウンロードし、作成後、電子申請システムに登録してください。

#### c. 研究者\_様式3（2名の評価者より）

申請者の研究を良く理解している研究者（出身研究室や現所属研究室等に所属する研究者や、それ以外の研究機関に所属する研究者等）へ、電子申請システムより評価書の作成依頼を行ってください。評価者は、電子申請システムから発行される ID・パスワードを使用し、当該システムを通じて、各評価書の作成及び提出を行ってください。

### (イ) 申請期間

平成29年3月21日（火）10時から同年4月25日（火）17時まで（期限厳守）  
なお、申請開始日（3月21日）は、変更になる可能性があります。

### (ウ) 提出方法・提出先

電子申請システムを使用するには、日本学術振興会が設置・運営する電子申請システムを通じて「ID・パスワード発行申請」を行った上で、取得した ID・パスワードを用いて電子申請システムにログインし、申請書の作成・提出を行ってください。ID・パスワードの取得及び申請書作成の詳細は日本学術振興会 HP に掲載しますので参照してください。

### (エ) 申請書類及び選考についての注意事項

申請書類に重大な虚偽が発見された場合は、卓越研究員に決定後であっても、決定を取り消し、支援を打ち切ることがあります。

## (オ) その他

提出期限間際はシステム負荷が大きく、申請に時間がかかる、完了できない等のトラブルが発生する場合がありますので、十分に時間的余裕を取って、申請を完了してください。

申請書類に記入された情報の一部又は全部は、一覧化公開されたポストを提示した全ての研究機関に開示します。

なお、卓越研究員候補者に決定された者に対して、後日、本人確認のための書類（免許証の写し等）や学位取得等に係る要件を確認できる書類（学位記の写し等）の提出を求めることがあります。詳細については、別途連絡します。

## (カ) 出産・育児のため、3ヶ月以上研究活動を中断した場合

上記2.(3)に記載の申請要件 a. ②に基づき、出産又は育児により研究を中断した者として申請する場合、電子申請システムでの申請時に「研究者\_様式1」に研究を中断した旨を記入するとともに、下記の出産・育児の事由を証明する書類を郵送にて提出してください。(平成30年4月1日現在、40歳未満(臨床研修を課された医学系分野においては43歳未満)の者は、提出する必要はありません。)

### <提出書類>

住民票(マイナンバー記載のないもの)又は戸籍謄本(又は抄本)(申請者と子、それぞれの氏名と生年月日が記載された証明書類)の原本を提出してください。なお、住民票又は戸籍謄本(又は抄本)により出産・育児の事由が確認できない場合は、これに加え、診断書等の書類を提出いただく場合があります。

### <郵送先>

〒102-0083 東京都千代田区麴町5-3-1

独立行政法人日本学術振興会 研究者養成課 卓越研究員係

※郵送にあたっては封筒に「卓越研究員事業申請書類在中」と朱書きしてください。

※提出物の配達遅延、紛失等については、原則、考慮いたしませんので、特定記録郵便等、必要に応じて、到着が確認可能な提出方法としてください。到着確認に関する問い合わせには、対応いたしませんので、ご承知おき願います。

### <提出期限>

平成29年5月2日(火)17時(必着)

電子申請システムでの申請時における、「研究者\_様式1」の作成方法の詳細については、日本学術振興会HPに掲載しますので、参照してください。

なお、申請内容に誤りがあり、上記2.(3)a.②に記載の年齢要件を満たさないことが判明した場合、卓越研究員に決定後であっても、当該決定を取り消すことがあります。

### (3) 研究機関と候補者との間で当事者間交渉が完了した場合

一覧化公開されたポストを提示した研究機関と候補者との間で当事者間交渉が完了した場合、当該機関は、以下に従って必要書類を提出してください。

#### (ア) 提出書類（当事者間交渉完了報告書）

別添の提出書類（研究機関\_様式3）について、必要事項を記入して提出してください。

#### (イ) 提出期間

平成29年7月24日（月）から同年9月29日（金）17時まで（※期限厳守）

※卓越研究員候補者の決定時期によっては、提出期間の開始日を変更する可能性があります。また、「研究機関\_様式3」の提出件数によっては、平成29年9月29日（金）以前に、その時点までに提出された「研究機関\_様式3」に基づき、卓越研究員を決定することがあります。詳細は、後日連絡します。

なお、平成29年10月から平成30年3月末までに研究機関と候補者との間で交渉が完了した場合も、その都度、提出書類（研究機関\_様式3）について、必要事項を記入して提出してください。この場合、予算の調整により、平成30年度以降、補助金による支援を実施する可能性があります。

#### (ウ) 提出方法

提出書類は、「研究機関\_様式3」について、PDFファイルに変換した上で、電子メールにて提出してください。なお、郵送・持参・FAXによる申請書類の提出は受け付けませんが、電子メールによる提出が困難な場合は、相談してください。

- ・送信メールの件名は、「【卓越研究員決定】機関名」とすること。
- ・添付ファイル名には、「機関名」を付した上で、送信すること。
- ・メール到着後、翌日中（土日祝日を除く）に受領通知を送信者に対して電子メールで返信するが、電子メール送付から一両日中（土日祝日を除く）に受領通知が届かない場合には、速やかに連絡すること。

#### (エ) 提出先

文部科学省 科学技術・学術政策局 人材政策課人材政策推進室 基礎人材推進係  
E-Mail : takuetsu@mext. go. jp

## 5. 取組の実施

- (1) 上記3. (1) に記載の選考と当事者間交渉を経て、候補者を受け入れることが確定した研究機関のうち、上記2. (5) に記載の研究費等に係る補助金の支援を希望する研究機関（以下「支援機関」という。）は、申請書類（研究者・研究機関双方）及び当事者間交渉完了報告書に即した年次計画及びこれに対応した経費の積算（以下「計画書等」という。）を作成し、日本学術振興会に提出してください。なお、提出された計画書等については、日本学術振興会において内容を確認した後、修正を求め

ることがあります。詳細は、後日連絡します。

- (2) 補助金の交付等については、別に定める補助金の交付要綱等に基づき行います。
- (3) 各支援機関においては、卓越研究員を雇用した初年度（雇用開始が卓越研究員決定の翌年度になる卓越研究員については、当該者が卓越研究員に決定された年度とする）を起算とし、3年度目及び5年度目（それ以降は、卓越研究員が在籍する限り、3年度目ごと）に、各支援機関における卓越研究員の研究活動状況等に関する成果報告書を速やかに作成し、文部科学省が指定する機関を通じて、文部科学省に提出してください。
- (4) 成果報告書に基づき、当該報告書の提出された翌年度に評価を実施します。評価に当たっては、書面審査及び必要に応じて面接審査を行うこととします。
- (5) 我が国の科学技術イノベーション人材育成の推進や卓越研究員事業の充実等を図るため、研究機関及び卓越研究員本人に対して、卓越研究員の決定年度及びその後の10年程度の間、卓越研究員の研究活動状況等について調査を行いますので、ご協力願います。また、本事業に申請した研究機関、研究者にも、アンケート調査を行う予定ですので、ご協力願います。

## 6. 留意事項

上記2. (5) に記載の補助金（以下「本補助金という。」）による支援を希望する機関（支援機関）及び当該機関に雇用された卓越研究員においては、以下の(1) から(16) までの事項について、留意してください。また、その他の研究機関及び申請者においても、以下の(15) 及び(16) の事項について、留意してください。

### (1) 事業の遂行及び管理

本補助金は、「補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律」、「補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律施行令」、「科学技術人材育成費補助金交付要綱」及び「科学技術人材育成費補助金取扱要領」に基づいた適切な経理等を行わなければなりません。

本補助金の経理については、他の経理と明確に区分し、その収入及び支出の内容を記載した帳簿を備え、その収入及び支出に関する証拠書類を整理し、並びにこれらの帳簿及び書類は当該交付を受けた年度の翌年度から5年間保存してください。

なお、設備備品等を購入した場合は、それらが国から交付された補助金により購入されたものであることを踏まえ、補助の期間内のみならず、補助の終了後においても、善良な管理者の注意をもって管理し、補助金交付の目的に従って、その効率的運用を図るようにしてください。

### (2) 「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）」に基づく体制整備について

本事業の申請、研究実施等に当たり、研究機関は、「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）」（平成26年2月18日改正）（※）の内容

について遵守する必要があります。

研究機関においては、標記ガイドラインに基づいて、各研究機関の責任の下、研究費の管理・監査体制の整備を行い、研究費の適切な執行に努めていただきますよう、お願いします。

標記ガイドラインに基づく体制整備状況の調査の結果、文部科学省が研究機関の体制整備等の状況について不備を認める場合、当該機関に対し、全ての競争的資金の間接経費削減等の措置を行うことがあります。

※「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）」については、以下のウェブサイトを参照してください。

【HP アドレス】 [http://www.mext.go.jp/a\\_menu/kansa/houkoku/1343904.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/kansa/houkoku/1343904.htm)

### (3) 「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）」に基づく「体制整備等自己評価チェックリスト」の提出について

本事業の申請に当たり、各研究機関では標記ガイドラインに基づく研究費の管理・監査体制を整備すること、及びその状況等についての報告書である「体制整備等自己評価チェックリスト」（以下「チェックリスト」という。）を提出することが必要です。（チェックリストの提出がない場合の申請は認められません。）

このため、下記 HP の様式に基づいて、平成 29 年 3 月 6 日（月）までに、研究機関から文部科学省研究振興局振興企画課競争的資金調整室に、府省共通研究開発管理システム（e-Rad）を利用して、チェックリストが提出されていることが必要です。ただし、平成 28 年 9 月以降、別途の機会にチェックリストを提出している場合は、今回新たに提出する必要はありません。チェックリストの提出方法の詳細については、下記の文部科学省 HP を確認してください。

【HP アドレス】 [http://www.mext.go.jp/a\\_menu/kansa/houkoku/1301688.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/kansa/houkoku/1301688.htm)

※注意：なお、提出には、e-Rad の利用可能な環境が整っていることが必須となりますので、e-Rad への研究機関の登録手続を行っていない機関にあつては、早急に手続をお願いします。（登録には通常 2 週間程度を要しますので十分注意してください。e-Rad 利用に係る手続の詳細については、上記 HP に示された提出方法の詳細とあわせ、下記 HP を確認してください。）

【HP アドレス】 <http://www.e-rad.go.jp/shozoku/system/index.html>

なお、標記ガイドラインにおいて「情報発信・共有化の推進」の観点を盛り込んでいるため、本チェックリストについても研究機関の HP 等に掲載し、積極的な情報発信を行っていただくよう、お願いします。

### (4) 不正使用及び不正受給への対応

本事業に関する研究費の不正な使用及び不正な受給（以下「不正使用等」という。）については、以下のとおり厳格に対応します。

## ○研究費の不正使用等が認められた場合の措置

### (i) 契約の解除等の措置

不正使用等が認められた課題について、補助金の交付決定の取消し・変更を行い、補助金の全部又は一部の返還を求めます。また、次年度以降の補助金の交付決定をしないことがあります。

### (ii) 申請及び参加<sup>※1</sup>の制限等の措置

本事業の研究費の不正使用等を行った研究者（共謀した研究者も含む。（以下「不正使用等を行った研究者」という。））や、不正使用等に関与したとまでは認定されなかったものの、善管注意義務に違反した研究者<sup>※2</sup>に対し、不正の程度に応じて、下記の表のとおり、本事業への申請及び参加の制限措置、若しくは嚴重注意措置をとります。

また、他府省及び他府省所管の独立行政法人を含む他の競争的資金等の担当に当該不正使用等の概要（不正使用等を行った研究者の氏名、事業名、所属機関、研究課題、予算額、研究年度、不正等の内容、講じられた措置の内容等）を提供する場合があります。

※1「申請及び参加」とは、新規課題の提案、応募、申請を行うこと、共同研究者等として新たに研究に参加すること、進行中の研究課題（継続課題）への研究代表者又は共同研究者等として参加することを指す。

※2「善管注意義務に違反した研究者」とは、不正使用又は不正受給に関与したとまでは認定されなかったものの、善良な管理者の注意をもって事業を行うべき義務に違反した研究者のことを指す。

不正使用及び不正受給に係る応募制限の対象者	不正使用の程度		応募制限期間 <sup>※3</sup> (補助金等を返還した年度の翌年度から <sup>※4</sup> )
1. 不正使用を行った研究者及びそれに共謀した研究者	(1) 個人の利益を得るための私的流用		10年
	(2) (1)以外	① 社会への影響が大きく、行為の悪質性も高いと判断されるもの	5年
		② ①及び③以外のもの	2～4年
		③ 社会への影響が小さく、行為の悪質性も低いと判断されるもの	1年
2. 偽りその他不正な手段により競争的資金を受給した研究者及びそれに共謀した研究者			5年

3. 不正使用に直接関与していないが善管注意義務に違反して使用を行った研究者		不正使用を行った研究者の応募制限期間の半分(上限2年、下限1年、端数切り捨て)
--	--	---

※3 以下の場合には申請及び参加を制限せず、嚴重注意を通知する。

- ・ 1.において、社会への影響が小さく、行為の悪質性も低いと判断され、かつ不正使用額が少額な場合
- ・ 3.において、社会への影響が小さく、行為の悪質性も低いと判断された研究者に対して、善管注意義務を怠った場合

※4 補助金等を返還した当該年度についても、参加を制限します。

### (iii) 不正事案の公表について

本事業において、研究費の不正使用等を行った研究者や、善管注意義務に違反した研究者のうち、本事業への申請及び参加が制限された研究者については、当該不正事案の概要（事業名、所属機関、研究年度、不正の内容、講じられた措置の内容）について、文部科学省において原則公表することとします。

また、「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）」においては、調査の結果、不正を認定した場合、研究機関は速やかに調査結果を公表することとされていますので、各機関においては同ガイドラインを踏まえて適切に対応してください。

【HP アドレス】 [http://www.mext.go.jp/a\\_menu/kansa/houkoku/1364929.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/kansa/houkoku/1364929.htm)

### (5) 競争的資金制度及び他の科学技術人材育成費補助事業で申請及び参加の制限が行われた研究者に対する措置

国又は独立行政法人が所管している競争的資金制度※及び他の科学技術人材育成費補助事業において、研究費の不正使用等により制限が行われた研究者については、競争的資金制度及び他の科学技術人材育成費補助事業において応募資格が制限されている期間中、本事業への申請及び参加を制限します。

競争的資金制度及び他の科学技術人材育成費補助事業について、平成 29 年度以降に新たに公募を開始する制度も含まれます。なお、平成 28 年度以前に終了した制度においても対象となります。

※現在、具体的に対象となる制度につきましては、以下の HP を確認してください。

【HP アドレス】 [http://www8.cao.go.jp/cstp/compefund/kyoukin28\\_seido\\_ichiran.pdf](http://www8.cao.go.jp/cstp/compefund/kyoukin28_seido_ichiran.pdf)

### (6) 「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」に基づく体制整備について

研究機関は、本事業への申請及び研究活動の実施に当たり、「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」（平成 26 年 8 月 26 日文部科学大臣決定、以下「ガイドライン」という。）（※ 1）を遵守することが求められます。

ガイドラインに基づく体制整備状況の調査等に基づき、文部科学省が機関における体制の未整備、規程の未整備、研究倫理教育の未実施等の不備を認める場合、当該機関に対し、全ての競争的資金の間接経費削減等の措置を行うことがあります。

※1 「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」については、以下のウェブサイトを参照してください。

【HP アドレス】 [http://www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/26/08/1351568.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/26/08/1351568.htm)

#### (7) 研究活動における不正行為に対する措置

本事業の申請に当たり、各研究機関は、「「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」に基づく取組状況に係るチェックリスト」（以下「研究不正行為チェックリスト」という。）を提出することが必要です。（研究不正行為チェックリストの提出がない場合の申請は認められません。）

このため、下記 HP の様式に基づいて、平成 29 年 3 月 6 日（月）までに、研究機関から文部科学省科学技術・学術政策局人材政策課研究公正推進室に、府省共通研究開発管理システム（e-Rad）を利用して、研究不正行為チェックリストが提出されていることが必要です。ただし、平成 28 年 7 月以降、別途の機会の研究不正行為チェックリストを提出している場合は、今回新たに提出する必要はありません。

研究不正行為チェックリストの提出方法の詳細については、下記文部科学省 HP をご覧ください。

【HP アドレス】 [http://www.mext.go.jp/a\\_menu/jinzai/fusei/1374508.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/fusei/1374508.htm)

※注意：なお、提出には、e-Rad の利用可能な環境が整っていることが必須となりますので、十分にご注意ください。e-Rad 利用に係る手続きの詳細については、下記ホームページをご覧ください。）

【HP アドレス】 <http://www.e-rad.go.jp/shozoku/system/index.html>

#### (8) 研究活動における不正行為に対する措置

本事業において、研究活動における不正行為（捏造、改ざん、盗用）があった場合、ガイドラインに基づき、以下の措置を行います。

#### ○研究活動における不正行為が認められた場合の措置

##### (i) 契約の解除等の措置

本事業の研究課題において、研究活動における不正行為が認められた場合、補助金の交付決定の取消し・変更を行い、不正行為の悪質性等に考慮しつつ、補助金の全部又は一部の返還を求めます。また、翌年度以降の契約についても締結しないことがあります。

##### (ii) 申請及び参加の制限等の措置

本事業による研究論文・報告書等において、不正行為が認定された者や、不正行為に関与したとまでは認定されなかったものの当該論文・報告書等の責任者としての注意義務を怠ったこと等により、一定の責任があると認定された者に対し、不正行為の

悪質性等や責任の程度により、下記の表のとおり、本事業への申請及び参加の制限措置を講じます。

また、申請及び参加の制限措置を講じた場合、文部科学省及び文部科学省所管の独立行政法人が配分する競争的資金制度等（以下「文部科学省関連の競争的資金制度等」という。）の担当、他府省及び他府省所管の独立行政法人が配分する競争的資金制度（以下「他府省関連の競争的資金制度」という。）の担当に情報提供することにより、文部科学省関連の競争的資金制度等及び他府省関連の競争的資金制度において、同様に、申請及び参加が制限される場合があります。

不正行為に係る応募制限の対象者		不正行為の程度	応募制限期間 (不正が認定された年度の翌年度から※2)	
不正行為 に 関 与 し た 者	1. 研究の当初から不正行為を行うことを意図していた場合など、特に悪質な者		10年	
	2. 不正行為があった研究に係る論文等の著者	当該論文等の責任を負う著者(監修責任者、代表執筆者又はこれらのもと同等の責任を負うと認定されたもの)	当該分野の研究の進展への影響や社会的影響が大きく、又は行為の悪質性が高いと判断されるもの	5～7年
			当該分野の研究の進展への影響や社会的影響が小さく、又は行為の悪質性が低いと判断されるもの	3～5年
		上記以外の著者		2～3年
	3. 1. 及び2. を除く不正行為に関与した者		2～3年	
不正行為に関与していないものの、不正行為のあった研究に係る論文等の責任を負う著者(監修責任者、代表執筆者又はこれらの者と同等の責任を負うと認定された者)		当該分野の研究の進展への影響や社会的影響が大きく、又は行為の悪質性が高いと判断されるもの	2～3年	
		当該分野の研究の進展への影響や社会的影響が小さく、又は行為の悪質性が低いと判断されるもの	1～2年	

※2 不正行為等が認定された当該年度についても、参加を制限します。

(iii) 他の競争的資金制度等及び基盤的経費で申請及び参加の制限が行われた研究者に対する措置

本事業以外の文部科学省関連の競争的資金制度等や国立大学法人、大学共同利用機関法人及び文部科学省所管の独立行政法人に対する運営費交付金、私学助成金等の基盤的経費、他府省関連の競争的資金制度による研究活動の不正行為により申請及び参加の制限が行われた研究者については、その期間中、本事業への申請及び参加を制限します。

(iv) 不正事案の公表について

本事業において、研究活動における不正行為があった場合、当該事案の内容（不正事案名、不正行為の種別、不正事案の研究分野、不正行為が行われた経費名称、不正事案の概要、研究機関が行った措置、配分機関が行った措置等）について、文部科学省において原則公表します。

また、ガイドラインにおいては、調査の結果、不正を認定した場合、研究機関は速やかに調査結果を公表することとされていますので、各機関において適切に対応してください。

【HP アドレス】 [http://www.mext.go.jp/a\\_menu/jinzai/fusei/1360839.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/fusei/1360839.htm)

(9) 研究倫理教育の履修義務について

本事業への研究課題に参画する研究者等は、研究上の不正行為を未然に防止するため、研究倫理教育に関するプログラムを履修又は所属する研究機関等の研究倫理教育を受講することになります。

提案した研究課題が採択された後、交付申請手続の中で、実施責任者は、自ら研究倫理教育に関するプログラムを履修又は所属する研究機関等の研究倫理教育を受講し、不正行為を行わないことを約束するとともに、参画する研究者等に対して、研究倫理教育に関するプログラムを履修又は所属する研究機関等の研究倫理教育を受講する義務を周知し、更に、内容を理解してもらうことを参画する研究者等と約束し、併せてこれらを確認したとする文書を提出していただきます。

<p>(実施責任者が研究者でない場合) 以下を参考に誓約書等を作成すること。</p> <p>-----</p> <p>平成〇年〇月〇日</p> <p>文部科学大臣 殿</p> <p>〇〇大学長</p> <p>研究倫理教育履修義務等について</p> <p>本研究課題に参画する研究者等に対して、研究倫理教育に関するプログラムを履修又は所属する研究機関等の研究倫理教育を受講する義務があることを周知し、内容を理解してもらうことを参画する研究者等と約束します。</p> <p>-----</p>	<p>(実施責任者が研究者の場合) 以下を参考に誓約書等を作成すること。</p> <p>-----</p> <p>平成〇年〇月〇日</p> <p>文部科学大臣 殿</p> <p>〇〇</p> <p>研究倫理教育履修義務等について</p> <p>研究倫理教育に関するプログラムを履修又は所属する研究機関等の研究倫理教育を受講し、不正行為を行わないことを約束するとともに、本研究課題に参画する研究者等に対して、研究倫理教育に関するプログラムを履修又は所属する研究機関等の研究倫理教育を受講する義務があることを周知し、内容を理解してもらうことを参画する研究者等と約束します。</p> <p>-----</p>
--	---

(10) 関係法令等に違反した場合の措置

関係法令・指針等に違反し、取組を実施した場合には、補助金の交付をしないことや、補助金の交付を取り消すことがあります。

(11) 繰越について

事業の進捗に伴い、試験研究に際しての事前の調査又は研究方式の決定の困難、計画又は設計に関する諸条件、気象の関係、資材の入手難その他のやむを得ない事由により、年度内に支出を完了することが期し難い場合には、財務大臣の承認を経て、最長翌年度末までの繰越を認める場合があります。

(12) 研究設備・機器の共用促進に係る事項

「研究成果の持続的創出に向けた競争的研究費改革について（中間取りまとめ）」（平成 27 年 6 月 24 日 競争的研究費改革に関する検討会）においては、そもそもの研究目的を十全に達成することを前提としつつ、汎用性が高く比較的大型の設備・機器は共用を原則とすることが適当であるとされています。

また、「研究組織のマネジメントと一体となった新たな研究設備・機器共用システムの導入について」（平成 27 年 11 月 科学技術・学術審議会先端研究基盤部会）において、大学及び国立研究開発法人等において「研究組織単位の研究設備・機器の共用システム」（以下、「機器共用システム」という。）を運用することが求められています。

これらを踏まえ、本事業により購入する研究設備・機器について、特に大型で汎用性のあるものについては、他の研究費における管理条件の範囲内において、所属機関・組織における機器共用システムに従って、当該研究課題の推進に支障のない範囲での共用、他の研究費等により購入された研究設備・機器の活用、複数の研究費の合算による購入・共用などに積極的に取り組んでください。

また、大学共同利用機関法人自然科学研究機構分子科学研究所において全国的な設備の相互利用を目的として実施している「大学連携研究設備ネットワーク事業」や、各国立大学において「設備サポートセンター整備事業」等により構築している全学的な共用システムとも積極的に連携を図り、研究組織や研究機関の枠を越えた研究設備・機器の共用を促進してください。

○「研究組織のマネジメントと一体となった新たな研究設備・機器共用システムの導入について」

（平成 27 年 11 月 25 日 科学技術・学術審議会先端研究基盤部会）

[http://www.mext.go.jp/component/b\\_menu/shingi/toushin/\\_icsFiles/afieldfile/2016/01/21/1366216\\_01\\_1.pdf](http://www.mext.go.jp/component/b_menu/shingi/toushin/_icsFiles/afieldfile/2016/01/21/1366216_01_1.pdf)

○「研究成果の持続的創出に向けた競争的研究費改革について（中間取りまとめ）」

（平成 27 年 6 月 24 日 競争的研究費改革に関する検討会）

[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chousa/shinkou/039/gaiyou/1359306.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shinkou/039/gaiyou/1359306.htm)

○競争的資金における使用ルール等の統一について

(平成 27 年 3 月 31 日 競争的資金に関する関係府省連絡会申し合わせ)

<http://www8.cao.go.jp/cstp/compefund/siyouruuru.pdf>

○「大学連携研究設備ネットワーク事業」

<https://chem-eqnet.ims.ac.jp/>

### (13) 博士課程（後期）学生の処遇の改善について

第 3 期、第 4 期及び第 5 期科学技術基本計画においては、優秀な学生、社会人を国内外から引き付けるため、大学院生、特に博士課程（後期）学生に対する経済的支援を充実すべく、「博士課程（後期）在籍者の 2 割程度が生活費相当額程度を受給できることを目指す」ことが数値目標として掲げられています。

また、「未来を牽引する大学院教育改革（審議まとめ）」（平成 27 年 9 月 15 日 中央教育審議会大学分科会）においても、博士課程（後期）学生に対する多様な財源による R A（リサーチ・アシスタント）雇用の充実を図ること、博士課程（後期）学生の R A 雇用及び T A 雇用に当たっては、生活費相当額程度の給与の支給を基本とすることが求められています。

これらを踏まえ、本事業により、博士課程（後期）学生を積極的に R A として雇用するとともに、給与水準を生活費相当額とすることを目指しつつ、労働時間に見合った適切な設定に努めてください。

### (14) 若手の博士研究員の多様なキャリアパスの支援について

「文部科学省の公的研究費により雇用される若手博士研究員の多様なキャリアパス支援に関する基本方針」（平成 23 年 12 月 20 日科学技術・学術審議会人材委員会）  
([http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/gijyutu/gijyutu10/toushin/1317945.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu10/toushin/1317945.htm))

において、「公的研究費により若手の博士研究員を雇用する公的研究機関および研究代表者に対して、若手の博士研究員を対象に、国内外の多様なキャリアパスの確保に向けた支援に積極的に取り組む」ことが求められています。これを踏まえ、本事業に採択され、補助金により、若手の博士研究員を雇用する場合には、当該研究員の多様なキャリアパスの確保に向けた支援への積極的な取組をお願いします。

### (15) 個人情報の取扱い

申請書類に含まれる個人情報については、厳重に管理し、文部科学省及び日本学術振興会の業務遂行（候補者として選考された際には、ポストを提示した研究機関に対する情報提供を含む。）に利用（データの電算処理及び管理を外部の民間企業等に委託して行わせるための個人情報の提供を含む。）します。その他、文部科学省が管理運用する e-Rad を通じ、内閣府に各種の情報を提供することがあります。（e-Rad 利用における個人情報の取扱いについては e-Rad のシステム利用規約を参照してください。）なお、これらの情報作成のため、各種の作業や情報の確認等に協力していただくことがあります。

さらに、卓越研究員として決定された場合、氏名、研究分野及び雇用研究機関を文

部科学省のHP等を通じて、公表します。また、上記5.(5)に記載する調査結果等を踏まえ、卓越研究員の活動状況を文部科学省等のHP等を通じて、公表します。

#### (16) 自己責任原則

各研究機関より提示されたポストについて、文部科学省では、上記2.(1)に掲げる要件に関する適合性の観点から確認を行いますが、研究機関と卓越研究員候補者の当事者間交渉の結果決定する雇用条件や、その後の研究環境、テニユア審査の結果等について、文部科学省が責任を負うものではありません。

### 7. 問合せ先

#### <事業全般に関すること>

文部科学省 科学技術・学術政策局 人材政策課 人材政策推進室  
電話：03-5253-4111（内線 4021、4051）  
E-mail:takuetsu@mext.go.jp

#### <書類作成・提出に関すること>

独立行政法人日本学術振興会 研究者養成課  
電話：03-3263-3769  
E-mail: takuken@jsps.go.jp

### 8. スケジュール（予定）

#### (1) 研究機関

平成29年1月23日 ポスト提示開始  
2月20日 ポスト提示締切り  
3月初旬 ポスト一覧化公開  
7月初旬 候補者リストを送付  
7月上旬～ 当事者間交渉

※上記の2.(1)dに記載のとおり、卓越研究員候補者の決定前に各研究機関及び申請を予定している研究者は、連絡を取ることが可能です。

8月下旬 当事者間交渉完了報告書の提出（中間）（未定）

※候補者数等によっては、8月下旬を目処に、当事者間交渉完了報告書が提出された者について、卓越研究員に決定することがあります。詳細は、後日連絡します。

9月29日 当事者間交渉完了報告書の提出締切り

10月上旬以降 卓越研究員としての研究活動開始

※上記の4.(3)(イ)に記載のとおり、7月上旬以降9月29日以前

に卓越研究員を決定し、その時点から卓越研究員として研究活動開始となる場合があります。

## (2) 申請者（研究者）

平成 29 年 1 月 23 日 公募開始

3 月初旬 ポスト一覧化公開

3 月 21 日 申請開始

4 月 25 日 申請締切り

5 月～6 月 審査

7 月初旬 卓越研究員候補者としての採否通知

7 月上旬～9 月 当事者間交渉

※上記の 2. (1) d に記載のとおり、卓越研究員候補者の決定前に各研究機関及び申請を予定している研究者は、連絡を取ることが可能です。

10 月上旬以降 卓越研究員としての研究活動開始

※上記の 4. (3) (イ) に記載のとおり、7 月上旬以降 9 月 29 日以前に卓越研究員を決定し、その時点から卓越研究員として研究活動開始となる場合があります。

## (別表-1)

## ・卓越研究員の研究費

費目	種別	備考
設備備品費		設備備品（資産）を取得、製造する又は効用を増加させるための経費。 ※設備備品の定義・購入手続は機関の規程等によるものとします。
人件費		雇用契約等を締結し事業に従事する者に、その労働の対価として支払うための経費。雇用主が負担するその法定福利費。 ※人件費の算定に当たっては、機関の給与規程等によるものとします。 ※卓越研究員の人件費には充当できません。
事業実施費	消耗品費	設備備品費に該当しない物品の購入経費。 ※消耗品の定義・購入手続は機関の規程等によるものとします。
	国内旅費	国内での出張に係る経費。国内の外部協力者（実施機関に所属する者を除く）の招へいに係る旅費を含みます。 ※旅費の算定に当たっては、機関の旅費規程等によるものとします。
	外国旅費	外国での出張（国内の移動を含む）に係る経費。 ※旅費の算定に当たっては、機関の旅費規程等によるものとします。
	外国人等招へい旅費	外国からの研究者等の招へいに係る経費。 ※旅費の算定に当たっては、機関の旅費規程等によるものとします。
	諸謝金	外部協力者（実施機関に所属する者を除く）に対する会議への出席謝金、講演等に対する謝金。 ※謝金の算定に当たっては、機関の謝金支給規程等によるものとします。
	会議費	学外者を含めた会議等に係る必要最低限の飲食代。 ※飲食代等の支給に当たっては、各機関の規程等に従い必要最低限とします。ただし、アルコール類については、補助金からは支出できません。
	通信運搬費	物品の運搬、データ通信に係る経費。
	印刷製本費	資料等の印刷、製本に係る経費。
	借損料	会議会場の借料、物品等の借損及び使用料に係る経費。
	雑役務費	データ分析、ソフトウェア開発等の役務の提供に係る経費。
光熱水費	本事業に係る研究の遂行上必要となる光熱水費。 ※本事業に関係しない光熱水費については、本補助金で支払うことができないので、算出根拠を明確にしておいてください。	

(注) 卓越研究員の研究費から研究環境整備費への流用はできません。

## (別表-2)

## ・研究環境整備費

費目	種別	備考
設備備品費		設備備品（資産）を取得、製造する又は効用を増加させるための経費。 ※設備備品の定義・購入手続は機関の規程等によるものとします。
人件費		雇用契約等を締結し事業に従事する者に、その労働の対価として支払うための経費。雇用主が負担するその法定福利費。 ※人件費の算定に当たっては、機関の給与規程等によるものとします。 ※卓越研究員の人件費には充当できません。
事業実施費	消耗品費	設備備品費に該当しない物品の購入経費。 ※消耗品の定義・購入手続は機関の規程等によるものとします。
	国内旅費	国内での出張に係る経費。卓越研究員のための国内の外部協力者（実施機関に所属する者を除く）の招へいに係る旅費を含みます。 ※旅費の算定に当たっては、機関の旅費規程等によるものとします。
	外国旅費	外国での出張（国内の移動を含む）に係る経費。 ※旅費の算定に当たっては、機関の旅費規程等によるものとします。
	外国人等招へい旅費	外国からの研究者等の招へいに係る経費。 ※旅費の算定に当たっては、機関の旅費規程等によるものとします。
	諸謝金	卓越研究員のための外部協力者（実施機関に所属する者を除く）の会議出席やメンタリング等に対する謝金。講演等に対する謝金。 ※謝金の算定に当たっては、機関の謝金支給規程等によるものとします。
	会議費	卓越研究員の評価等のための委員会（学外者を含めたもの）の開催（会場（機器）借料等）に係る必要最低限の飲食代。 ※飲食代等の支給に当たっては、各機関の規程等に従い必要最低限とします。ただし、アルコール類については、補助金からは支出できません。
	通信運搬費	物品の運搬、データ通信に係る経費。
	印刷製本費	資料等の印刷、製本に係る経費。
	借損料	会議会場の借料、物品等の借損及び使用料に係る経費。
	雑役務費	計算機・ネットワーク等の保守管理や支援業務を担う職員等の労働派遣など役務の提供に係る経費
	光熱水費	本事業実施により必要となる光熱水費。 ※本事業に関係しない光熱水費については、本補助金で支払うことができないので、算出根拠を明確にしておいてください。

(注) 卓越研究員の研究費から研究環境整備費への流用はできません。



平成 29 年度

卓越研究員事業

審査要領

文部科学省 科学技術・学術政策局

平成 29 年 1 月



## 1. 審査体制

平成 29 年度の卓越研究員事業に関する審査等については、文部科学省を支援する中立的な公的機関（独立行政法人日本学術振興会（以下「日本学術振興会」という。))において、有識者によって構成される卓越研究員候補者選考委員会（以下「選考委員会」という。）を設置し、卓越研究員候補者（以下「候補者」という。）の選考のための審査を付託します。

候補者の選考のための審査は、選考委員会の委員（以下「委員」という。）による書面審査により行います。

候補者は、委員による書面審査の結果を踏まえ、文部科学省が決定します。

## 2. 審査方法

各研究機関より提示されたポストや申請のあった研究者（以下「申請者」という。）の研究分野・分科を考慮し設定する領域ごとに、以下の方法で審査を実施します。

### (1) 書面審査

- ・書面審査は、各委員が申請者から提出された申請書類（特に、研究者\_様式 1（別紙を含む）・様式 2）に基づき、後述の「3. 審査の観点」に基づき、審査を行います。

### (2) 候補者の決定

- ・各委員による書面審査の結果を踏まえ、文部科学省において、候補者を決定します。
- ・候補者の決定に際しては、卓越研究員候補者の多様性（分野、性別等）、研究分野ごとの一覧化公開されたポスト数や申請者数等を考慮することがあります。

## 3. 審査の観点

主な審査の観点は、以下のとおりです。

- ① 我が国の科学技術や学術研究、科学技術イノベーションの将来を担う優れた研究リーダーとなることが期待できること
- ② 世界水準の研究力を有し、新たな研究領域や技術分野等の開拓が期待できること（海外での研究経験歴も考慮する。）
- ③ 研究目的及び研究計画が明確かつ具体的であり、優れていること
- ④ 産学官の研究機関で活躍し得る意欲や柔軟性を有すること  
<④に関する具体的な活動例>
  - ・大学及び大学共同利用機関以外の研究機関（企業、公設試験研究機関等）における、研究経験（例えば、企業等での職務経験や長期（3 カ月程度以上）のインタ

- ・メンシップ等（研究活動に係るもの）
- ・海外の研究機関（大学を含む。）における長期（3カ月程度以上）の研究経験 等

#### 4. その他

##### （1）審査の開示・非開示

- ・委員の審査資料については、非公開とします。
- ・審査の内容や経過等についての問合せには、応じられません。
- ・委員の氏名については、委員としての任期終了後に公表します。

##### （2）委員の遵守事項

###### ①利害関係者の排除

- ・申請者と利害関係のある委員は、日本学術振興会にその旨を申し出ることとし、当該申請者の審査に加わることができないこととします。

###### <利害関係の範囲>

- ・委員と親族関係にあるものが申請者である場合
- ・委員が、申請者が現在所属する研究機関（同一部局）に専任又は兼任の役員、職員、教員等として在職（就任予定を含む。）している場合
- ・委員が中立・公正に審査を行うことが難しいと自ら判断する場合

###### ②秘密保持

- ・委員は、審査の過程で知り得た個人情報及び申請者の審査内容に係る情報については、外部に漏洩してはなりません。また、委員として取得した情報（申請書類等の各種資料を含む。）は、厳重に管理しなければなりません。

## 平成 29 年度卓越研究員事業 研究機関申請書

申請機関名	
機関種別	※大学、大学共同利用機関法人、国立研究開発法人、企業など、申請システム上の選択肢に従って記入してください。

## ■申請機関・総括責任者

本事業による科学技術人材育成費補助金の支援を希望する機関については、機関の長（学長、理事長、機構長、社長等）を、総括責任者としてください。補助金の支援を希望しない機関については、下記の機関全体の実施責任者と同一の者としても構いません。

氏名	
フリガナ	
役職名	

## ■当該取組における機関全体の実施責任者

氏名	
フリガナ	
役職名	

## ■当該取組における機関全体の事務連絡担当者

本項目の担当者へ登録完了の連絡や、卓越研究員候補者の情報の通知等すべての連絡を行います。

氏名	
フリガナ	
役職名	
所属組織・部署名	
事務連絡先	▼郵便番号 ▼所在地 ▼TEL ▼FAX ▼E-mail

## ■補助金支援の希望の有無

補助金支援の希望の有無	
-------------	--

## ■機関における経理責任者

※本事業による補助金の支援を希望しない機関については記載不要です。

氏名	
フリガナ	
役職名	
所属組織・部署名	

## ■当該取組における機関全体の経理管理担当者

※本事業による補助金の支援を希望しない機関については記載不要です。

氏名	
フリガナ	
役職名	
所属組織・部署名	
事務連絡先	▼郵便番号 ▼所在地  ▼TEL ▼FAX ▼E-mail

## ■ポスト提示理由

貴機関の将来構想も踏まえて、ポストを提示した理由について記載してください。複数のポストを提示する場合には、総括的に、もしくは、個別に、当該ポストを提示した理由を記載してください。

※全角 1024 文字以内で記載してください。

## ■実施体制

研究機関において、卓越研究員が自ら研究テーマを設定し、研究を遂行できるよう、自立的な研究環境をどのように整備するかについて具体的に記載してください。(例えば、テニュアトラック制の規程の制定状況や実施体制等) 特に、補助金の支援を希望する場合は、研究環境整備費として補助する経費の想定する用途について記載してください。

なお、企業等においては、その業務特性を踏まえつつ、卓越研究員の能力を活かすことのできる体制をどのように整備するかについて記載してください。

※全角 1024 文字以内で記載してください。

## 平成 29 年度卓越研究員事業

## 研究機関申請書（研究環境関係）

公募番号			
(1)機関名 【Institution】		(2)部署名 【Department】	
(3)想定する人材(分野 など) 【Type of researchers to seek (research area etc)】			
(4)研究分野(分野) 【Research field(Area)】		(5)研究分野(分科) 【Research field (Discipline)】	
(6)研究分野(副分野/キ ーワード) 【Research field(Sub/Ker words)】			
(7)職種 【Job type】		(8)勤務形態 【Employment status】	
(9)勤務地 【Work location】		(10)機関への事前連絡 (エントリー等)の要否 【Advance notice/entry】	
(11)選考プロセス、スケ ジュール概要(予定) 【Process,schedule】			
(12)HP アドレス(詳細情 報) 【HP address for more information】	JREC-IN Portal アドレス	(13)問い合わせ先 【Contact address】	担当部署 :
	JREC-IN Portal のデータ番号		電話番号 :
	各機関の HP アドレス		E-mail :
(14)その他機関として のアピールポイント等 【Appeal points etc】			
(15)備考【Notes】			

- 注 1. 上記、(1)～(15)に原則として日本語と英語の双方で、公募情報を入力してください。(1)～(15)の情報を一覧化し、公開します。
2. (3)については、求める人材像（研究分野を含む）、募集人数、着任時期、（予定がある場合は）将来的なキャリアパス等について記載してください。
  3. (4)・(5)については、当該ポストの専門分野・分科に該当するもの（複数の分野に関係する場合は主たる分野・分科）を選択してください。（参考 1 も参照のこと）(6)については、(4)及び(5)で定めた主たる分野・分科以外で関連する分野、分科、あるいはこれに限らず、求める研究分野のキーワードを記載してください。
  4. (7)については、雇用した際に予定される職種について選択してください。その他の場合には詳細を記載してください。
  5. (8)については、雇用した際に予定される雇用形態について選択してください。「その他任期付」の場合には、公募要領 2. (1) b. のとおり、公正で透明性が高く、安定性の高いポストであることがわかる記載をしてください。なお、企業においては、その業務特性を踏まえて記載してください。
  6. (10)については、卓越研究員候補者決定後の当事者間交渉前に、機関に対して、機関の定める様式でエントリーするなど、事前に希望等連絡する必要がある場合は「要」を、卓越研究員候補者決定後に当事者間交渉の希望を受け付ける場合は「不要」を記入してください。「要」とする場合は、(15)備考欄に連絡期限、連絡先（未定の場合は、いつ頃公表予定かを含む）について記載してください。
  7. (11)については、卓越研究員候補者決定後の当事者間交渉、あるいは、(10)の事前連絡を行う場合の当該連絡について、どのような手続き・プロセスを想定しているか記載してください。予定時期についても決定している場合は記載してください。その際、選考プロセスが公正で透明性の高いものとなるようご注意ください。
  8. (12)については、JREC-IN Portal を利用する際は、公募情報を JREC-IN Portal に登録した際付与される D から始まる 10 桁のデータ番号（例：D\*\*\*\*\*）の番号を「JREC-IN Portal のデータ番号」欄に入力してください。（JREC-IN Portal での公表は、文部科学省による一覧化公開と同時期を予定しています。「JREC-IN Portal アドレス」欄は入力する必要はありません。）また、各研究機関の HP を利用する場合には、当該アドレスを入力してください。
  9. (13)については、申請者から公募情報に関する問い合わせに対応することのできる連絡先を記載してください。
  10. (14)については、上記の項目に限らない、機関として卓越研究員受入に際しアピールしたい点（処遇なども含む）を記載してください。卓越研究員を受け入れた場合の、将来のキャリアパス等について検討されている場合は、それらを記載していただいても結構です。

## 当事者間交渉完了報告書

### 1. 機関情報

○申請機関名 「  
○総括責任者名 「

### 2. ポスト情報、研究者情報

ポスト公募 番号	候補者番号	卓越研究員 <sup>ふりがな</sup> 氏名	雇用開始予定時期※
			平成 年 月

※ 原則として、雇用開始予定時期は、平成 29 年度中としてください。ただし、平成 29 年度中の雇用開始が難しい場合は、以下にポストごとにその理由を記載の上、本様式を提出してください。この場合、予算の調整により、平成 30 年度以降から起算して補助金の支援を実施する可能性があります。また、平成 29 年 10 月から平成 30 年 3 月までに当事者間交渉が完了した場合には、以下の理由の記載は必要ありませんが、補助金の支援については、同様に実施する可能性があります。

(平成 29 年度中に雇用開始が難しい理由)

(注意)

1. 各機関において、複数の卓越研究員候補者を雇用した場合には、それぞれ別の行に必要事項を記載の上、本様式を提出してください。なお、行が足りない場合には、適宜追加してください。
2. 候補者番号は、卓越研究員候補者の通知の際に付された番号を記載してください。
3. 補助金による支援を希望する場合には、研究機関と卓越研究員候補者との間で調整の上、別紙に卓越研究員の研究費及び研究環境整備費に係る所要経費の見込み額及びその内訳を記載の上、提出してください。

(別紙)

### 所要経費の見込額

○申請機関名 「 」

○総括責任者名 「 」

(支援予定期間：平成29年度～平成33年度)

#### 1. 所要見込額 (全体計画)

(単位：千円)

	年 度	H29年度 (1年度目)	H30年度 (2年度目)	H31年度 (3年度目)	H32年度 (4年度目)	H33年度 (5年度目)	合計金額
補助 金 の 取 組	所要見込額						
	補助金額						
	自己負担額						

注1) 上記記載の金額は、あくまで計画であり、毎年度交付される補助金額を担保するものではありません。また、補助金による支援額については、財政事情等により減額する場合があります。

2) 卓越研究員の人件費は補助対象外経費となりますので、自己負担額には含めないでください。

#### 2. 平成29年度所要見込額

##### (1) 「卓越研究員の研究費」及び「研究環境整備費」

(単位：千円)

経費区分	所 要 見 込 額 の 内 訳		
	補 助 金 額	自 己 負 担 額	合 計
(1) 卓越研究員の研究費	A	B	(A + B)
(2) 研究環境整備費	A	B	(A + B)
合 計	A	B	(A + B)

注1) 「(1) 卓越研究員の研究費」から「(2) 研究環境整備費」への流用はできません。

2) 所要経費の費目については、公募要領の別表1、2を参考にしてください。

(2) 卓越研究員ごとの研究費

(単位：千円)

支援対象となる 卓越研究員	所要見込額の内訳		
	補助金額	自己負担額	合計
※支援対象者1名ごとに記載してください。	A	B	(A + B)
	A	B	(A + B)
	A	B	(A + B)
合計	A	B	(A + B)

注) 支援対象となる卓越研究員の数に応じて、適宜行を追加して記載してください。



(研究者\_様式1)

## 平成 29 年度卓越研究員事業 申請書

受付番号		
審査希望領域	分野	
	分科	
	細目	
	分科・細目コード	

フリガナ 氏名(表示名)	
国籍	
性別	
生年月日	
希望連絡先 (E-mail)	

現所属機関	機関名	
	機関属性	
	所在地	〒
	部局・部署名	
	職名	
	勤務形態	

博士の状況	学位の取得状況	
	大学院名	
	研究科名	
	専攻名	
	修了・満期退学等年月	
	学位取得年月	
	学位名	
臨床研修を課された医学分野への在籍		

研究・職歴等	
--------	--

出産・育児等による研究中断歴の有無	
出産・育児等による研究中断期間	

研究計画のタイトル	
-----------	--

## その他登録情報

以降の入力項目は、評価書依頼先及び注意事項の確認に使用します。審査及び卓越研究員候補者となった場合の機関への情報提供には使用しません。

フリガナ 氏名(戸籍名)		
現住所	〒	
	電話：	携帯電話：

※現住所（希望連絡先）については申請書提出後の変更が可能ですが、申請書提出時に作成されたPDF ファイルへは反映されません。

評価書作成者 1	フリガナ 氏名	
	所属機関	
	部局・部署名	
	職名	
	連絡先(E-mail)	
評価書作成者 2	フリガナ 氏名	
	所属機関	
	部局・部署名	
	職名	
	連絡先(E-mail)	

## 申請に当たっての同意

申請に当たり、下記注意事項を確認の上、同意・確認した場合にそれぞれの項目にチェックを付してください。下記項目をチェックせずに申請を完了することはできません。

- 1) 卓越研究員候補者に決定された場合、卓越研究員ポストを提示した研究機関へ提供する「卓越研究員候補者リスト」への氏名等の掲載及び「候補者情報の提供」に同意するかを、下記にチェックをしてください。同意しない場合は申請を受付けられません。提供情報は研究者\_様式1及び様式1（別紙）です。

卓越研究員候補者となった場合、研究機関へ提供する「卓越研究員候補者リスト」への氏名等の掲載及び「候補者情報の提供」に同意する。

- 2) 申請に当たっては、「平成29年度卓越研究員事業 公募要領」を必ず確認してください。また、申請後に申請内容に重大な誤り等が判明した場合、卓越研究員候補者又は卓越研究員の決定を取り消される場合があります。以上を確認・了解の上、申請してください。

「平成29年度卓越研究員事業 公募要領」を確認し、記載内容を了解しました。  
 上記及び別添の申請内容について、誤りが無いことを確認しました。

(研究者\_様式1別紙)

## 平成29年度卓越研究員事業 研究概要

研究者\_様式2「卓越研究員として取り組みたい研究テーマ」に記載する研究計画等の概要を、本ページに記載してください。

本ページは、卓越研究員候補者に決定された際に研究機関へ候補者情報として提供します。このため、秘密情報等の公表できない情報は含めずに作成してください。また、当該研究を計画した背景となる業績等、研究機関にアピールするための情報を記載することや、図表を含めてわかりやすく記載することも可能です。ただし、様式の変更・ページの追加は不可とします。

### 研究概要

## 平成29年度卓越研究員事業研究計画等

### ① 卓越研究員として取り組みたい研究テーマ

#### <<研究目的・内容（課題設定・問題意識等を含む）>>

本欄には、取り組みたい研究に関する全体構想の具体的な目的及びその内容について、適宜文献を引用しつつ記載し、特に次の点については、焦点を絞り、具体的かつ明確に記載してください。なお、一覧化公開されたポストを提示した機関との当事者間交渉の中で、機関と調整した結果、研究内容を修正することも排除されません。

- 研究の学術的又は社会的背景（本研究に関連する国内・国外の研究動向及び位置づけ、着想に至った経緯、課題設定・問題意識の裏付けとなる根拠等）
- 問題の核心は何であり、どのように明らかにしようとするのか
- 当該研究の背景となる課題設定・問題意識。また、これらによりどのような成果が見込まれるか。また、その成果を踏まえて、どのような新たな研究領域等の開拓につなげていくのか。これまでの研究成果を他分野・業種で活用・展開していく場合はその内容。

※様式の変更・ページの追加は不可とする。

#### 【研究目的・内容】

【研究目的・内容（つづき）】

## ①卓越研究員として取り組みたい研究テーマ

### <<研究計画・方法>>

本欄には、研究目的を達成するための具体的な研究計画・方法について、適宜文献を引用しつつ記載してください。特に、次の点については、焦点を絞り、具体的かつ明確に記載してください。

- ① 本研究を遂行する上での具体的な工夫（研究を進める上でのアイデアの独自性、創造性、新規性等）
- ② 研究室主宰者としての研究体制の構想（ポストドクターや大学院生の配置等も含め、どのような体制で研究を実施することを想定しているか。企業の場合には、プロジェクトのマネージャーとして、どのようにチームをつくり、どのような体制で実施することを想定しているか。）
- ② 長期的な研究計画の実行のために直近2年間で実施すべき研究の計画・方法
- ③ 産学官の多様な研究機関で活躍する上で、研究機関の多様な要請に対する抱負（研究機関の多様な要請に応じて実行し発展させるときに、どのような学識や技術を有しており、その実施によって新しい問題を発見することができるか。）

※様式の変更・ページの追加は不可とする。

### 【研究計画・方法】

【研究計画・方法（つづき）】

## ①卓越研究員として取り組みたい研究テーマ

### <<将来的に研究の成果が社会に与える重大性>>

本欄には、研究目的を達成した場合、その成果が人間の生活や社会等にどのような重大なインパクトを与えるものであるかについて具体的に記載してください。なお、当該分野の専門家ではない者に対しても理解が進むような記載を心掛けてください。

※様式の変更・ページの追加は不可とする。

【将来的に研究の成果が社会等に与える重大性】

## ②研究業績

### <<研究業績（特筆すべき業績3件）>>

本欄には、これまでに発表した論文、著書、特許権等産業財産権、招待講演、受賞等の研究業績のうち、今回構想する研究に関連する、2012年以降の特筆すべき業績3点以内について、その受賞理由や書評なども引用しつつ、また、下記の注意事項に沿い、簡潔に記載してください。なお、学術誌へ投稿中の論文を記載する場合は、掲載が決定しているものに限ります。

その他、今回構想する研究に関連する重要な業績については、次の<<その他の業績一覧>>に、産学連携等の経験については「③産学官の多様な研究機関での経歴・経験等」の項目に記載してください。

- ① 例えば発表論文の場合、論文名、著者名、掲載誌名、査読の有無、巻、最初と最後の頁、発表年（西暦）について記載してください。
- ② 以上の各項目が記載されていれば、項目の順序を入れ替えても可。著者名が多数にわたる場合は、主な著者を数名記入し、他を省略（省略する場合、その員数と、掲載されている順番を○番目と記入）しても可。なお、申請者には、下線を付してください。

※様式の変更・ページの追加は不可とする。

**【特筆すべき業績3件】**

【特筆すべき業績3件（つづき）】

## ②研究業績

### <<その他業績一覧>>

今回構想する研究に関連する重要な業績について、2012年以降の業績を中心に、現在から順に発表年次を過去にさかのぼり、前頁までに記載した特筆すべき業績（3件）も含めて通し番号を付して記載して下さい。そのうち、特筆すべき業績として記入した3件については、該当する番号に○印を付して下さい。

※様式の変更・ページの追加は不可とする。

#### 【その他の業績】

(記入例 ※記載項目の構成は変更しても構いません。記入する際は削除してください。)

##### (1) 学術雑誌等（紀要・論文集等も含む）に発表した論文、著書

- ① 学振太郎、半蔵門花子、・・・ 「(題名)」、『(掲載誌名)』、○○出版、○号、pp57-62、2012
- 2) 麴町次郎、学振太郎、・・・ 「(題名)」、『(掲載誌名)』、○○出版、○号、pp33-39、2013
- 3) 半蔵門花子、麴町次郎、学振太郎(6番目)、○○○○、○○○○、○○○○、○○○○、千代田三郎(○名省略)、「(題名)」、『(掲載誌名)』、○○出版、○号、pp10-25、2013

##### (2) 学術雑誌等又は商業誌における解説、総説

- 1) 学振太郎・・・ 「(題名)」、『(掲載誌名)』、○○出版、○号、pp57-62、2012

##### (3) 国際会議における発表

- ① ○Gakushin T, Hanzoumon H,・・・ 「(題名)」、『(学会名)』、BB-11、Los Angeles, USA、(June 2013)

##### (4) 国内学会・シンポジウム等における発表

- 1) ○学振太郎、半蔵門花子、・・・ 「(題名)」、『(学会名)』、No.200、仙台、2013年9月

##### (5) 特許

- 1) (特許の番号)号、「(名称)」、麴町治郎、学振太郎、2013年4月

##### (6) その他(受賞歴等)

- ① 学振太郎・・・ 「(賞の名称)」、2013年4月

【その他の業績（つづき）】

### ③産学官の多様な研究機関での経歴・経験等

#### <<経歴・経験等>>

本欄には、産学官の多様な研究機関での活躍が期待されることが分かるよう、大学及び大学共同利用機関以外の機関（企業、公設試験研究機関等）における研究者としての勤務経験、最低3カ月以上のインターンシップの経験、あるいは、海外の研究機関（大学を含む）に3カ月以上所属し、研究に従事した経験など、多様な研究機関での経歴・経験等について、時期（年月を含む）及び内容を記載してください。

※様式の変更・ページの追加は不可とする。

#### 【時期及び内容】

（記入例 ※記載項目の構成は変更しても構いません。記入する際は削除してください。）

- 2012年4月～2014年3月  
：～～研究所に勤務し、～～に関する研究を実施した。
- 2014年9月～2015年2月  
：～～研究所にて長期インターンシップに従事し、～～に関する研究において～～を担当した。

(研究者\_様式3)

## 卓越研究員事業申請者に関する評価書

①評価書作成者	ふりがな 氏名	
	所属機関名	
	部局名	
	職名	
②申請者	ふりがな 氏名	
③申請者との関係		

<申請者の研究姿勢・忍耐力・研究の進捗状況、専門知識・技量、着想力・創造力、コミュニケーション能力、リーダーシップ、将来性などについて>

## 分野・分科表

ここでは、研究機関、研究者双方が申請する際に、その専門分野に従い、申請書類に  
入力すべき研究分野・分科を示します。

研究者が「総合」分野を選択した際には、審査を希望する分野をその他8分野（人文、  
社会科学、数物系科学、化学、工学、生物学、農学、医歯薬学）から選択する必要があります。  
次ページにその選択可能分野を分科細目ごとに「○」をつけ示していますので、  
それに従い、記載してください。その後ろに、8分野の分科を掲載します。また、本冊  
子の末尾に参考としてキーワード表を掲載します。

分科・細目コード表  
List of Research area/discipline/field

分野	Area	分科	Discipline	細目名	Research Field	分科・細目コード Field code	選択可能領域 Research area to be reviewed														
							人文学	社会科学	数物系科学	化学	工学	生物学	農学	医歯薬学							
							Humanities	Social sciences	Mathematical and physical sciences	Chemistry	Engineering	Biology	Agricultural sciences	Medicine, dentistry, and pharmacy							
総合	Integrated Disciplines	情報学基礎	Principles of Informatics	情報学基礎理論	Theory of informatics	1001															
		計算基礎	Computing Technologies	数理情報学	Mathematical informatics	1002															
				統計科学	Statistical science	1003															
				計算機システム	Computer system	1101															
				ソフトウェア	Software	1102															
				情報ネットワーク	Information network	1103															
				マルチメディア・データベース	Multimedia database	1104															
		人間情報学	Human informatics	高性能計算	High performance computing	1105															
				情報セキュリティ	Information security	1106															
				認知科学	Cognitive science	1201															
				知覚情報処理	Perceptual information processing	1202															
				ヒューマンインタフェース・インタラクション	Human interface and interaction	1203															
				知能情報学	Intelligent informatics	1204															
		情報学フロンティア	Frontiers of informatics	ソフトコンピューティング	Soft computing	1205															
				知能ロボティクス	Intelligent robotics	1206															
				感性情報学	Kansei informatics	1207															
				生命・健康・医療情報学	Life / Health / Medical informatics	1301															
				ウェブ情報学・サービス情報学	Web informatics, Service informatics	1302															
				図書館情報学・人文社会情報学	Library and information science / Humanistic social informatics	1303															
		環境解析学	Environmental analyses and evaluation	学習支援システム	Learning support system	1304															
				エンタテインメント・ゲーム情報学	Entertainment and game informatics	1305															
				環境動態解析	Environmental dynamic analysis	1401															
		環境保全学	Environmental conservation	放射線・化学物質影響科学	Risk sciences of radiation and chemicals	1402															
				環境影響評価	Environmental impact assessment	1403															
				環境技術・環境負荷低減	Environmental engineering and reduction of environmental burden	1501															
				環境モデリング・保全修復技術	Modeling and technologies for environmental conservation and remediation	1502															
		環境創成学	Sustainable and environmental system development	環境材料・リサイクル	Environmental conscious materials and recycle	1503															
				環境リスク制御・評価	Environmental risk control and evaluation	1504															
				自然共生システム	Environmental and ecological symbiosis	1601															
		デザイン学	Design science	持続可能システム	Design and evaluation of sustainable and environmental conscious system	1602															
				環境政策・環境社会システム	Environmental policy and social systems	1603															
				デザイン学	Design science	1651															
		生活科学	Human life science	家政・生活学一般	Home economics/ Human life	1701															
				衣・住生活学	Clothing life/ Dwelling life	1702															
		科学教育・教育工学	Science education/ Educational technology	食生活学	Eating habits	1703															
				科学教育	Science education	1801															
		科学社会学・科学技術史	Sociology/ History of science and technology	教育工学	Educational technology	1802															
				科学社会学・科学技術史	Sociology/ History of science and technology	1901															
		文化財科学・博物館学	Cultural assets study and museology	文化財科学・博物館学(A)	Cultural assets study and museology (A)	2001															
				文化財科学・博物館学(B)	Cultural assets study and museology (B)	2002															
		地理学	Geography	地理学	Geography	2101															
				社会システム工学・安全システム	Social systems engineering/ Safety system	2201															
		社会・安全システム科学	Social/ Safety system science	自然災害科学・防災学	Natural disaster / Disaster prevention science	2202															
				生体工学・生体材料学	Biomedical engineering/ Biomaterial science and engineering	2301															
		人間工学	Biomedical engineering	医用システム	Medical systems	2302															
				医療技術評価学	Medical engineering assessment	2303															
				リハビリテーション科学・福祉工学	Rehabilitation science/ Welfare engineering	2304															
身体教育学(A)	Developmental mechanisms and the body works (A)			2401																	
健康・スポーツ科学	Health/ Sports science	身体教育学(B)	Developmental mechanisms and the body works (B)	2402																	
		スポーツ科学(A)	Sports science (A)	2403																	
		スポーツ科学(B)	Sports science (B)	2404																	
		応用健康科学(A)	Applied health science (A)	2405																	
		応用健康科学(B)	Applied health science (B)	2406																	
子ども学	Childhood science	子ども学(子ども環境学)	Childhood science (childhood environment science)	2451																	
生体分子科学	Biomolecular science	生物分子化学	Biomolecular chemistry	2501																	
		ケミカルバイオロジー	Chemical biology	2502																	
脳科学	Brain sciences	基礎・社会脳科学	Basic / Social brain science	2601																	
		脳計測科学	Brain biometrics	2602																	

分野	Area	分科	Discipline	細目名	Research Field	分科・細目コード Field code	選択可能領域 Research area to be reviewed									
							人文学	社会科学	数物系科学	化学	工学	生物学	農学	医歯薬学		
							Humanities	Social sciences	Mathematical and physical sciences	Chemistry	Engineering	Biology	Agricultural sciences	Medicine, dentistry, and pharmacy		
人文学	Humanities	地域研究	Area studies	地域研究	Area studies	2701	○	○								
		ジェンダー	Gender	ジェンダー	Gender	2801	○	○						○		
		観光学	Tourism Studies	観光学	Tourism Studies	2851	○	○					○			
		ナノ・マイクロ科学	Nano/ Micro science	ナノ構造化学	Nanostructural chemistry	ナノ構造化学	Nanostructural chemistry	4301			○	○	○			
				ナノ構造物理	Nanostructural physics	ナノ構造物理	Nanostructural physics	4302			○	○	○			
				ナノ材料化学	Nanomaterials chemistry	ナノ材料化学	Nanomaterials chemistry	4303			○	○	○			
				ナノ材料工学	Nanomaterials engineering	ナノ材料工学	Nanomaterials engineering	4304			○	○	○			
				ナノバイオサイエンス	Nanobioscience	ナノバイオサイエンス	Nanobioscience	4305			○	○	○		○	
				ナノマイクロシステム	Nano/ Microsystems	ナノマイクロシステム	Nano/ Microsystems	4306			○	○	○			
		応用物理学	Applied physics	応用物性	Applied materials	応用物性	Applied materials	4401			○	○				
				結晶工学	Crystal engineering	結晶工学	Crystal engineering	4402			○	○				
				薄膜・表面界面物性	Thin film/ Surface and interfacial physical properties	薄膜・表面界面物性	Thin film/ Surface and interfacial physical properties	4403			○		○			
				光工学・光子科学	Optical engineering, Photon science	光工学・光子科学	Optical engineering, Photon science	4404			○		○			
				プラズマエレクトロニクス	Plasma electronics	プラズマエレクトロニクス	Plasma electronics	4405			○		○			
				応用物理学一般	General applied physics	応用物理学一般	General applied physics	4406			○		○			
		量子ビーム科学	Quantum beam science	量子ビーム科学	Quantum beam science	4501			○		○					
		計算科学	Computational science	計算科学	Computational science	4601			○		○					
		神経科学	Neuroscience	神経生理学・神経科学一般	Neurophysiology / General neuroscience	神経生理学・神経科学一般	Neurophysiology / General neuroscience	6201					○	○	○	
				神経解剖学・神経病理学	Nerve anatomy/ Neuropathology	神経解剖学・神経病理学	Nerve anatomy/ Neuropathology	6202						○	○	
				神経化学・神経薬理学	Neurochemistry/ Neuropharmacology	神経化学・神経薬理学	Neurochemistry/ Neuropharmacology	6203					○	○	○	
		実験動物学	Laboratory animal science	実験動物学	Laboratory animal science	6301							○	○		
		腫瘍学	Oncology	腫瘍生物学	Tumor biology	腫瘍生物学	Tumor biology	6401					○	○	○	
				腫瘍診断学	Tumor diagnostics	腫瘍診断学	Tumor diagnostics	6402						○	○	
				腫瘍治療学	Tumor therapeutics	腫瘍治療学	Tumor therapeutics	6403						○	○	
		ゲノム科学	Genome science	ゲノム生物学	Genome biology	ゲノム生物学	Genome biology	6501					○	○	○	
				ゲノム医科学	Medical genome science	ゲノム医科学	Medical genome science	6502					○	○	○	
				システムゲノム科学	System genome science	システムゲノム科学	System genome science	6503					○	○	○	
		生物資源保全学	Conservation of biological resources	生物資源保全学	Conservation of biological resources	6601						○	○			
		社会科学	Social sciences	哲学	Philosophy	哲学・倫理学	Philosophy/ Ethics	2901								
						中国哲学・印度哲学・仏教学	Chinese philosophy/ Indian philosophy/ Buddhist studies	2902								
						宗教学	Religious studies	2903								
						思想史	History of thought	2904								
芸術学	Art studies			美学・芸術諸学	Aesthetics and studies on art	美学・芸術諸学	Aesthetics and studies on art	3001								
				美術史	Fine art history	美術史	Fine art history	3002								
				芸術一般	Art at large	芸術一般	Art at large	3003								
文学	Literature			日本文学	Japanese literature	日本文学	Japanese literature	3101								
				英米・英語圏文学	Literature in English	英米・英語圏文学	Literature in English	3102								
				ヨーロッパ文学	European literature	ヨーロッパ文学	European literature	3103								
				中国文学	Chinese literature	中国文学	Chinese literature	3104								
				文学一般	Literature in general	文学一般	Literature in general	3105								
言語学	Linguistics			言語学	Linguistics	言語学	Linguistics	3201								
				日本語学	Japanese linguistics	日本語学	Japanese linguistics	3202								
				英語学	English linguistics	英語学	English linguistics	3203								
				日本語教育	Japanese language education	日本語教育	Japanese language education	3204								
				外国語教育	Foreign language education	外国語教育	Foreign language education	3205								
史学	History			史学一般	Historical studies in general	史学一般	Historical studies in general	3301								
				日本史	Japanese history	日本史	Japanese history	3302								
				アジア史・アフリカ史	History of Asia and Africa	アジア史・アフリカ史	History of Asia and Africa	3303								
		ヨーロッパ史・アメリカ史	History of Europe and America	ヨーロッパ史・アメリカ史	History of Europe and America	3304										
		考古学	Archaeology	考古学	Archaeology	3305										
人文地理学	Human geography	人文地理学	Human geography	3401												
文化人類学	Cultural anthropology	文化人類学・民俗学	Cultural anthropology	3501												
社会科学	Social sciences	法学	Law	基礎法学	Fundamental law	3601										
				公法学	Public law	3602										
				国際法学	International law	3603										
				社会法学	Social law	3604										
				刑事法学	Criminal law	3605										
				民事法学	Civil law	3606										
				新領域法学	New fields of law	3607										
		政治学	Politics	政治学	Politics	政治学	Politics	3701								
				国際関係論	International relations	国際関係論	International relations	3702								
		経済学	Economics	理論経済学	Economic theory	理論経済学	Economic theory	3801								
				経済学説・経済思想	Economic doctrine/ Economic thought	経済学説・経済思想	Economic doctrine/ Economic thought	3802								
				経済統計	Economic statistics	経済統計	Economic statistics	3803								
				経済政策	Economic policy	経済政策	Economic policy	3804								
				財政・公共経済	Public finance/ Public economy	財政・公共経済	Public finance/ Public economy	3805								
				金融・ファイナンス	Money/ Finance	金融・ファイナンス	Money/ Finance	3806								
		経営学	Management	経営学	Management	経営学	Management	3901								
				商学	Commerce	商学	Commerce	3902								
				会計学	Accounting	会計学	Accounting	3903								
		社会学	Sociology	社会学	Sociology	社会学	Sociology	4001								
				社会福祉学	Social welfare and social work studies	社会福祉学	Social welfare and social work studies	4002								
心理学	Psychology	社会心理学	Social psychology	社会心理学	Social psychology	4101										
		教育心理学	Educational psychology	教育心理学	Educational psychology	4102										
		臨床心理学	Clinical psychology	臨床心理学	Clinical psychology	4103										
		実験心理学	Experimental psychology	実験心理学	Experimental psychology	4104										
教育学	Education	教育学	Education	教育学	Education	4201										
		教育社会学	Sociology of education	教育社会学	Sociology of education	4202										
		教科教育学	Education on school subjects and activities	教科教育学	Education on school subjects and activities	4203										
		特別支援教育	Special needs education	特別支援教育	Special needs education	4204										







分野	Area	分科	Discipline	細目名	Research Field	分科・細目コード Field code	選択可能領域 Research area to be reviewed								
							人文学	社会科学	数物系科学	化学	工学	生物学	農学	医歯薬学	
							Humanities	Social sciences	Mathematical and physical sciences	Chemistry	Engineering	Biology	Agricultural sciences	Medicine, dentistry, and pharmacy	
医 歯 薬 学	Medicine, dentistry, and pharmacy	薬学	Pharmacy	化学系薬学	Chemical pharmacy	7801									
				物理系薬学	Physical pharmacy	7802									
				生物系薬学	Biological pharmacy	7803									
				薬理系薬学	Pharmacology in pharmacy	7804									
				天然資源系薬学	Natural medicines	7805									
				創薬化学	Drug development chemistry	7806									
				環境・衛生系薬学	Environmental and hygienic pharmacy	7807									
		医療系薬学	Medical pharmacy	7808											
		基礎医学	Basic medicine	解剖学一般(含組織学・発生学)	General anatomy (including histology/embryology)	7901									
				生理学一般	General physiology	7902									
				環境生理学(含体力医学・栄養生理学)	Environmental physiology (including physical medicine and nutritional physiology)	7903									
				薬理学一般	General pharmacology	7904									
				医化学一般	General medical chemistry	7905									
				病態医化学	Pathological medical chemistry	7906									
				人類遺伝学	Human genetics	7907									
				人体病理学	Human pathology	7908									
				実験病理学	Experimental pathology	7909									
				寄生虫学(含衛生動物学)	Parasitology (including sanitary zoology)	7910									
				細菌学(含真菌学)	Bacteriology (including mycology)	7911									
				ウイルス学	Virology	7912									
				免疫学	Immunology	7913									
				境界医学	Boundary medicine	医療社会学	Medical sociology	8001							
		応用薬理学	Applied pharmacology			8002									
		病態検査学	Laboratory medicine			8003									
		疼痛学	Pain science			8004									
		社会医学	Society medicine	医学物理学・放射線技術学	Medical Physics and Radiological Technology	8005									
				疫学・予防医学	Epidemiology and preventive medicine	8101									
				衛生学・公衆衛生学	Hygiene and public health	8102									
				病院・医療管理学	Medical and hospital management	8103									
		内科系臨床医学	Clinical internal medicine	法医学	Legal medicine	8104									
				内科学一般(含心身医学)	General internal medicine (including psychosomatic medicine)	8201									
				消化器内科学	Gastroenterology	8202									
				循環器内科学	Cardiovascular medicine	8203									
				呼吸器内科学	Respiratory organ internal medicine	8204									
				腎臓内科学	Kidney internal medicine	8205									
				神経内科学	Neurology	8206									
				代謝学	Metabolomics	8207									
				内分泌学	Endocrinology	8208									
				血液内科学	Hematology	8209									
				膠原病・アレルギー内科学	Collagenous pathology/Allergology	8210									
				感染症内科学	Infectious disease medicine	8211									
				小児科学	Pediatrics	8212									
				胎児・新生児医学	Embryonic/ Neonatal medicine	8213									
				皮膚科学	Dermatology	8214									
				精神神経科学	Psychiatric science	8215									
				放射線科学	Radiation science	8216									
				外科系臨床医学	Clinical surgery	外科学一般	General surgery	8301							
		消化器外科学	Digestive surgery			8302									
		心血管外科学	Cardiovascular surgery			8303									
		呼吸器外科学	Respiratory surgery			8304									
		脳神経外科学	Neurosurgery			8305									
		整形外科	Orthopaedic surgery			8306									
		麻酔科学	Anesthesiology			8307									
		泌尿器科学	Urology			8308									
		産婦人科学	Obstetrics and gynecology			8309									
		耳鼻咽喉科学	Otorhinolaryngology			8310									
		眼科学	Ophthalmology			8311									
		小児外科学	Pediatric surgery			8312									
		形成外科学	Plastic surgery			8313									
		救急医学	Emergency medicine			8314									
		歯学	Dentistry			形態系基礎歯科学	Morphological basic dentistry	8401							
				機能系基礎歯科学	Functional basic dentistry	8402									
				病態科学系歯学・歯科放射線学	Pathobiological dentistry/ Dental radiology	8403									
				保存治療系歯学	Conservative dentistry	8404									
				補綴・理工系歯学	Prosthodontics/ Dental materials science and engineering	8405									
				歯科医用工学・再生歯学	Dental engineering/ Regenerative dentistry	8406									
				外科系歯学	Surgical dentistry	8407									
				矯正・小児系歯学	Orthodontics/ Pediatric dentistry	8408									
				歯周治療系歯学	Periodontology	8409									
				社会系歯学	Social dentistry	8410									
		看護学	Nursing	基礎看護学	Fundamental nursing	8501									
				臨床看護学	Clinical nursing	8502									
				生涯発達看護学	Lifelong developmental nursing	8503									
				高齢看護学	Gerontological nursing	8504									
				地域看護学	Community health nursing	8505									

## JREC-IN Portal での求人公募情報掲載の手引き

公募要領2. (2)に記載のとおり、文部科学省に提出する様式2とは別に、各ポストに関する詳細な情報については、原則として日本語と英語で、JREC-IN Portal に登録するか、各研究機関のHP等において公開することを求めています。

このうち、JREC-IN Portal で登録する場合には、以下に示す手続きに則ってください。JREC-IN Portal の英語画面に登録する場合は、(参考2) 公募情報入力フォームに記載の英語例を参考に入力してください。

(JREC-IN Portal とは)

JREC-IN Portal は2014年10月1日にJREC-INよりリニューアルオープンした、国立研究開発法人科学技術振興機構が運営している「研究人材のための能力開発およびキャリア支援ポータルサイト」です。求人公募情報掲載サービスは、2001年よりJREC-INの名称にて、国内の大学や公的研究機関等の研究職ポストの公募情報を一元的に無料で提供しています。

2014年10月1日からは、求人求職情報掲載だけでなく、WEBでの応募管理やresearchmapからの情報フィードによる応募書類作成等が使えるようになりました。同時に能力開発に資するコンテンツやキャリアイベント情報等も提供しています。

### 1. 公開までの流れ

求人公募情報を登録する際に求人機関IDが必要となります。

#### **求人機関IDを持っていない機関**

① 求人機関登録→②求人公募情報登録→③求人公募情報公開の順となります。

#### **求人機関IDを持っている機関**

② 求人公募情報登録→③求人公募情報公開の順となります。

#### **① 求人機関登録**

・<https://jrecin.jst.go.jp/offer/OrgRegistMember>にて登録求人機関向け利用規約に同意し、求人機関登録情報入力画面へ進んでください。

・その他必要項目を入力の上、[確認]ボタン押し、画面確認後[申請]ボタンを押してください。

・JREC-IN Portal 事務局側で登録内容を確認・必要に応じ軽微な修正を加え、また機関名のメールにて求人機関IDを発行します、これによりパスワードの設定が可能となります。申請してからすぐには発行されませんのでご注意ください。

#### **② 求人公募情報登録**

・<https://jrecin.jst.go.jp/offer/OrgTop> 求人機関用ページの画面右側[求人機関ログイン]からログインした後、求人機関メニュー[求人公募情報管理]から[登録]を選択し必要項目を入力し[確認]→「登録依頼」を押してください。

・求人公募情報は「登録依頼中」となります。登録依頼中の公募内容は求人機関ページメニュー[登録/修正依頼中の求人公募情報]からご確認いただけます。

・情報入力画面右上の「入力の手引き」

[https://jrecin.jst.go.jp/offer/inputguide\\_jor.html](https://jrecin.jst.go.jp/offer/inputguide_jor.html)

をご利用ください。

※通常、求人機関登録から、求人情報公開までは、目安として約一週間かかりますが、今回の卓越研究員制度におけるポスト公開は一斉に行うため、求人公募の登録の際は、公開開始日を2017年3月6日として入力ください(公開開始日は前後する可能性はあり

ますが、この日付で登録ください)。このほか詳細については、2. 求人公募情報登録の際の注意事項及び別紙「JREC-IN Portal 求人公募情報入力例」を参考に入力してください。

### ③ 求人公募情報公開

・通常は、登録内容を JREC-IN Portal 事務局で確認後、登録完了となりますが、卓越研究員事業では、文部科学省による確認を経て公募情報が掲載されます。

・許諾されなかった公募情報につきましては JREC-IN Portal 事務局にて速やかに削除します。

・公募情報登録後にメールにてお知らせします。

・求人公募情報を修正される場合は、

[https://jrecin.jst.go.jp/offer/job\\_offer\\_help.html#kyj03](https://jrecin.jst.go.jp/offer/job_offer_help.html#kyj03) をご参照ください。なお、文部科学省より指摘があり修正がある機関は 3 月 3 日午前中までに掲載内容を修正してください。

なお、求人機関 ID を忘れた方は JREC-IN Portal 連絡窓口まで機関名と登録時の情報(担当者氏名、メールアドレス等)を連絡の上、メールにて問い合わせてください。

パスワードを忘れた方は、[ログイン]ボタン下の「パスワードを忘れた方」より再発行してください。

## 2. 求人公募情報登録の際の注意事項

求人公募情報を登録する際には、以下の点に注意して、文部科学省に提出する様式 2 と同一の内容を入力してください。また、別紙「JREC-IN Portal 求人公募情報入力例」を参考にしてください。なお、基本として 1 ポストにつき、1 公募情報となります。ただし、同じポストに複数人数募集という場合は 1 公募で掲載可能です。

#### ○「1. 公開開始日」関係

求人公募の登録の際は、公開開始日を 2017 年 3 月 6 日として入力ください (公開開始日は前後する可能性はありますが、この日付で登録ください)

#### ○「2. 求人件名」関係

・求人公募情報を依頼時には、必ず求人件名(タイトル)の文頭に【卓越研究員】を入れてください。

※求人タイトルに【卓越研究員】を入れることで、他の求人との差別化が図れ、求職者へのアピールと求職者からの求人公募検索が容易となります。JREC-IN Portal 事務局が求人内容を確認する際に、タイトルに【卓越研究員】が入っていない場合、【卓越研究員】という文字を入力します。

#### ○「8. 求人内容」関係

・求人内容の[機関の説明(募集の背景、機関の詳細、プロジェクトの説明等)]部分に「卓越研究員事業」の名称及び本事業のスキームを用いて採用を予定している旨を明記してください。

#### ○「10. 職種」関係

・職種の設定は、1. に機関にて募集する職種を選択するか、該当がない場合は「その他」を選択し募集する職種を適宜入力ください。また 2. にて「その他」を選択し、フリーワード入力欄に「卓越研究員」と入力してください。

#### ○「13. 応募資格」関係

・応募資格については、「卓越研究員事業に申請する者(本ポストは卓越研究員を受け入れる予定のポストである)([http://www.mext.go.jp/a\\_menu/jinzai/takuetsu/index.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/takuetsu/index.htm))と記入してください。

#### ○「15. 募集期間」関係

- ・ 募集期間は、原則として、「2017年3月21日 から 2017年4月25日まで」と設定してください。
- 「16. 応募・選考・結果通知・連絡先」関係
  - ・ 応募・選考・結果通知・連絡先について、必ず「応募・選考・結果通知は、卓越研究員事業の公募要領に従う（[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/jinzai/takuetsu/index.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/takuetsu/index.htm)）」旨と連絡先を記入ください。
  - ・ 卓越研究員候補者と各研究機関との直接の雇用調整を行う際の選考・結果通知方法・連絡先が既に決まっている場合には当該情報を記入ください。
  - ・ 公募要領2.（1）d.に記載のとおり卓越研究員候補者決定前であっても、各研究機関は、研究者から希望等を受け付け、研究者と連絡を取り合うことが可能です。当該ポストを希望する研究者からの事前の連絡を必要とする場合は、連絡期限・連絡先を記入ください。
- 「19. Web 応募」関係
  - ・ Web 応募機能は、「不可」をプルダウンから選択してください。

### 3. 求人公募情報の結果アンケートについて

・ JREC-IN Portal では、公募掲載終了から 2ヶ月後にシステムより出される「求人公募情報の結果アンケート」へご協力お願いいたします。文部科学省施策への事業結果フィードバックのためには、皆様からのご協力が必要となります。ご面倒をおかけいたしますがご協力の程何卒よろしくお願い申し上げます。

### 4. JREC-IN Portal 登録の際の連絡窓口

国立研究開発法人科学技術振興機構 知識基盤情報部 サービス支援センター  
 JREC-IN Portal 担当  
 E-mail: [jrecinportal@jst.go.jp](mailto:jrecinportal@jst.go.jp)  
 TEL: 03-5214-8459  
 （電話受付時間 平日 9:30～12:00、13:00～17:00）

## JREC-IN Portal 求人公募情報入力例

↓「必須」欄の「★」は必ず入力いただく項目、「☆」はなるべく入力いただきたい項目です。			
項番	必須	項目	内容(上段は記入要領)
		データ番号 Data number	データ番号はJREC-IN Portalで公募情報を入力・確定した際に発行される番号(Dから始まる10桁の番号)です。文科省提出用資料(研究機関 様式2: 卓越研究員受入れポストの一覧化公開登録フォーマット)に記載してください。
1	★	公開開始日 Date of publication	・JREC-IN Portalでの公開予定日です。そのまま2017年3月6日と入力してください 2017年3月6日
2	★	求人件名 Title	・「准教授または講師の公募(〇〇分野)」等、具体的な内容を示すものとしてください。最初に【卓越研究員】と記載してください 【卓越研究員】△△△△△の募集(〇〇〇分野) [Excellent Young Researchers] Recruitment for △△△△△ Position(〇〇〇 field)
3		機関名 Institution	・会員登録の機関名が自動的に表示されます (入力不要: 自動表示) 求人機関登録時の機関名になります。
4		機関または部署URL URL of institution or department	・機関ホームページまたは部署(研究室等)ホームページのURL(表示のみで、直接リンクは張られません)
5		部署名 Department	・勤務する部署名
6		機関種別 Institution type	・会員登録の機関種別が自動的に表示されます (入力不要: 自動表示)
7		公募のURL Job posting URL	・求人公募情報、様式等をダウンロードできるURL(表示のみで、直接リンクは張られません)
8	☆	求人内容 Job offer content	・項目ごとにてできるだけ詳細をご記入ください [機関の説明(募集の背景、機関の詳細、プロジェクトの説明等)] [文部科学省の卓越研究員事業 ( <a href="http://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/takuetsu/index.htm">http://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/takuetsu/index.htm</a> )のスキームを用いて、採用予定 -The candidate will be screened and employed based on the procedure "Leading Initiative for Excellent Young Researchers (LEADER)" by MEXT. ( <a href="http://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/takuetsu/index.htm">http://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/takuetsu/index.htm</a> )] [仕事内容(業務内容、担当科目、研究分野の詳細等)] [勤務地住所(住所の詳細、最寄り駅等)] [募集人員(人数、職名等)] [着任時期(着任日、採用日等)]
9	★	研究分野 Research field	・「研究分野一覧表」から、1～3つまで選択可 ・該当分野がない場合は「その他」としてフリー入力可 <a href="https://irecin.ist.go.jp/seek/SeekDescription?id=005">https://irecin.ist.go.jp/seek/SeekDescription?id=005</a> 1. (大分類) (小分類) 2. (大分類) (小分類) 3. (大分類) (小分類)
10	★	職種 Job type	・「職種一覧表」から、1～4つまで選択可 ・該当職種がない場合は「その他」として、職種名をご記入ください <a href="https://irecin.ist.go.jp/seek/SeekDescription?id=012">https://irecin.ist.go.jp/seek/SeekDescription?id=012</a> 1. 機関にて募集する職種を選択頂くか、該当がない場合は「その他」を選択し募集する職種を適宜入力ください 2. 「その他」を選択し、フリーワード入力欄で「卓越研究員」(英語画面では、「Excellent Young Researchers」)を入力を入力 3 4.
11	★	勤務形態 Employment status	・フルタイムの場合は「常勤」、パートタイムの場合は「非常勤」を選択してください <input type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 ※いずれかを選択 <input type="radio"/> 任期あり <input type="radio"/> 任期なし <input type="radio"/> テニョアトラック ※いずれかを選択 ・「任期〇年」「再任可」等のコメントがあればご記入ください↓ (コメント)

12	★	勤務地 Work location	・採用後に勤務する場所(都道府県/その他)を選択
13	★	応募資格	・必要な資格、要件等  卓越研究員事業に申請する者(本ポストは卓越研究員を受け入れる予定のポストである)( <a href="http://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/takuetsu/index.htm">http://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/takuetsu/index.htm</a> )  The candidate who apply for "Leading Initiative for Excellent Young Researchers (LEADER)." ( <a href="http://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/takuetsu/index.htm">http://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/takuetsu/index.htm</a> )
14	★	待遇 Compensation	・採用後の待遇(給与、勤務時間、休日、雇用期間、保険等)
15	★	募集期間 Application period	・募集期間につきましては下記の通り入力してください  2017年 3月 21日 から 2017年 4月 25日まで 必着  ・「必着」「採用者が決まり次第公募終了」等のコメントがあればご記入ください↓  (コメント)
16	☆	応募・選考・結果通知・連絡先  Application/selection /notification of result/contact details	・項目ごとにできるだけ詳細をご記入ください ・URLを入力した場合は、表示のみで直接リンクは張られません  [応募方法(提出書類、提出方法、書類の返却、書類送付先等)] 卓越研究員事業の公募要領に従う。 ( <a href="http://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/takuetsu/index.htm">http://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/takuetsu/index.htm</a> ) (各機関での最終審査は・・・)  -Follow the Application Guidelines of "Leading Initiative for Excellent Young Researchers (LEADER)." Details are specified by the following URL ( <a href="http://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/takuetsu/index.htm">http://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/takuetsu/index.htm</a> )  [選考内容(選考方法、採否の決定)、結果通知方法] 卓越研究員事業の公募要領に従う。 (卓越研究員候補者決定前から当事者間交渉を開始する場合はその詳細) (各機関での最終審査は・・・)  -Follow the Application Guidelines of "Leading Initiative for Excellent Young Researchers (LEADER)."  [連絡先(担当者所属、役職、氏名、e-mail、電話番号)] ※重要 <b>必ず入力ください。</b>
17		添付書類 Attached documents	・指定の様式等を添付可  (添付できるファイル拡張子 gif/jpg/pdf/jtd/rtf/doc/docx/xls/xlsx/txt) <b>(添付したいファイルを別途お送りください。本欄には入力不要です)</b>
18		備考 Additional information	・上記の項目以外(個人情報の取り扱い、男女共同参画の取り組み等) ・URLを入力した場合は、表示のみで直接リンクは張られません
19	★	Web応募 Web application	・今回の応募についてはweb応募については「不可を選択してください」  <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可

※★印は「必須」項目です。「必須」項目に関係なく、必要な情報を入力してください

「分科・細目表」付表キーワード表

このキーワードは、当該分科・細目の内容等を、申請者が理解しやすくするために例示として付したものであり、キーワードに掲げていない内容を当該分科・細目から排除するものではない。

分科	細目名	分科・細目コード	キーワード（記号）
情報学基礎	情報学基礎理論	1001	(1)計算理論、(2)オートマトン理論・形式言語理論、(3)プログラム理論、(4)計算量理論、(5)アルゴリズム理論、(6)暗号系、(7)離散構造、(8)計算論的学習理論、(9)量子計算理論、(10)数理論理学、(11)情報理論、(12)符号理論
	数理情報学	1002	(1)最適化理論、(2)数理ファイナンス、(3)数理システム理論、(4)システム制御理論、(5)システム分析、(6)システム方法論、(7)システムモデリング、(8)システムシミュレーション、(9)組み合わせ最適化、(10)待ち行列論
	統計科学	1003	(1)調査・実験計画、(2)多変量解析、(3)時系列解析、(4)統計のパターン認識、(5)統計的推測、(6)統計計算・コンピュータ支援統計、(7)統計的予測・制御、(8)モデル化・選択、(9)医薬生物・ゲノム統計解析、(10)行動計量分析、(11)空間・環境統計、(12)統計教育、(13)統計の品質管理、(14)統計的学習理論、(15)社会調査の計画と解析、(16)データサイエンス、(17)仮説検定
計算基盤	計算機システム	1101	(1)計算機アーキテクチャ、(2)回路とシステム、(3)LSI設計技術、(4)リコンフィギュラブルシステム、(5)高信頼アーキテクチャ、(6)低消費電力技術、(7)ハード・ソフト協調設計、(8)組み込みシステム
	ソフトウェア	1102	(1)プログラミング言語、(2)プログラミング方法論、(3)プログラミング言語処理系、(4)並列・分散処理、(5)オペレーティングシステム、(6)高信頼システム、(7)仮想化技術、(8)ソフトウェアセキュリティ、(9)クラウドコンピューティング基盤、(10)ソフトウェア工学、(11)仕様記述・検証、(12)開発環境、(13)開発管理
	情報ネットワーク	1103	(1)ネットワークアーキテクチャ、(2)ネットワークプロトコル、(3)インターネット、(4)モバイルネットワーク、(5)オーバーレイネットワーク、(6)センサーネットワーク、(7)トラフィックエンジニアリング、(8)ネットワーク構成・運用・管理・評価技術、(9)ユビキタスコンピューティング、(10)サービス構築基盤技術、(11)情報家電システム
	マルチメディア・データベース	1104	(1)データモデル、(2)関係データベース、(3)データベースシステム、(4)マルチメディア情報獲得、(5)マルチメディア情報処理、(6)マルチメディア情報表現、(7)マルチメディア情報生成、(8)情報検索、(9)構造化文書、(10)コンテンツ流通・管理、(11)地理情報システム、(12)メタデータ、(13)ビッグデータ分析・活用
	高性能計算	1105	(1)並列処理、(2)分散処理、(3)グリッド・クラウドコンピューティング、(4)数値解析、(5)可視化、(6)コンピュータグラフィクス、(7)高性能計算アプリケーション
	情報セキュリティ	1106	(1)アクセス制御、(2)個人識別、(3)暗号、(4)認証、(5)セキュリティ評価・監査、(6)マルウェア対策、(7)ネットワークセキュリティ、(8)不正アクセス対策、(9)ソフトウェア保護、(10)プライバシー保護、(11)情報フィルタリング、(12)デジタルフォレンジクス、(13)バイオメトリクス、(14)耐タンパー技術
人間情報学	認知科学	1201	(1)進化・発達・学習、(2)認知・記憶・教育、(3)思考・推論・問題解決、(4)感覚・知覚・感性、(5)感情・情動・行動、(6)認知心理学、(7)比較認知心理学、(8)認知哲学、(9)脳認知科学、(10)認知言語学、(11)行動意思決定論、(12)認知工学、(13)認知考古学、(14)認知モデル、(15)社会性、(16)法と心理学、(17)安全・ヒューマンファクターズ
	知覚情報処理	1202	(1)パターン認識、(2)画像情報処理、(3)コンピュータビジョン、(4)コンピュータショナルフォトグラフィ、(5)人間計測、(6)知的映像編集、(7)視覚メディア処理、(8)画像データベース、(9)音声情報処理、(10)音響情報処理、(11)音声音響データベース、(12)情報センシング、(13)センサ融合・統合、(14)センシングデバイス・システム、(15)接触センシング処理
	ヒューマンインタフェース・インタラクション	1203	(1)ヒューマンインタフェース、(2)マルチモーダルインタフェース、(3)ヒューマンコンピュータインタラクション、(4)CSCW、(5)グループウェア、(6)バーチャルリアリティ、(7)拡張現実、(8)複合現実感、(9)臨場感コミュニケーション、(10)ウェアラブル機器、(11)ユーザビリティ、(12)人間工学
	知能情報学	1204	(1)探索・論理・推論アルゴリズム、(2)機械学習、(3)知識獲得、(4)知識ベースシステム、(5)知的システムアーキテクチャ、(6)知能情報処理、(7)自然言語処理、(8)知識発見とデータマイニング、(9)オントロジー、(10)ヒューマンエージェントインタラクション、(11)マルチエージェントシステム
	ソフトコンピューティング	1205	(1)ニューラルネットワーク、(2)遺伝アルゴリズム、(3)ファジィ理論、(4)カオス、(5)フラクタル、(6)複雑系、(7)確率的情報処理
	知能ロボティクス	1206	(1)知能ロボット、(2)行動環境認識、(3)モーションプランニング、(4)感覚行動システム、(5)自律システム、(6)デジタルヒューマンモデル、(7)実世界情報処理、(8)物理エージェント、(9)インテリジェントルーム

**「分科・細目表」付表キーワード表**

このキーワードは、当該分科・細目の内容等を、申請者が理解しやすくするために例示として付したものであり、キーワードに掲げていない内容を当該分科・細目から排除するものではない。

分科	細目名	分科・細目コード	キーワード（記号）
	感性情報学	1207	(1)感性デザイン学、(2)感性表現学、(3)感性認識学、(4)感性認知科学・感性心理学、(5)感性ロボティクス、(6)感性計測評価、(7)あいまいと感性、(8)感性情報処理、(9)感性データベース、(10)感性インタフェース、(11)感性生理学、(12)感性材料製品、(13)感性産業、(14)感性環境学、(15)感性社会学、(16)感性哲学、(17)感性教育学、(18)感性脳科学、(19)感性経営学
情報学フロンティア	生命・健康・医療情報学	1301	(1)バイオインフォマティクス、(2)ゲノム情報処理、(3)プロテオーム情報処理、(4)コンピュータシミュレーション、(5)生命情報、(6)生体情報、(7)ニューロインフォマティクス、(8)脳型情報処理、(9)人工生命システム、(10)生命分子計算、(11)DNAコンピュータ、(12)医療情報、(13)画像診断、(14)遠隔診断治療、(15)保健情報、(16)健康情報、(17)医用画像、(18)細胞内ロジスティクス解析
	ウェブ情報学・サービス情報学	1302	〔ウェブ情報学〕 (1)ウェブシステム、(2)ウェブコンピューティング、(3)ソーシャルウェブ、(4)セマンティックウェブ、(5)推薦システム、(6)ウェブサービス、(7)ウェブマイニング、(8)ウェブインテリジェンス、(9)社会ネットワーク分析、(10)ネットワークコミュニティ
			〔サービス情報学〕 (11)サービス工学、(12)サービスマネジメント、(13)サービス品質、(14)待ち行列、(15)ビジネスモデル、(16)サービス指向アーキテクチャ、(17)知識マネジメント、(18)教育サービス、(19)医療・福祉サービス、(20)高度交通システム、(21)金融サービス、(22)社会・環境サービス、(23)スマートグリッド、(24)技術マネジメント
	図書館情報学・人文社会情報学	1303	〔図書館情報学〕 (1)図書館学、(2)情報サービス、(3)図書館情報システム、(4)デジタルアーカイブズ、(5)情報組織化、(6)情報検索、(7)情報メディア、(8)計量情報学・科学計量学、(9)情報資源の構築・管理
			〔人文社会情報学〕 (10)情報倫理、(11)メディア環境、(12)文学情報、(13)歴史情報、(14)情報社会学、(15)法律情報、(16)情報経済学、(17)経営情報、(18)教育情報、(19)芸術情報、(20)医療情報、(21)科学技術情報、(22)知的財産情報、(23)地理情報、(24)地域情報化
	学習支援システム	1304	(1)メディア・リテラシー、(2)学習メディア、(3)ソーシャルメディア、(4)学習コンテンツ開発支援、(5)学習管理システム、(6)知的学習支援システム、(7)遠隔学習、(8)分散協調学習支援システム、(9)プロジェクト型学習支援システム、(10)eラーニング、(11)運用・評価
エンタテインメント・ゲーム情報学	1305	(1)音楽情報処理、(2)演奏支援、(3)3Dコンテンツ・アニメーション、(4)ゲームプログラミング、(5)ネットワークエンタテインメント、(6)メディアアート、(7)インタラクティブアート、(8)デジタルアーカイブズ、(9)デジタルミュージアム・ヴァーチャルミュージアム、(10)情報文化	
環境解析学	環境動態解析	1401	(1)環境変動、(2)物質循環、(3)環境計測、(4)環境モデル、(5)環境情報、(6)地球温暖化、(7)地球規模水循環変動、(8)極域環境監視、(9)化学海洋、(10)生物海洋、(11)リモートセンシング
	放射線・化学物質影響科学	1402	(1)環境放射線(能)、(2)防護、(3)基礎過程、(4)線量測定・評価、(5)損傷、(6)応答、(7)修復、(8)感受性、(9)生物影響、(10)リスク評価、(11)放射線管理
			(12)トキシコロジー、(13)人体有害物質、(14)微量化学物質汚染評価、(15)内分泌かく乱物質
環境影響評価	1403	(1)陸圏・水圏・大気圏影響評価、(2)生態系影響評価、(3)影響評価手法、(4)健康影響評価、(5)次世代環境影響評価、(6)極域の人間活動、(7)環境モニタリング、(8)モデルシミュレーション、(9)環境アセスメント	
環境保全学	環境技術・環境負荷低減	1501	(1)排水・排ガス・廃棄物等発生抑制、(2)適正処理・処分、(3)環境負荷低減・クローズド化、(4)汚染質除去技術、(5)騒音・振動・地盤沈下等対策、(6)環境分析、(7)簡易分析
	環境モデリング・保全修復技術	1502	(1)環境負荷解析、(2)汚染調査と評価、(3)汚染除去・修復技術、(4)汚染質動態とモデリング、(5)生物機能利用、(6)環境・生態系影響、(7)土壌・地下水・水環境
	環境材料・リサイクル	1503	(1)循環再生材料設計・生産、(2)3R、(3)有価物回収、(4)分離精製・高純度化、(5)適性処理・処分、(6)リサイクルとLCA、(7)環境配慮設計、(8)グリーンプロダクション、(9)ゼロエミッション、(10)リサイクル化学
	環境リスク制御・評価	1504	(1)汚染質評価、(2)モニタリング、(3)移動・拡散・蓄積、(4)環境基準、(5)生活環境・健康項目、(6)排出基準、(7)越境汚染評価、(8)化学物質管理、(9)暴露シナリオ、(10)リスク評価、(11)予防原則、(12)生分解性・濃縮性、(13)遺伝毒性・生態毒性、(14)リスクコミュニケーション

**「分科・細目表」付表キーワード表**

このキーワードは、当該分科・細目の内容等を、申請者が理解しやすくするために例示として付したものであり、キーワードに掲げていない内容を当該分科・細目から排除するものではない。

分科	細目名	分科・細目コード	キーワード（記号）
環境創成学	自然共生システム	1601	(1)生物多様性、(2)生態系サービス、(3)生態リスク、(4)生態系影響解析、(5)生態系管理・保全、(6)リモートセンシング、(7)景観生態、(8)生態系修復、(9)代償措置、(10)生態工学
	持続可能システム	1602	(1)物質循環システム、(2)低炭素社会、(3)再生可能エネルギー、(4)バイオマス利用、(5)都市・地域環境創生、(6)水資源・水システム、(7)産業共生、(8)物質・エネルギー収支解析、(9)ライフサイクル評価、(10)統合的環境管理
	環境政策・環境社会システム	1603	(1)環境理念、(2)環境正義、(3)環境経済、(4)環境法、(5)環境情報、(6)環境地理情報、(7)環境教育、(8)環境マネジメント、(9)環境と社会活動、(10)環境規格・環境監査、(11)合意形成、(12)安全・安心、(13)環境CSR、(14)社会システム、(15)公共システム管理、(16)持続可能発展
デザイン学	デザイン学	1651	(1)情報デザイン(コミュニケーション、メディア情報、コンテンツ、インタラクション、インタフェイス)、(2)環境デザイン(建築、都市、ランドスケープ)、(3)工業デザイン(プロダクトデザイン、ユニバーサルデザイン)、(4)芸術、(5)美学、(6)デザイン史、(7)デザイン論、(8)デザイン規格、(9)デザイン設計支援、(10)空間・音響モデリング、(11)デザイン評価分析、(12)デザイン教育
生活科学	家政・生活学一般	1701	(1)生活経営、(2)家庭経済・消費生活、(3)家族、(4)ライフスタイル、(5)生活情報、(6)生活文化、(7)高齢者生活、(8)生活福祉、(9)保育・子育て、(10)家政・家庭科教育、(11)消費者教育、(12)家政学・生活原論、(13)生活素材・生活財、(14)生活デザイン、(15)ものづくり
	衣・住生活学	1702	(1)衣生活、(2)衣環境、(3)染色・整理、(4)被服設計・生産、(5)被服材料、(6)服飾史、(7)服飾文化、(8)被服心理、(9)住生活、(10)住居計画、(11)住居管理、(12)住居史、(13)インテリア・住居・住環境デザイン、(14)住居環境・設備、(15)住居材料・構造、(16)地域居住・まちづくり、(17)子育て環境、(18)高齢者居住、(19)福祉住環境、(20)住文化、(21)住教育・住情報
	食生活学	1703	[食品と調理] (1)調理と加工、(2)食品と貯蔵、(3)食嗜好と評価、(4)食素材、(5)調理と機能性成分、(6)フードサービス、(7)食文化、(8)テクスチャー、(9)咀嚼・嚥下 [統合栄養科学] (10)食と栄養、(11)機能性食品、(12)分子代謝学、(13)栄養疫学、(14)臨床栄養学 [食生活と健康] (15)食教育、(16)食習慣、(17)食行動、(18)食情報、(19)保健機能食品、(20)食と環境、(21)食生活の評価、(22)フードマネージメント
科学教育・教育工学	科学教育	1801	(1)高等教育(数学、物理、化学、生物、情報、天文、地球惑星、学際)、(2)初中等教育(算数・数学、理科、情報)、(3)工学教育 (4)科学リテラシー、(5)実験・観察、(6)科学教育カリキュラム、(7)環境教育、(8)産業・技術教育、(9)科学と社会・文化、(10)科学教員養成、(11)科学コミュニケーション、(12)情報リテラシー
	教育工学	1802	(1)カリキュラム・教授法開発、(2)教授学習支援システム、(3)分散協調教育システム、(4)ヒューマン・インターフェース (5)教材情報システム、(6)メディアの活用、(7)遠隔教育、(8)eラーニング、(9)情報教育、(10)メディア教育、(11)学習環境、(12)教師教育、(13)授業
科学社会学・科学技術史	科学社会学・科学技術史	1901	(1)科学社会学、(2)科学史、(3)技術史、(4)医学史、(5)産業考古学、(6)科学哲学・科学基礎論、(7)科学技術社会論(STS)
文化財科学・博物館学	文化財科学・博物館学(A)	2001	(1)年代測定、(2)材質分析、(3)製作技法、(4)保存科学、(5)遺跡探査、(6)動植物遺体・人骨、(7)文化財・文化遺産、(8)文化資源、(9)文化財政策
	文化財科学・博物館学(B)	2002	(10)博物館展示学、(11)博物館教育学、(12)博物館情報学、(13)博物館経営学、(14)博物館行財政学、(15)博物館資料論、(16)博物館学史
地理学	地理学	2101	(1)地理学一般、(2)土地利用・景観、(3)環境システム、(4)地域計画、(5)地図・地誌・地理教育、(6)地形、(7)気候、(8)水文、(9)地理情報システム、(10)リモートセンシング、(11)植生・土壌、(12)ツーリズム
社会・安全システム科学	社会システム工学・安全システム	2201	[社会システム工学] (1)社会工学、(2)社会システム、(3)政策科学、(4)開発計画、(5)経営工学、(6)経営システム、(7)OR、(8)品質管理、(9)インダストリアルエンジニアリング、(10)モデリング、(11)ロジスティクス、(12)マーケティング、(13)ファイナンス、(14)プロジェクトマネジメント、(15)環境管理 [安全システム] (16)安全工学、(17)製品・設備・システム安全、(18)リスクマネジメント、(19)危機管理、(20)火災・爆発防止、(21)安全情報、(22)安心の社会技術(避難、群衆誘導、情報伝達、ハザードマップ)、(23)リスクベース工学、(24)診断・回生・維持管理、(25)機器・人間の信頼性、(26)労働安全衛生

## 「分科・細目表」付表キーワード表

このキーワードは、当該分科・細目の内容等を、申請者が理解しやすくするために例示として付したものであり、キーワードに掲げていない内容を当該分科・細目から排除するものではない。

分科	細目名	分科・細目コード	キーワード（記号）
	自然災害科学・防災学	2202	〔地震・火山防災〕 (1)地震動、(2)液状化、(3)活断層、(4)津波、(5)火山噴火、(6)火山噴出物・土石流、(7)地震災害、(8)火山災害、(9)被害予想・分析・対策、(10)建造物防災 〔自然災害〕 (11)気象災害、(12)水災害、(13)地盤災害、(14)土砂流、(15)渇水、(16)雪氷災害、(17)自然災害予測・分析・対策、(18)ライフライン防災、(19)地域防災計画・政策、(20)復旧・復興工学、(21)災害リスク評価
人間医工学	生体医工学・生体材料学	2301	〔生体医工学〕 (1)医用画像・バイオイメージング、(2)生体モデリング・フィジオーム、(3)生体シミュレーション、(4)生体情報・計測、(5)人工臓器学、(6)再生医工学、(7)生体物性、(8)生体制御・治療、(9)バイオメカニクス、(10)細胞バイオメカニクス、(11)ナノバイオシステム、(12)超音波医学、(13)医用生理活性物質応用、(14)バイオインスパイアードシステム 〔生体材料学〕 (15)バイオマテリアル、(16)生体機能材料、(17)細胞・組織工学材料、(18)生体適合材料、(19)ナノバイオ材料、(20)再生工学材料、(21)薬物送達システム、(22)刺激応答材料、(23)遺伝子・核酸工学材料
	医用システム	2302	(1)医用超音波システム、(2)画像診断システム、(3)検査・診断システム、(4)低侵襲治療システム、(5)遠隔診断治療システム、(6)臓器保存・治療システム、(7)医療情報システム、(8)コンピュータ外科学、(9)医用ロボット
	医療技術評価学	2303	(1)レギュラトリーサイエンス、(2)安全性評価、(3)臨床研究、(4)医療技術倫理、(5)医療機器
	リハビリテーション科学・福祉工学	2304	〔リハビリテーション科学〕 (1)リハビリテーション医学、(2)障害学、(3)言語聴覚療法学、(4)医療社会福祉学、(5)人工感覚器、(6)老年学、(7)臨床心理療法学 〔リハビリテーション科学〕 (8)理学療法学、(9)作業療法学 〔福祉工学〕 (10)健康・福祉工学、(11)生活支援技術、(12)介護予防・支援技術、(13)社会参加、(14)バリアフリー、(15)ユニバーサルデザイン、(16)福祉・介護用ロボット、(17)生体機能代行、(18)福祉用具・支援機器、(19)ヒューマンインターフェース、(20)看護工学
健康・スポーツ科学	身体教育学 (A)	2401	〔身体の仕組みと発達メカニズム〕 (1)教育生理学、(2)身体システム学、(3)生体情報解析、(4)脳高次機能学、(5)身体発育発達学、(6)感覚と運動発達学
	身体教育学 (B)	2402	〔心身の教育と文化〕 (7)感性の教育、(8)身体環境論、(9)運動指導論、(10)体育科教育、(11)フィットネス、(12)身体運動文化論、(13)身体性哲学、(14)死生観の教育、(15)体育心理学、(16)情動の科学、(17)野外教育、(18)舞踊教育、(19)ジェンダー教育、(20)成年・老年期の体育、(21)武道論、(22)運動適応生命学
	スポーツ科学 (A)	2403	〔スポーツ科学〕 (1)スポーツ哲学、(2)スポーツ史、(3)スポーツ心理学、(4)スポーツ経営学、(5)スポーツ教育学、(6)トレーニング科学、(7)スポーツバイオメカニクス、(8)コーチング、(9)スポーツ・タレント、(10)障害者スポーツ、(11)スポーツ社会学、(12)スポーツ環境学、(13)スポーツ文化人類学
	スポーツ科学 (B)	2404	〔スポーツ医科学〕 (14)スポーツ生理学、(15)スポーツ生化学、(16)スポーツ栄養学、(17)エネルギー代謝、(18)トレーニング医科学、(19)スポーツ障害、(20)ドーピング
	応用健康科学 (A)	2405	〔健康教育・健康推進活動〕 (1)健康教育、(2)ヘルスプロモーション、(3)安全推進・安全教育、(4)保健科教育、(5)ストレスマネジメント、(6)喫煙・薬物乱用防止教育、(7)学校保健、(8)性・エイズ教育、(9)保健健康管理、(10)保健健康情報、(11)栄養指導、(12)心身の健康、(13)レジャー・レクリエーション
	応用健康科学 (B)	2406	〔応用健康医学〕 (14)生活習慣病、(15)運動処方と運動療法、(16)加齢・老化、(17)スポーツ医学、(18)スポーツ免疫学
子ども学	子ども学 (子ども環境学)	2451	(1)健康・成長、(2)発達・子育て、(3)運動・遊び、(4)人権・権利、(5)非行・逸脱、(6)社会環境、(7)文化環境、(8)物理的環境、(9)教育的環境
生体分子科学	生物分子化学	2501	(1)天然物化学、(2)二次代謝産物、(3)生物活性物質の探索、(4)生体分子の化学修飾、(5)生体機能物質、(6)活性発現の分子機構、(7)生合成、(8)生物活性分子の設計・全合成、(9)コンビナトリアル化学、(10)化学生態学、(11)メタボローム解析

「分科・細目表」付表キーワード表

このキーワードは、当該分科・細目の内容等を、申請者が理解しやすくするために例示として付したものであり、キーワードに掲げていない内容を当該分科・細目から排除するものではない。

分科	細目名	分科・細目コード	キーワード（記号）
	ケミカルバイオロジー	2502	(1)生体内機能発現、(2)医薬品探索、(3)診断薬探索、(4)農業開発、(5)化合物ライブラリー、(6)構造活性相関、(7)化学プローブ、(8)分子イメージング、(9)生体分子計測、(10)細胞内化学反応、(11)ポストゲノム創薬、(12)プロテオミクス、(13)分子進化学
脳科学	基盤・社会脳科学	2601	(1)ゲノム脳科学、(2)エピジェネティクス、(3)脳分子プロファイリング、(4)ナノ脳科学、(5)ケミカルバイオロジー、(6)薬物脳科学、(7)脳機能プローブ、(8)脳イメージング、(9)光脳科学、(10)ニューロングリア相互作用、(11)脳機能モデル動物、(12)脳機能行動解析、(13)脳とリズム、(14)睡眠、(15)神経心理学・言語神経科学、(16)病態脳科学、(17)認知神経科学 (18)コミュニケーション、(19)対人関係、(20)社会行動、(21)発達・教育、(22)感性・情動・感情、(23)価値・報酬・懲罰、(24)動機づけ、(25)ニューロエコノミクス・ニューロマーケティング、(26)政治脳科学
	脳計測科学	2602	(1)脳形態計測、(2)脳機能計測・非侵襲的脳活動計測、(3)リアルタイム脳血流計測、(4)脳活動記録(レコーディング)、(5)脳情報読み出し(デコーディング)、(6)感覚情報、(7)運動情報、(8)認知情報、(9)高次脳機能計測、(10)脳情報処理、(11)脳機能操作、(12)ブレインマシンインターフェイス
地域研究	地域研究	2701	(1)ヨーロッパ、(2)ロシア・スラブ地域、(3)北アメリカ、(4)中・南アメリカ、(5)東アジア、(6)東南アジア、(7)南アジア、(8)西アジア・中央アジア、(9)アフリカ、(10)オセアニア、(11)世界、(12)地域間比較研究、(13)援助・地域協力
ジェンダー	ジェンダー	2801	(1)性差・性別役割、(2)セクシュアリティ、(3)思想・運動・歴史、(4)法・政治、(5)経済・労働、(6)社会政策・社会福祉、(7)身体・表現・メディア、(8)科学技術・医療・生命、(9)教育・発達、(10)開発、(11)暴力・売買春、(12)比較文化、(13)女性学・男性学・クィア・スタディーズ、(14)キャリア、(15)男女共同参画、(16)国際比較
観光学	観光学	2851	(1)ツーリズム(観光学原論)、(2)観光資源、(3)観光政策、(4)観光産業、(5)地域振興、(6)町づくり、(7)旅行者、(8)リゾート、(9)景観、(10)世界遺産、(11)祭礼・行事
哲学	哲学・倫理学	2901	(1)哲学原論・各論、(2)倫理学原論・各論、(3)西洋哲学、(4)西洋倫理学、(5)日本哲学、(6)日本倫理学、(7)比較哲学
	中国哲学・印度哲学・仏教学	2902	(1)中国哲学・思想、(2)中国仏教、(3)道教、(4)儒教 (5)印度哲学・思想、(6)仏教学・仏教史全般
	宗教学	2903	(1)宗教学全般、(2)宗教史、(3)宗教社会学、(4)宗教哲学、(5)比較宗教学
	思想史	2904	(1)西洋思想史、(2)東洋・日本思想史、(3)比較思想史、(4)宗教思想史、(5)社会思想史、(6)政治思想史、(7)科学思想史、(8)芸術思想史
芸術学	美学・芸術諸学	3001	(1)美学、(2)芸術哲学・芸術論、(3)音楽学・音楽史、(4)芸術諸学
	美術史	3002	(1)日本・東洋美術史、(2)西洋美術史、(3)比較美術史、(4)図像学・宗教美術史、(5)建築史、(6)工芸・意匠・服飾史
	芸術一般	3003	(1)表象文化論、(2)大衆芸術、(3)映画論、(4)舞台芸術論、(5)芸術政策・産業、(6)芸術表現、(7)メディア芸術
文学	日本文学	3101	(1)日本文学一般、(2)古代文学、(3)中世文学、(4)漢文学、(5)関連書誌・文献 (6)近世文学、(7)近・現代文学、(8)関連文学理論・文学批評・比較文学
	英米・英語圏文学	3102	(1)英文学、(2)比較文学 (3)米文学、(4)英語圏文学、(5)関連文学理論・文学批評・書誌・文献、
	ヨーロッパ文学	3103	(1)仏文学・仏語圏文学、(2)西洋古典学、(3)関連文学理論・文学批評・書誌・文献、(4)比較文学 (5)独文学・独語圏文学、(6)ロシア東欧文学、(7)その他のヨーロッパ語系文学
	中国文学	3104	(1)中国文学、(2)関連書誌・文献、(3)関連文学批評・文学理論、(4)比較文学
	文学一般	3105	(1)文学理論・批評、(2)比較文学論、(3)諸地域・諸言語の文学
言語学	言語学	3201	(1)音声学、(2)音韻論、(3)形態論、(4)統語論、(5)意味論、(6)語用論、(7)談話研究、(8)文字論、(9)辞書論 (10)社会言語学、(11)心理言語学、(12)言語の生物的基盤、(13)歴史言語学、(14)仏語学、(15)独語学、(16)中国語学、(17)その他の語学、(18)危機・少数言語、(19)神経言語学、(20)コーパス言語学

## 「分科・細目表」付表キーワード表

このキーワードは、当該分科・細目の内容等を、申請者が理解しやすくするために例示として付したものであり、キーワードに掲げていない内容を当該分科・細目から排除するものではない。

分科	細目名	分科・細目コード	キーワード（記号）
	日本語学	3202	(1)音声・音韻、(2)文法、(3)語彙・意味、(4)文字、(5)文章・文体、(6)方言、(7)言語生活、(8)日本語史、(9)日本語学史
	英語学	3203	(1)音声・音韻、(2)文法、(3)語彙・意味、(4)文体、(5)英語史、(6)英語学史、(7)英語の多様性
	日本語教育	3204	(1)日本語教育制度・言語政策、(2)教師論・教室研究、(3)教授法・カリキュラム、(4)第二言語習得理論、(5)教育工学・教材・教育メディア、(6)母語保持・バイリンガル教育、(7)異文化理解・異文化間コミュニケーション、(8)日本事情、(9)日本語教育史、(10)教育評価・測定
	外国語教育	3205	(1)教授法・カリキュラム論 (2)教育工学・教材・教育メディア一般、(3)eラーニング・コンピュータ支援学習(CALL) (4)第二言語習得理論、(5)異文化間コミュニケーション・翻訳・通訳 (6)早期外国語教育、(7)外国語教育制度・言語政策、(8)外国語教育論・教育史、(9)教育評価・測定、(10)外国語教師養成
史学	史学一般	3301	(1)世界史、(2)交流史、(3)比較史、(4)比較文明論、(5)グローバル化、(6)環境史、(7)島嶼・海域史、(8)史料研究
	日本史	3302	(1)古代史、(2)中世史、(3)文化史、(4)宗教史、(5)農村史、(6)日本史一般、(7)交流史、(8)史料研究 (9)近世史、(10)近現代史、(11)地方史、(12)環境史、(13)災害史、(14)都市史
	アジア史・アフリカ史	3303	(1)中国古代・中近世史、(2)中国近現代史、(3)東アジア史、(4)東南アジア史、(5)オセアニア史、(6)南アジア史、(7)西アジア・イスラーム史、(8)中央ユーラシア史、(9)アフリカ史、(10)比較・交流史、(11)史料研究
	ヨーロッパ史・アメリカ史	3304	(1)ヨーロッパ古代史、(2)ヨーロッパ中世史、(3)西欧近現代史、(4)東欧近現代史、(5)南欧近現代史、(6)北欧近現代史、(7)南北アメリカ史、(8)比較・交流史、(9)史料研究
	考古学	3305	(1)考古学一般、(2)先史学、(3)歴史考古学、(4)日本考古学、(5)アジア考古学、(6)古代文明学、(7)物質文化学、(8)実験考古学、(9)埋蔵文化財研究、(10)情報考古学
人文地理学	人文地理学	3401	(1)地理思想・方法論、(2)経済・交通地理学、(3)政治・社会地理学、(4)文化地理学、(5)都市地理学、(6)農村地理学、(7)歴史地理学、(8)地域環境・災害、(9)地理教育、(10)地域計画・地域政策、(11)地誌学、(12)地理情報システム、(13)絵図・地図
文化人類学	文化人類学・民俗学	3501	(1)文化人類学、(2)民俗学、(3)民族学、(4)社会人類学、(5)比較民俗学、(6)物質文化、(7)先史・歴史、(8)芸能・芸術、(9)宗教・儀礼、(10)開発・援助、(11)医療、(12)移動・越境、(13)マイノリティー、(14)生態・環境、(15)メディア、(16)身体・スポーツ
法学	基礎法学	3601	(1)法哲学・法理学、(2)ローマ法、(3)法制史、(4)法社会学、(5)比較法、(6)外国法、(7)法政策学・立法学、(8)法と経済
	公法学	3602	(1)憲法、(2)行政法、(3)租税法、(4)国法学・憲法史、(5)憲法訴訟、(6)比較憲法・EU法、(7)行政組織法、(8)行政手続法、(9)行政救済法、(10)国際税法
	国際法学	3603	(1)国際公法、(2)国際私法、(3)国際人権・国籍法、(4)国際組織法、(5)国際経済法、(6)国際民事手続法、(7)国際取引法
	社会法学	3604	(1)労働法、(2)経済法、(3)社会保険法、(4)教育法
	刑事法学	3605	(1)刑法、(2)刑事訴訟法、(3)犯罪学、(4)刑事政策、(5)少年法、(6)法と心理
	民事法学	3606	(1)民法、(2)商法、(3)民事訴訟法、(4)会社法・企業組織法、(5)金融法、(6)証券法、(7)保険法、(8)倒産法、(9)紛争処理法制、(10)民事執行法
	新領域法学	3607	(1)環境法、(2)医事法、(3)情報・メディア法、(4)知的財産法、(5)法とジェンダー、(6)法学教育・法曹論・法教育、(7)法人・信託、(8)消費者法、(9)交通法、(10)土地法・住宅法、(11)司法制度論
政治学	政治学	3701	(1)政治理論、(2)政治学方法論、(3)西洋政治思想史、(4)日本・アジア政治思想史、(5)政治史、(6)日本政治史、(7)日本政治、(8)政治過程論、(9)選挙研究、(10)新制度論、(11)政治経済学、(12)行政学、(13)地方自治、(14)比較政治、(15)公共政策
	国際関係論	3702	(1)国際理論、(2)外交史・国際関係史、(3)対外政策論、(4)安全保障論、(5)非伝統的安全保障・人間の安全保障、(6)国際政治経済論、(7)国際レ짐論、(8)国際統合論、(9)国際協調論、(10)国際交流論、(11)トランスナショナル関係、(12)グローバル・イシュー、(13)東アジア国際関係、(14)国際協力論

## 「分科・細目表」付表キーワード表

このキーワードは、当該分科・細目の内容等を、申請者が理解しやすくするために例示として付したものであり、キーワードに掲げていない内容を当該分科・細目から排除するものではない。

分科	細目名	分科・細目コード	キーワード（記号）
経済学	理論経済学	3801	(1)ミクロ経済学、(2)マクロ経済学、(3)経済理論、(4)ゲーム理論、(5)行動経済学、(6)実験経済学、(7)進化経済学、(8)経済制度・体制論
	経済学説・経済思想	3802	(1)経済学説、(2)経済思想、(3)社会思想、(4)経済哲学
	経済統計	3803	(1)統計制度、(2)統計調査、(3)人口統計、(4)所得・資産分布、(5)国民経済計算、(6)計量経済学、(7)計量ファイナンス
	経済政策	3804	(1)国際経済学、(2)産業組織論、(3)経済発展論、(4)経済政策論、(5)都市経済学、(6)交通経済学、(7)地域経済学、(8)環境経済学、(9)資源経済学、(10)日本経済論、(11)経済事情
	財政・公共経済	3805	(1)財政学、(2)地方財政論、(3)公共経済学、(4)公共政策論、(5)医療経済学、(6)労働経済学、(7)社会保障論、(8)教育経済学、(9)法と経済学、(10)政治経済学
	金融・ファイナンス	3806	(1)金融論、(2)ファイナンス、(3)国際金融論、(4)企業金融、(5)保険論、(6)金融工学
	経済史	3807	(1)経済史、(2)経営史、(3)産業史
経営学	経営学	3901	(1)経営組織、(2)経営財務、(3)経営情報、(4)経営管理、(5)企業の社会的責任、(6)経営学説 (7)経営戦略、(8)国際経営、(9)技術経営、(10)ベンチャー企業、(11)人的資源管理
	商学	3902	(1)マーケティング、(2)消費者行動、(3)広告、(4)流通・ロジスティックス、(5)マーケティングリサーチ、(6)商業、(7)保険
	会計学	3903	(1)財務会計、(2)管理会計、(3)会計監査、(4)簿記、(5)国際会計、(6)税務会計、(7)公会計、(8)環境会計
社会学	社会学	4001	(1)社会哲学・社会思想、(2)社会学史、(3)社会学理論・社会学方法論、(4)社会システム、(5)社会調査法、(6)数理社会学、(7)相互行為・社会関係、(8)社会集団・社会組織、(9)制度・構造・社会変動、(10)知識・科学・技術、(11)政治・権力・国家、(12)階級・階層・社会移動 (13)家族・親族・人口、(14)地域社会・村落・都市、(15)産業・労働、(16)福祉社会学、(17)文化・宗教・社会意識、(18)コミュニケーション・情報・メディア、(19)ジェンダー、(20)教育・学校、(21)医療社会学・障害学、(22)社会問題・社会運動、(23)差別・排除、(24)環境・公害、(25)国際社会・エスニシティ、(26)身体・スポーツ、(27)自我・アイデンティティ
	社会福祉学	4002	(1)社会福祉原論・社会福祉思想、(2)社会福祉史、(3)社会保障・社会福祉政策、(4)福祉国家・福祉社会、(5)ソーシャルワーク、(6)貧困・公的扶助、(7)子ども福祉、(8)女性福祉、(9)障害(児)者福祉、(10)高齢者福祉、(11)家族福祉、(12)地域福祉、(13)精神保健福祉・医療福祉・介護福祉、(14)司法福祉・更生保護、(15)福祉マネジメント・権利擁護・評価、(16)国際福祉・福祉NGO、(17)ボランティア・福祉NPO、(18)社会福祉教育・実習
心理学	社会心理学	4101	(1)自己過程、(2)社会的認知・感情、(3)態度・信念、(4)社会的相互作用・対人関係、(5)対人コミュニケーション、(6)集団・リーダーシップ、(7)集合現象・社会現象、(8)産業・組織・人事、(9)文化、(10)社会問題、(11)環境・環境問題、(12)メディア・電子ネットワーク、(13)消費者行動
	教育心理学	4102	(1)発達、(2)親子関係、(3)発達障害、(4)パーソナリティ、(5)教授法・学習、(6)教育測定・評価、(7)教育相談、(8)対人関係・行動、(9)自己・個人内過程、(10)学校・学級・教師
	臨床心理学	4103	(1)心理的障害、(2)犯罪・非行、(3)心理アセスメント、(4)心理療法、(5)心理学的介入、(6)非言語コミュニケーション、(7)カウンセリング・学生相談、(8)心理面接過程、(9)事例研究、(10)セルフヘルプグループ、(11)セラピスト論、(12)地域援助、(13)健康心理学・健康開発、(14)心理リハビリテーション
	実験心理学	4104	(1)生理、(2)感覚・知覚・感性、(3)意識・認知・注意、(4)記憶、(5)感情・情動・動機付け、(6)思考・推論・言語、(7)学習・行動分析、(8)進化・発達・比較認知、(9)原理・歴史・心理学研究法
教育学	教育学	4201	(1)教育哲学、(2)教育思想、(3)教育史、(4)カリキュラム論、(5)学習指導論、(6)学力論、(7)教育方法、(8)教育評価、(9)教師教育 (10)教育行財政、(11)学校経営、(12)学校教育、(13)幼児教育・保育、(14)生涯学習、(15)社会教育、(16)家庭教育、(17)教育政策

## 「分科・細目表」付表キーワード表

このキーワードは、当該分科・細目の内容等を、申請者が理解しやすくするために例示として付したものであり、キーワードに掲げていない内容を当該分科・細目から排除するものではない。

分科	細目名	分科・細目コード	キーワード（記号）
	教育社会学	4202	(1)教育社会学、(2)教育経済学、(3)教育人類学、(4)教育政策、(5)比較教育、(6)人材開発・開発教育、(7)学校組織・学校文化、(8)教師・生徒文化、(9)青少年問題、(10)学力問題、(11)多文化教育、(12)ジェンダーと教育、(13)教育調査法、(14)教育情報システム
	教科教育学	4203	(1)各教科の教育（国語、算数・数学、理科、社会、地理・歴史、公民、生活、音楽、図画工作・美術工芸、家庭、技術、英語、情報）、(2)専門教科の教育（工業、商業、農業、水産、看護、福祉）
			(3)カリキュラム構成・開発、(4)教材開発、(5)教科外教育（総合的学習、道徳、特別活動）、(6)生活指導・生徒指導、(7)進路指導、(8)教員養成
特別支援教育	4204	(1)理念・思想・歴史、(2)制度・政策・行政、(3)心理学的臨床・実験、(4)アセスメント、(5)指導・支援・評価、(6)支援体制・コーディネーター、(7)コンサルテーション・カウンセリング、(8)家族・権利擁護、(9)共生社会・インクルージョン、(10)早期発見・早期支援、(11)通常学級・リソースルーム、(12)特別支援学校、(13)高等教育・キャリア教育、(14)発達障害・情緒障害、(15)知的障害、(16)視覚障害・聴覚障害・言語障害、(17)肢体不自由・病弱・身体虚弱、(18)学習困難・不適応・非行、(19)ギフテッド・才能	
ナノ・マイクロ科学	ナノ構造化学	4301	(1)ナノ構造化学、(2)ナノ構造作製、(3)クラスター・ナノ粒子、(4)フラージェン・ナノチューブ・グラフェン、(5)メソスコピック化学、(6)階層構造・超構造、(7)ナノ表面・界面、(8)自己組織化
	ナノ構造物理	4302	(1)ナノチューブ・グラフェン、(2)ナノ構造物性、(3)ナノ物性制御、(4)ナノマイクロ物理、(5)ナノプローブ、(6)量子情報、(7)量子効果、(8)量子ドット、(9)量子デバイス、(10)電子デバイス、(11)スピンドバイス、(12)ナノトライボロジー
	ナノ材料化学	4303	(1)ナノ材料創製、(2)ナノ材料解析・評価、(3)ナノ表面・界面、(4)ナノ機能材料、(5)ナノ構造形成・制御、(6)分子素子、(7)ナノ粒子、(8)フラージェン・ナノチューブ・グラフェン、(9)ナノカーボン材料、(10)1分子化学、(11)ナノ光デバイス、(12)分子デバイス
	ナノ材料工学	4304	(1)ナノ結晶材料・コンポジット、(2)ナノ粒子・ワイヤー・シート、(3)ナノドット・レイヤー、(4)ナノ欠陥制御、(5)ヘテロ・ホモ構造、(6)ナノ材料・創製プロセス、(7)ナノ加工・成形プロセス、(8)ナノカーボン応用、(9)ナノマイクロ構造解析・評価・試験法
	ナノバイオサイエンス	4305	(1)DNAデバイス、(2)ナノ合成、(3)分子マニピュレーション、(4)バイオチップ、(5)1分子生理・生化学、(6)1分子生体情報学、(7)1分子科学、(8)1分子イメージング・ナノ計測、(9)ゲノム工学
	ナノマイクロシステム	4306	(1)MEMS・NEMS、(2)ナノマイクロファブリケーション、(3)ナノマイクロ光デバイス、(4)ナノマイクロ化学システム、(5)ナノマイクロバイオシステム、(6)ナノマイクロメカニクス、(7)ナノマイクロセンサー
応用物理学	応用物性	4401	(1)磁性体、(2)超伝導体、(3)誘電体、(4)光物性、(5)微粒子、(6)有機分子、(7)液晶、(8)新機能材料、(9)スピントロニクス、(10)有機・分子エレクトロニクス、(11)バイオエレクトロニクス
	結晶工学	4402	(1)金属、(2)半導体、(3)非晶質、(4)微結晶、(5)セラミックス、(6)結晶成長、(7)エピタキシャル成長、(8)結晶評価、(9)ヘテロ構造、(10)電子・光機能
	薄膜・表面界面物性	4403	(1)強誘電体薄膜、(2)カーボン系薄膜、(3)酸化物エレクトロニクス、(4)薄膜新材料、(5)表面、(6)界面、(7)真空、(8)ビーム応用、(9)走査プローブ顕微鏡、(10)電子顕微鏡
	光工学・光量子科学	4404	(1)光学素子・装置・材料、(2)光情報処理、(3)視覚工学、(4)量子エレクトロニクス、(5)レーザー、(6)非線形光学、(7)量子光学、(8)フォトニック結晶、(9)光エレクトロニクス、(10)微小光学、(11)光計測、(12)光記録、(13)光制御、(14)光プロセッシング
	プラズマエレクトロニクス	4405	(1)プラズマ、(2)プラズマプロセス、(3)プラズマ応用、(4)反応性プラズマ、(5)プラズマ化学、(6)プラズマ処理、(7)プラズマ計測
	応用物理学一般	4406	(1)力、(2)熱、(3)音、(4)振動、(5)電磁気、(6)物理計測・制御、(7)標準、(8)センサー、(9)エネルギー変換、(10)放射線、(11)加速器
量子ビーム科学	量子ビーム科学	4501	(1)加速器要素技術開発、(2)量子ビーム測定手法、(3)データ処理・解析手法、(4)検出器、(5)量子ビーム産業応用、(6)量子ビーム医療応用、(7)小型量子ビーム発生技術、(8)レーザー、(9)X線、(10)ガンマ線、(11)放射光、(12)中性子、(13)ミュオン、(14)電子・陽電子、(15)ニュートリノ、(16)イオンビーム、(17)陽子ビーム、(18)その他の量子ビーム
計算科学	計算科学	4601	(1)数理工学(数理的解析・計画・設計・最適化)、(2)計算力学、(3)数値シミュレーション、(4)マルチスケール、(5)大規模計算、(6)超並列計算(並列化計算、3次元計算)、(7)数値計算手法、(8)先進アルゴリズム

## 「分科・細目表」付表キーワード表

このキーワードは、当該分科・細目の内容等を、申請者が理解しやすくするために例示として付したものであり、キーワードに掲げていない内容を当該分科・細目から排除するものではない。

分科	細目名	分科・細目コード	キーワード（記号）
数学	代数学	4701	(1)数論、(2)数論幾何学、(3)群論（含 群の表現論）、(4)代数的組み合わせ論
			(5)代数幾何、(6)環論（含 リー環）、(7)代数一般（含 代数解析、計算代数、代数学の応用）
	幾何学	4702	(1)リーマン幾何（含 幾何解析）、(2)シンプレクティック幾何（含 接触幾何）、(3)複素幾何、(4)微分幾何一般（含 種々の幾何構造、離散幾何）
			(5)位相幾何学（代数的位相幾何学、位相空間論）、(6)微分位相幾何（葉層構造、特異点、位相変換群）、(7)低次元トポロジー（結び目理論、3次元多様体論、4次元多様体論）
	解析学基礎	4703	(1)関数解析（含 作用素論・表現論）、(2)作用素環、(3)力学系・可積分系、(4)代数解析
数学解析	4704	(1)関数方程式、(2)応用解析、(3)非線形解析（含 変分解析・非線形現象）	
数学基礎・応用数学	4705	(1)数学基礎論、情報数理論、(2)離散数学	
		(3)数値解析・数理モデル（含 予測理論、最適化、データ解析）、(4)統計数学（含 ゲーム理論、実験計画法、凸計画問題、決定理論、推定論、検定論、確率過程の推測）、(5)応用数学一般	
天文学	天文学	4801	(1)光学赤外線天文学、(2)電波天文学、(3)太陽物理学、(4)位置天文学、(5)理論天文学、(6)X線γ線天文学
物理学	素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理（理論）	4901	(1)素粒子（理論）、(2)原子核（理論）、(3)宇宙線（理論）、(4)宇宙物理（理論）、(5)相対論・重力（理論）
	素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理（実験）	4902	(6)素粒子（実験）、(7)原子核（実験）、(8)宇宙線（実験）、(9)宇宙物理（実験）、(10)相対論・重力（実験）、(11)加速器、(12)粒子測定技術
	物性Ⅰ（理論）	4903	(1)半導体、(2)メソスコピック系・局在、(3)光物性、(4)表面・界面、(5)結晶成長、(6)誘電体、(7)格子欠陥、(8)X線・粒子線、(9)フォノン物性、(10)スピン物性（半導体）
	物性Ⅰ（実験）	4904	(1)半導体、(2)メソスコピック系・局在、(3)光物性、(4)表面・界面、(5)結晶成長、(6)誘電体、(7)格子欠陥、(8)X線・粒子線、(9)フォノン物性、(10)スピン物性（半導体）
	物性Ⅱ（理論）	4905	(1)磁性、(2)磁気共鳴、(3)強相関係、(4)高温超伝導、(5)金属、(6)超低温・量子凝縮系、(7)超伝導・密度波、(8)分子性固体・有機導体
	物性Ⅱ（実験）	4906	(1)磁性、(2)磁気共鳴、(3)強相関係、(4)高温超伝導、(5)金属、(6)超低温・量子凝縮系、(7)超伝導・密度波、(8)分子性固体・有機導体
	数理物理・物性基礎（理論）	4907	(1)統計物理学、(2)物性基礎論、(3)数理物理、(4)可積分系、(5)非平衡・非線形物理学、(6)応用数学、(7)力学、(8)流体物理、(9)不規則系、(10)計算物理学
	数理物理・物性基礎（実験）	4908	(1)統計物理学、(2)物性基礎論、(3)数理物理、(4)可積分系、(5)非平衡・非線形物理学、(6)応用数学、(7)力学、(8)流体物理、(9)不規則系、(10)計算物理学
	原子・分子・量子エレクトロニクス	4909	(1)原子・分子、(2)量子エレクトロニクス、(3)量子情報、(4)放射線、(5)ビーム物理
	生物物理・化学物理・ソフトマターの物理	4910	(1)生命現象の物理、(2)生体物質の物理、(3)数理生物学、(4)ガラス・液体・溶液、(5)光応答・光合成・化学反応、(6)高分子・液晶・ゲル、(7)エマルジョン・膜・コロイド、(8)界面・ぬれ・接着・破壊、(9)生物物理一般、(10)化学物理一般、(11)ソフトマターの物理一般
地球惑星科学	固体地球惑星物理学	5001	(1)地震現象、(2)火山現象、(3)地震発生予測・火山噴火予測、(4)地震災害・火山災害、(5)地殻変動・海底変動、(6)地磁気、(7)重力、(8)テクトニクス、(9)内部構造、(10)内部ダイナミクス・物性、(11)固体惑星・衛星・小惑星、(12)惑星形成・進化、(13)固体惑星探査、(14)観測手法
	気象・海洋物理・陸水学	5002	(1)気象、(2)気候、(3)惑星大気、(4)大気海洋相互作用、(5)地球流体力学、(6)海洋物理、(7)地球環境システム、(8)陸域水循環・物質循環、(9)水収支
	超高層物理学	5003	(1)地球惑星磁気圏、(2)地磁気変動、(3)地球惑星電離圏、(4)地球惑星上層大気、(5)オーロラ・磁気嵐、(6)太陽風・惑星間空間、(7)太陽地球システム・宇宙天気、(8)宇宙プラズマ・プラズマ波動、(9)惑星プラズマ・大気探査
	地質学	5004	(1)地域地質、(2)海洋地質、(3)付加体・造山帯、(4)構造地質・テクトニクス、(5)火山・活断層・災害地質、(6)環境・水理地質、(7)第四紀学、(8)応用・都市地質、(9)堆積・燃料地質、(10)地球史・惑星地質、(11)情報地質、(12)地学史
	層位・古生物学	5005	(1)層序、(2)化石、(3)系統・進化・多様性、(4)機能・形態、(5)古生態、(6)古生物地理、(7)古環境、(8)古海洋
	岩石・鉱物・鉱床学	5006	(1)地球惑星物質、(2)地球惑星進化、(3)地殻・マントル・核、(4)マグマ・火成岩、(5)変成岩、(6)鉱物物理、(7)天然・人工結晶、(8)元素分別濃集過程、(9)鉱床形成、(10)鉱物資源、(11)生体・環境鉱物

## 「分科・細目表」付表キーワード表

このキーワードは、当該分科・細目の内容等を、申請者が理解しやすくするために例示として付したものであり、キーワードに掲げていない内容を当該分科・細目から排除するものではない。

分科	細目名	分科・細目コード	キーワード（記号）
	地球宇宙化学	5007	(1)地球宇宙物質、(2)物質循環、(3)元素・分子分布、(4)同位体・放射年代、(5)宇宙・惑星化学、(6)地殻・マントル化学、(7)有機地球化学、(8)生物圏地球化学、(9)大気圏・水圏化学、(10)環境化学・地球環境化学、(11)計測手法
プラズマ科学	プラズマ科学	5101	(1)基礎・放電プラズマ、(2)宇宙・天体プラズマ、(3)核燃焼プラズマ、(4)高エネルギー密度科学、(5)複合プラズマ、(6)反応性プラズマ、(7)プラズマ化学、(8)プラズマ応用、(9)プラズマ計測、(10)プラズマ制御・レーザー、(11)プラズマ粒子加速、(12)電子ビーム・イオンビームへの応用、(13)ミリ波・テラヘルツ波への応用
基礎化学	物理化学	5201	(1)構造化学、(2)電子状態、(3)分子動力学、(4)化学反応、(5)反応動力学、(6)分子分光、(7)表面・界面、(8)溶液、(9)クラスター、(10)理論化学、(11)生物物理化学
	有機化学	5202	(1)構造有機化学、(2)反応有機化学、(3)有機合成化学、(4)有機元素化学、(5)有機光化学、(6)物理有機化学、(7)理論有機化学
	無機化学	5203	(1)金属錯体化学、(2)有機金属化学、(3)無機固体化学、(4)生物無機化学、(5)核・放射化学、(6)超分子錯体、(7)多核・クラスター錯体、(8)配位高分子、(9)溶液化学、(10)ナノマテリアル、(11)結晶構造、(12)触媒、(13)元素資源
複合化学	機能物性化学	5301	(1)光物性、(2)電子物性、(3)スピン、(4)複合物性、(5)分子素子、(6)超分子、(7)液晶、(8)結晶、(9)薄膜、(10)表面・界面、(11)コロイド・量子ドット、(12)電気化学
	合成化学	5302	(1)選択的合成、(2)錯体・有機金属触媒、(3)ファインケミカルズ、(4)不斉合成、(5)触媒設計・反応、(6)環境調和型合成、(7)反応場、(8)自動合成、(9)生体模倣合成、(10)コンビナトリアル合成、(11)有機分子触媒、(12)天然物合成、(13)合成関連資源
	高分子化学	5303	(1)高分子合成、(2)高分子反応・分解、(3)不斉重合、(4)自己組織化高分子、(5)高分子構造、(6)高分子物性、(7)機能性高分子、(8)生体関連高分子、(9)高分子錯体、(10)高分子薄膜・表面、(11)重合触媒、(12)高分子資源
	分析化学	5304	(1)サンプリング・前処理、(2)溶媒・固相抽出、(3)機器分析、(4)スペクトル分析、(5)レーザー分光、(6)質量分析、(7)X線・電子分光、(8)界面・微粒子分析、(9)電気化学分析、(10)化学・バイオセンサー、(11)分離分析、(12)クロマトグラフィー、(13)電気泳動分析、(14)流れ分析(FIA)、(15)マイクロ流路分析、(16)分析試薬、(17)環境分析、(18)有機・高分子分析、(19)バイオ分析
	生体関連化学	5305	(1)核酸関連化学、(2)タンパク質・酵素化学、(3)糖質関連化学・糖鎖工学、(4)天然物有機化学、(5)生物無機化学、(6)生体関連反応、(7)分子認識、(8)生体機能化学、(9)バイオテクノロジー、(10)生体触媒、(11)生体機能材料、(12)生体構造化学
	グリーン・環境化学	5306	(1)環境計測、(2)センサー・モニタリング、(3)汚染物質評価、(4)汚染指標物質、(5)環境評価、(6)環境情報化学、(7)汚染物質、(8)汚染除去材料、(9)環境負荷低減物質、(10)生分解性物質、(11)環境修復材料、(12)グリーンケミストリー、(13)サステナブルケミストリー、(14)リサイクル、(15)元素回収、(16)安全化学、(17)資源分析
	エネルギー関連化学	5307	(1)エネルギー変換、(2)低炭素化学、(3)高機能触媒、(4)光触媒、(5)分子素子材料、(6)エネルギー資源、(7)省エネルギー化学
材料化学	有機・ハイブリッド材料	5401	(1)液晶、(2)結晶、(3)有機半導体材料、(4)有機光学材料、(5)有機無機ハイブリッド材料、(6)分子素子材料、(7)機能材料
	高分子・繊維材料	5402	(1)高分子材料物性、(2)高分子材料合成、(3)繊維材料、(4)ゴム材料、(5)ゲル、(6)高分子機能材料、(7)天然・生体高分子材料、(8)ポリマーアロイ、(9)高分子系複合材料、(10)高分子・繊維加工
	無機工業材料	5403	(1)結晶、(2)ガラス、(3)セラミックス、(4)金属材料、(5)層状・層間化合物、(6)イオン交換体、(7)イオン伝導体、(8)光触媒、(9)高機能触媒、(10)電気化学材料、(11)ナノ粒子・量子ドット、(12)多孔体
	デバイス関連化学	5404	(1)半導体デバイス、(2)電気・磁気・光デバイス、(3)生体機能応用デバイス、(4)電池、(5)分子センサー
機械工学	機械材料・材料力学	5501	(1)材料設計・プロセス・物性・評価、(2)連続体力学、(3)構造力学、(4)損傷力学、(5)破壊、(6)疲労、(7)環境強度、(8)信頼性設計、(9)生体力学、(10)ナノマイクロ材料力学、(11)バイオ材料力学
	生産工学・加工学	5502	(1)生産モデリング、(2)生産システム、(3)生産管理、(4)工程設計、(5)工作機械、(6)成形加工、(7)切削・研削加工、(8)特殊加工、(9)超精密加工、(10)ナノマイクロ加工、(11)精密位置決め・加工計測

**「分科・細目表」付表キーワード表**

このキーワードは、当該分科・細目の内容等を、申請者が理解しやすくするために例示として付したものであり、キーワードに掲げていない内容を当該分科・細目から排除するものではない。

分科	細目名	分科・細目コード	キーワード（記号）
	設計工学・機械機能要素・トライボロジー	5503	(1)設計工学、(2)形状モデリング、(3)CAD・CAM・CAE、(4)創造工学、(5)機構学、(6)機械要素、(7)機能要素、(8)故障診断、(9)安全・安心設計、(10)ライフサイクル設計、(11)リサイクル設計、(12)トライボロジー、(13)ナノマイクロトライボロジー
	流体工学	5504	(1)数値流体力学、(2)流体計測、(3)圧縮・非圧縮流、(4)乱流、(5)混相流、(6)反応流、(7)非ニュートン流、(8)マイクロ流、(9)分子流体力学、(10)バイオ流体力学、(11)環境流体力学、(12)音響、(13)流体機械、(14)油空圧機器
	熱工学	5505	(1)熱物性、(2)対流、(3)伝導、(4)輻射、(5)物質輸送、(6)燃焼、(7)ナノマイクロ熱工学、(8)熱機関、(9)冷凍・空調、(10)伝熱機器、(11)エネルギー工学、(12)バイオ熱工学
	機械力学・制御	5506	(1)運動力学、(2)動的設計、(3)振動学、(4)振動解析・試験、(5)制御機器、(6)モーションコントロール、(7)振動制御、(8)機械計測、(9)耐震・免震設計、(10)交通機械制御、(11)音響情報・制御、(12)音響エネルギー
	知能機械学・機械システム	5507	(1)ロボティクス、(2)メカトロニクス、(3)ナノマイクロメカトロニクス、(4)バイオメカニクス、(5)ソフトメカニクス、(6)情報機器・知能機械システム、(7)精密機械システム、(8)人間機械システム、(9)情報システム
電気電子工学	電力工学・電力変換・電気機器	5601	(1)電気エネルギー工学(発生・変換・貯蔵・省エネルギーなど)、(2)電力系統工学、(3)電気機器、(4)パワーエレクトロニクス、(5)電気有効利用、(6)電気・電磁環境、(7)照明
	電子・電気材料工学	5602	(1)電気・電子材料(半導体、誘電体、磁性体、超誘電体、有機物、絶縁体、超伝導体など)、(2)薄膜・量子構造、(3)厚膜、(4)作成・評価技術
	電子デバイス・電子機器	5603	(1)電子デバイス・集積回路、(2)回路設計・CAD、(3)光デバイス・光回路、(4)量子デバイス・スピンドデバイス、(5)マイクロ波・ミリ波・テラヘルツ波、(6)波動利用工学、(7)バイオデバイス、(8)記憶・記録、(9)表示、(10)センシングデバイス、(11)微細プロセス技術、(12)インターコネク・パッケージのシステム化・応用
	通信・ネットワーク工学	5604	(1)電子回路網、(2)非線形理論・回路、(3)情報理論、(4)信号処理、(5)通信方式(無線、有線、衛星、光、移動)、(6)変復調、(7)符号化、(8)プロトコル、(9)アンテナ、(10)中継・交換、(11)ネットワーク・LAN、(12)マルチメディア、(13)暗号・セキュリティ
	計測工学	5605	(1)計測理論、(2)計測機器、(3)計測システム、(4)信号処理、(5)センシング情報処理
	制御・システム工学	5606	(1)制御理論、(2)システム理論、(3)知識型制御、(4)制御機器、(5)制御システム、(6)複雑系、(7)システム情報(知識)処理、(8)社会システム工学、(9)経営システム工学、(10)環境システム工学、(11)生産システム工学、(12)バイオシステム工学
土木工学	土木材料・施工・建設マネジメント	5701	(1)コンクリート、(2)鋼材、(3)高分子材料、(4)複合材料・新材料、(5)木材、(6)施工、(7)舗装・瀝青材料、(8)維持・管理、(9)建設事業計画・設計、(10)建設マネジメント、(11)地下空間、(12)土木情報学
	構造工学・地震工学・維持管理工学	5702	(1)応用力学、(2)構造工学、(3)鋼構造、(4)コンクリート構造、(5)複合構造、(6)風工学、(7)地震工学、(8)耐震構造、(9)地震防災、(10)維持管理工学
	地盤工学	5703	(1)土質力学、(2)基礎工学、(3)岩盤工学、(4)土木地質、(5)地盤の挙動、(6)地盤と構造物、(7)地盤防災、(8)地盤環境工学、(9)トンネル工学
	水工学	5704	(1)水理学、(2)環境水理学、(3)水文学、(4)河川工学、(5)水資源工学、(6)海岸工学、(7)港湾工学、(8)海洋工学
	土木計画学・交通工学	5705	(1)土木計画、(2)地域都市計画、(3)国土計画、(4)防災計画・環境計画、(5)交通計画、(6)交通工学、(7)鉄道工学、(8)測量・リモートセンシング、(9)景観・デザイン、(10)土木史
	土木環境システム	5706	(1)環境計画・管理、(2)環境システム、(3)環境保全、(4)用排水システム、(5)廃棄物、(6)土壌・水環境、(7)大気循環・騒音振動、(8)環境生態
建築学	建築構造・材料	5801	(1)荷重論、(2)構造解析、(3)構造設計、(4)コンクリート構造、(5)鋼構造、(6)木構造、(7)合成構造、(8)基礎構造、(9)構造材料、(10)建築工法、(11)保全技術、(12)地震防災、(13)構造制御、(14)耐震設計、(15)耐風設計
	建築環境・設備	5802	(1)音・振動環境、(2)光環境、(3)熱環境、(4)空気環境、(5)環境設備計画、(6)環境心理生理、(7)建築設備、(8)火災工学、(9)地球・都市環境、(10)環境設計
	都市計画・建築計画	5803	(1)計画論、(2)設計論、(3)住宅論、(4)各種建物・地域施設、(5)都市・地域計画、(6)行政・制度、(7)建築・都市経済、(8)生産管理、(9)防災計画、(10)景観・環境計画
	建築史・意匠	5804	(1)建築史、(2)都市史、(3)建築論、(4)意匠、(5)様式、(6)景観・環境、(7)保存・再生
材料工学	金属物性・材料	5901	(1)電子・磁気物性、(2)力学・熱・光物性、(3)界面・薄膜物性、(4)磁性・電子・情報材料、(5)超伝導・半導体材料、(6)アモルファス・金属ガラス・準結晶、(7)第一原理計算・材料設計シミュレーション、(8)原子・電子構造評価、(9)拡散・相変態・状態図

**「分科・細目表」付表キーワード表**

このキーワードは、当該分科・細目の内容等を、申請者が理解しやすくするために例示として付したものであり、キーワードに掲げていない内容を当該分科・細目から排除するものではない。

分科	細目名	分科・細目コード	キーワード（記号）
	無機材料・物性	5902	(1)結晶構造・組織制御、(2)力学・電子・電磁・光・熱物性、(3)表界面制御、(4)機能性セラミックス材料、(5)機能性ガラス材料、(6)構造用セラミックス材料、(7)カーボン材料、(8)誘電体、(9)無機材料創成・合成プロセス
	複合材料・表界面工学	5903	(1)機能性複合材料、(2)構造用複合材料、(3)ハイブリッド・スマート・生体材料、(4)表界面・粒界制御、(5)プラズマ処理・レーザー加工・表面処理、(6)耐久性・環境劣化・モニタリング・評価、(7)接合・接着・溶接、(8)易リサイクル接合・複合、(9)設計・作製プロセス・加工、(10)複合高分子
	構造・機能材料	5904	(1)強度・破壊靱性、(2)信頼性、(3)エネルギー材料、(4)燃料電池・電池材料、(5)センサー・光機能材料、(6)生体・医療・福祉材料、(7)多機能材料、(8)社会基盤構造材料、(9)機能性高分子材料
	材料加工・組織制御工学	5905	(1)塑性加工・成形、(2)加工・熱処理、(3)精密・特殊加工プロセス、(4)結晶・組織制御、(5)電気化学プロセス、(6)粉末プロセス・粉末冶金、(7)薄膜プロセス・めっき・配線、(8)電極触媒・作用
	金属・資源生産工学	5906	(1)反応・分離・精製、(2)融体・凝固、(3)鋳造、(4)結晶育成・成長、(5)各種製造プロセス、(6)エコマテリアル化・省エネルギープロセス、(7)希少資源代替プロセス・ユビキタス化、(8)環境浄化・低負荷・環境調和、(9)リサイクル・循環・再利用・変換、(10)資源分離・保障・確保
	プロセス・化学工学	化工物性・移動操作・単位操作	6001
反応工学・プロセスシステム		6002	(1)気・液・固・超臨界流体反応操作、(2)新規反応場、(3)反応速度、(4)反応機構、(5)反応装置、(6)材料合成プロセス、(7)重合プロセス、(8)計測、(9)センサー、(10)プロセス制御、(11)プロセスシステム設計、(12)プロセス情報処理、(13)プロセス運転・設備管理
触媒・資源化学プロセス		6003	(1)触媒反応、(2)触媒調製化学、(3)触媒機能解析、(4)エネルギー変換プロセス、(5)化石燃料有効利用技術、(6)資源・エネルギー有効利用技術、(7)省資源・省エネルギー技術、(8)燃焼技術
生物機能・バイオプロセス		6004	(1)生体触媒工学、(2)生物機能工学、(3)食品工学、(4)医用化学工学、(5)バイオ生産プロセス、(6)生物環境プロセス、(7)マイクロ・ナノバイオプロセス、(8)応用生物電気化学、(9)バイオリクター、(10)バイオセンサー、(11)バイオセパレーション、(12)バイオリファイナリー、(13)生物情報工学
総合工学	航空宇宙工学	6101	(1)航空宇宙流体力学、(2)構造・材料、(3)振動・強度、(4)誘導・航法・制御、(5)推進・エンジン、(6)飛行力学、(7)航空宇宙システム、(8)設計・計装、(9)特殊航空機、(10)宇宙利用・探査、(11)航空宇宙環境
	船舶海洋工学	6102	(1)推進・運動性能、(2)材料・構造力学、(3)船舶海洋流体力学、(4)計画・設計・生産システム、(5)建造・艦装、(6)海上輸送システム、(7)船用機関・燃料、(8)海洋環境、(9)海洋資源・エネルギー、(10)海洋探査・機器、(11)海中・海底工学、(12)極地工学、(13)海事システム
	地球・資源システム工学	6103	(1)応用地質、(2)地殻工学、(3)リモートセンシング、(4)地球計測、(5)地球システム、(6)資源探査、(7)資源開発、(8)資源評価、(9)資源処理、(10)廃棄物地下保存・処分、(11)地層汚染修復、(12)深地層開発、(13)素材資源、(14)再生可能資源・エネルギー、(15)資源経済
	核融合学	6104	(1)炉心プラズマ、(2)周辺・ダイバータプラズマ、(3)プラズマ計測、(4)核融合理論・シミュレーション、(5)プラズマ・壁相互作用、(6)プラズマ対向機器・加熱機器、(7)燃料・ブランケット、(8)低放射化材料、(9)電磁・マグネット、(10)慣性核融合、(11)核融合システム工学、(12)安全・生物影響・社会環境
	原子力学	6105	(1)放射線工学・ビーム科学、(2)炉物理・核データ、(3)原子力計測・放射線物理、(4)熱流動、(5)構造、(6)システム設計・安全工学、(7)原子力材料・核燃料、(8)同位体・放射線化学、(9)燃料サイクル、(10)バックエンド、(11)新型原子炉、(12)保健物理・環境安全、(13)原子力社会環境
	エネルギー学	6106	(1)エネルギー生成・変換、(2)エネルギー輸送・貯蔵、(3)エネルギー節約・効率利用、(4)エネルギーシステム、(5)環境調和、(6)自然エネルギーの利用
神経科学	神経生理学・神経科学一般	6201	(1)分子・細胞神経科学、(2)発生・発達・再生神経科学、(3)神経内分泌学、(4)臨床神経科学、(5)神経情報処理、(6)行動神経科学、(7)計算論的神経科学、(8)システム神経生理学、(9)体性・内臓・特殊感覚
	神経解剖学・神経病理学	6202	[神経解剖学] (1)神経回路網、(2)神経組織学、(3)分子神経生物学、(4)神経微細形態学、(5)神経組織細胞化学、(6)神経発生・分化・異常、(7)神経再生・神経可塑性、(8)神経実験形態学、(9)脳画像解剖学、(10)神経細胞学 [神経病理学] (1)神経細胞病理学、(2)分子神経病理学、(3)神経変性疾患、(4)脳発達障害・代謝性疾患、(5)認知症患者、(6)脳循環障害、(7)脳腫瘍、(8)脊髄・末梢神経・筋肉疾患

## 「分科・細目表」付表キーワード表

このキーワードは、当該分科・細目の内容等を、申請者が理解しやすくするために例示として付したものであり、キーワードに掲げていない内容を当該分科・細目から排除するものではない。

分科	細目名	分科・細目コード	キーワード（記号）
	神経化学・神経薬理学	6203	(1)分子・細胞・神経生物学、(2)発生・分化・老化、(3)神経伝達物質・受容体、(4)細胞内情報伝達、(5)グリア細胞、(6)精神・神経疾患の病態と治療、(7)幹細胞生物学・再生・修復、(8)神経可塑性、(9)中枢・末梢神経薬理学、(10)神経創薬、(11)神経ゲノム科学
実験動物学	実験動物学	6301	(1)環境・施設、(2)感染症、(3)凍結保存、(4)安全性、(5)疾患モデル、(6)育種遺伝、(7)発生工学、(8)実験動物福祉、(9)動物実験技術、(10)リサーチバイオリソース、(11)評価技術
腫瘍学	腫瘍生物学	6401	(1)ゲノム不安定性、(2)エピジェネティクス、(3)がんゲノム解析、(4)発がん、(5)炎症とがん、(6)実験動物モデル、(7)遺伝子改変動物、(8)がん遺伝子、(9)がん制御遺伝子、(10)シグナル伝達、(11)DNA複製、(12)細胞周期、(13)がん遺伝、(14)アポトーシス、(15)細胞極性、(16)細胞接着・運動、(17)浸潤・転移、(18)がん細胞の特性、(19)がん微小環境、(20)血管新生、(21)リンパ管新生、(22)幹細胞、(23)細胞老化、(24)細胞不死化 (25)疫学研究、(26)バイオバンク、(27)遺伝子環境交互作用、(28)予防介入研究、(29)化学予防、(30)がん研究と社会の接点
	腫瘍診断学	6402	(1)ゲノム解析、(2)プロテオミクス解析、(3)発現解析、(4)がんの個性診断、(5)オーダーメイド治療、(6)薬効評価と予測、(7)バイオマーカー、(8)腫瘍マーカー、(9)分子イメージング、(10)エピゲノム、(11)miRNA、(12)機能性RNA
	腫瘍治療学	6403	(1)抗がん物質探索・ケミカルバイオロジー、(2)化学療法、(3)分子標的治療、(4)内分泌療法、(5)ドラッグデリバリー、(6)物理療法、(7)遺伝子治療、(8)核酸治療、(9)細胞療法、(10)液性免疫、(11)細胞免疫、(12)抗体療法、(13)免疫療法、(14)ワクチン療法、(15)細胞免疫療法、(16)サイトカイン、(17)免疫抑制、(18)免疫活性化
ゲノム科学	ゲノム生物学	6501	(1)ゲノム構造多様性、(2)動物ゲノム、(3)植物ゲノム、(4)微生物ゲノム、(5)メタゲノム、(6)オルガネラゲノム、(7)ゲノム進化、(8)ゲノム構築、(9)ゲノム維持修復、(10)ゲノム機能発現、(11)遺伝子発現調節、(12)トランスクリプトーム、(13)プロテオーム、(14)メタボローム、(15)エピゲノム、(16)比較ゲノム、(17)生物多様性
	ゲノム医科学	6502	(1)疾患関連遺伝子、(2)個別化医療、(3)遺伝子診断、(4)ヒトゲノム構造多様性、(5)ゲノム創薬、(6)再生医療、(7)ゲノムワイド関連解析、(8)ヒトゲノム配列再解析、(9)疾患モデル生物ゲノム、(10)疾患エピゲノミクス、(11)ヒト集団遺伝学、(12)遺伝統計学、(13)メディカルインフォマティクス、(14)ヒト・動物細菌叢
	システムゲノム科学	6503	(1)遺伝子ネットワーク、(2)蛋白質ネットワーク、(3)代謝ネットワーク、(4)発生分化、(5)合成生物学、(6)データベース生物学、(7)バイオデータベース、(8)モデル化とシミュレーション、(9)バイオインフォマティクス、(10)ゲノム解析技術、(11)機能性RNA、(12)エピゲノム制御、(13)ゲノム生物工学、(14)遺伝子資源
生物資源保全学	生物資源保全学	6601	(1)保全生物、(2)生物多様性保全、(3)系統生物保全、(4)遺伝子資源保全、(5)生態系保全、(6)在来種保全、(7)微生物保全、(8)細胞・組織・種子保存
生物科学	分子生物学	6701	(1)染色体構築・機能・分配、(2)エピジェネティクス、(3)クロマチン動態、(4)DNA複製、(5)DNA損傷・修復、(6)組換え、(7)転写・転写調節、(8)転写後調節、(9)RNA、(10)翻訳、(11)翻訳後修飾、(12)超分子複合体
	構造生物化学	6702	(1)糖質、(2)脂質、(3)核酸、(4)タンパク質、(5)酵素、(6)遺伝子及び染色体、(7)生体膜及び受容体、(8)細胞間マトリックス、(9)細胞小器官、(10)翻訳後修飾、(11)分子認識及び相互作用、(12)変性とフォールディング、(13)立体構造解析及び予測、(14)NMR、(15)質量分析、(16)X線結晶解析、(17)高分解能電子顕微鏡解析
	機能生物化学	6703	(1)酵素の触媒機構、(2)酵素の調節、(3)遺伝子の情報発現と複製、(4)生体エネルギー変換、(5)金属タンパク質、(6)生体微量元素、(7)ホルモンと生理活性物質、(8)細胞情報伝達機構、(9)膜輸送と輸送タンパク質、(10)細胞内タンパク質分解、(11)細胞骨格、(12)免疫生化学、(13)糖鎖生物学、(14)生物電気化学
	生物物理学	6704	(1)タンパク質・核酸の構造・動態・機能、(2)運動・輸送、(3)生体膜・受容体・チャンネル、(4)光生物、(5)細胞情報・動態、(6)脳・神経系の情報処理、(7)理論生物学・バイオインフォマティクス、(8)構造生物学、(9)フォールディング、(10)構造・機能予測、(11)1分子計測・操作、(12)バイオイメージング、(13)非平衡・複雑系
	細胞生物学	6705	(1)細胞構造・機能、(2)生体膜、(3)細胞骨格・運動、(4)細胞内情報伝達、(5)細胞間情報伝達、(6)細胞周期、(7)細胞質分裂、(8)核構造・機能、(9)細胞間相互作用・細胞外マトリックス、(10)タンパク質分解、(11)クロマチン、(12)オルガネラ形成・動態
	発生生物学	6706	(1)細胞分化、(2)幹細胞、(3)胚葉形成・原腸形成、(4)器官形成、(5)受精、(6)生殖細胞、(7)遺伝子発現調節、(8)発生遺伝、(9)進化発生

「分科・細目表」付表キーワード表

このキーワードは、当該分科・細目の内容等を、申請者が理解しやすくするために例示として付したものであり、キーワードに掲げていない内容を当該分科・細目から排除するものではない。

分科	細目名	分科・細目コード	キーワード（記号）
基礎生物学	植物分子・生理科学	6801	(1)色素体機能・光合成、(2)植物ホルモン・成長生理・全能性、(3)オルガネラ・細胞壁、(4)環境応答、(5)植物微生物相互作用・共生、(6)代謝生理、(7)植物分子機能
	形態・構造	6802	(1)動物形態、(2)植物形態、(3)微生物・藻類形態、(4)比較内分泌、(5)分子形態学、(6)形態形成・シミュレーション、(7)組織構築、(8)微細構造、(9)顕微鏡技術・イメージング
	動物生理・行動	6803	(1)代謝生理、(2)神経生物、(3)神経行動、(4)行動生理、(5)動物生理化学
	遺伝・染色体動態	6804	(1)細胞遺伝、(2)集団遺伝、(3)進化遺伝、(4)人類遺伝、(5)遺伝的多様性、(6)発生遺伝、(7)行動遺伝、(8)変異誘発、(9)染色体再編・維持、(10)モデル生物開発、(11)トランスポゾン、(12)QTL解析、(13)エピジェネティクス
	進化生物学	6805	(1)生命起源、(2)真核生物起源、(3)オルガネラ起源、(4)多細胞起源、(5)分子進化、(6)形態進化、(7)機能進化、(8)遺伝子進化、(9)進化生物学一般、(10)比較ゲノム、(11)実験進化学
	生物多様性・分類	6806	(1)分類群、(2)分類体系、(3)進化、(4)遺伝的多様性、(5)集団・種多様性、(6)群集・生態系多様性、(7)分類群質、(8)系統、(9)種分化、(10)自然史、(11)博物館
	生態・環境	6807	(1)個体群、(2)生物社会、(3)種間関係、(4)群集、(5)生態系、(6)進化生態、(7)行動生態、(8)自然環境、(9)生理生態、(10)分子生態、(11)保全生態学
人類学	自然人類学	6901	(1)形態、(2)先史・年代測定、(3)生体機構、(4)分子・遺伝、(5)生態、(6)霊長類、(7)進化、(8)成長・老化、(9)社会、(10)行動・認知、(11)生殖・発生、(12)骨考古学、(13)地理的多様性
	応用人類学	6902	(1)生理人類学、(2)人間工学、(3)生理的多型性、(4)環境適応能、(5)全身の協同、(6)機能的潜在性、(7)テクノ・アダプタビリティ、(8)ソマトメトリー、(9)被服、(10)生体・適応、(11)体質・健康、(12)法医学人類学、(13)医療人類学
生産環境農学	遺伝育種科学	7001	(1)遺伝子発現制御・エピゲノム、(2)遺伝子ネットワーク、(3)オミクス解析、(4)トランスポゾン、(5)オルガネラ、(6)生長・発生遺伝、(7)ゲノム・染色体解析、(8)生殖・雑種・倍数性、(9)環境ストレス、(10)生物学的ストレス、(11)収量・バイオマス、(12)加工適性・成分育種、(13)遺伝育種リソース・多様性、(14)遺伝子地図・QTL解析、(15)遺伝子導入・変異作出、(16)ゲノム育種・マーカー育種、(17)育種理論・インフォマティクス、(18)有用遺伝子組換え植物作出・アセスメント
	作物生産科学	7002	(1)食用作物、(2)工芸作物、(3)飼料・草地利用作物、(4)バイオ燃料植物、(5)資源植物、(6)栽培・作付体系、(7)農作業体系、(8)作物品質・食味、(9)雑草科学、(10)雑草制御、(11)アレロケミカル、(12)有機農業、(13)環境調和型作物生産、(14)ファイトレメディエーション、(15)休耕地管理、(16)地力維持・増強、(17)ストレス応答反応、(18)生育環境・気候変動、(19)生育予測・モデル
	園芸科学	7003	(1)果樹、(2)野菜、(3)観賞・景観環境植物、(4)植物生産管理技術、(5)組換え遺伝子・遺伝子解析技術、(6)園芸ゲノム科学・バイオインフォマティクス、(7)受粉受精・胚発生、(8)果実発育・成熟、(9)生育障害・生理障害、(10)植物成長調節物質、(11)色素芳香成分・機能性成分、(12)環境応答・環境調節、(13)施設園芸・植物工場、(14)ポストハーベスト・青果物加工技術、(15)種苗種子生産・繁殖、(16)資源植物開発利用、(17)生体計測・園芸ロボティクス、(18)園芸福祉・園芸療法
	植物保護科学	7004	(1)植物病原体、(2)線虫・寄生性高等植物、(3)ゲノム、(4)系統分類・進化、(5)病原性、(6)抵抗性、(7)病害発生、(8)病害診断、(9)同定、(10)病害防除・治療、(11)伝染・生態・媒介、(12)宿主特異性、(13)植物感染生理、(14)植物-病原体相互作用、(15)植物生理病、(16)ポストハーベスト病害、(17)抵抗性育種、(18)RNAサイレンシング、(19)内生菌・共生菌 (20)化学農薬・生物農薬、(21)薬剤耐性・除草剤耐性、(22)農薬障害、(23)植物成長調整剤・プラントアクチベーター、(24)天然生理活性物質、(25)病害虫管理、(26)ダニ・線虫管理、(27)雑草管理、(28)外来植物、(29)アレロパシー、(30)総合的病害虫管理（IPM）、(31)媒介昆虫、(32)害虫個体群、(33)天敵、(34)侵入病害虫、(35)昆虫分類、(36)発生予察、(37)鳥獣管理、(38)環境ストレス応答・耐性、(39)植物生育環境、(40)耕種の防除・物理的防除、(41)病害虫抵抗性作物、(42)植物傷害応答、(43)植物-昆虫相互作用
農芸化学	植物栄養学・土壌学	7101	(1)植物成長・生理、(2)植物栄養代謝、(3)植物代謝調節、(4)植物分子生理学、(5)肥料、(6)土壌生成・分類、(7)土壌物理、(8)土壌化学、(9)土壌生物、(10)土壌環境、(11)土壌生態学、(12)土壌肥沃度、(13)土壌汚染防除
	応用微生物学	7102	(1)微生物分類、(2)発酵生産、(3)微生物生理、(4)微生物遺伝・育種、(5)微生物酵素、(6)微生物代謝、(7)微生物機能、(8)微生物利用学、(9)環境微生物、(10)二次代謝産物生産、(11)微生物生態学、(12)微生物制御学、(13)遺伝子資源、(14)遺伝子発現、(15)代謝制御、(16)環境・細胞応答、(17)微生物ゲノム

「分科・細目表」付表キーワード表

このキーワードは、当該分科・細目の内容等を、申請者が理解しやすくするために例示として付したものであり、キーワードに掲げていない内容を当該分科・細目から排除するものではない。

分科	細目名	分科・細目コード	キーワード（記号）
	応用生物化学	7103	(1)動物生化学、(2)植物生化学、(3)酵素利用学、(4)遺伝子工学、(5)タンパク質工学、(6)構造生物学、(7)生物工学、(8)代謝工学、(9)酵素化学、(10)糖質・脂質科学、(11)細胞・組織培養、(12)代謝生理、(13)遺伝子発現、(14)物質生産、(15)細胞応答、(16)情報伝達、(17)微量元素
	生物有機化学	7104	(1)生物活性物質、(2)細胞機能調節物質、(3)農業科学、(4)植物成長調節物質、(5)情報分子、(6)生合成、(7)天然物化学、(8)ケミカルバイオロジー、(9)物理化学、(10)分析化学、(11)有機合成化学、(12)生物制御化学、(13)分子認識、(14)構造活性相関
	食品科学	7105	(1)食品化学、(2)食品生化学、(3)食品機能、(4)栄養化学、(5)栄養生化学、(6)分子栄養学、(7)ニュートリゲノミクス (8)食品物理学、(9)食品分析、(10)食品工学、(11)食品製造・加工、(12)食品貯蔵、(13)食品安全性
森林圏科学	森林科学	7201	(1)生態・生物多様性、(2)遺伝・育種、(3)生理、(4)分類、(5)立地・気象、(6)造林、(7)病理・微生物、(8)昆虫・動物、(9)計画・管理、(10)政策・経済、(11)持続的林業、(12)作業システム・林道・機械、(13)治山・砂防・緑化、(14)水資源・水循環、(15)物質循環・フラックス、(16)気候変動・炭素収支、(17)バイオマス、(18)景観生態・風致・緑地管理、(19)環境教育・森林教育
	木質科学	7202	(1)組織構造、(2)材質・物性、(3)セルロース・ヘミセルロース、(4)リグニン、(5)抽出成分・生理活性成分、(6)微生物、(7)きのこ・木材腐朽菌、(8)化学加工・接着、(9)保存・文化財、(10)乾燥、(11)機械加工、(12)木質材料、(13)強度・木質構造、(14)居住性、(15)林産教育、(16)木質バイオマス、(17)紙パルプ
水圏応用科学	水圏生産科学	7301	(1)水圏環境、(2)生物環境、(3)環境保全、(4)水質・底質、(5)海洋・物質循環、(6)藻場・干潟、(7)修復・再生、(8)環境微生物、(9)プランクトン、(10)ネクトン、(11)ベントス、(12)赤潮、(13)環境毒性、(14)水圏生態システム、(15)温暖化、(16)生物多様性、(17)リモートセンシング (18)分類・形態、(19)生態・行動、(20)バイオロギング、(21)資源・資源管理、(22)漁業、(23)増養殖、(24)水産動物、(25)水産植物、(26)遺伝・育種、(27)魚病・水族病理、(28)水産工学、(29)漁村社会・水産政策、(30)水産経済・経営・流通、(31)水産教育、(32)水産開発
	水圏生命科学	7302	(1)発生、(2)生理、(3)免疫・生体防御、(4)代謝・酵素、(5)水族栄養、(6)生化学、(7)分子生物学、(8)マリネゲノム、(9)遺伝子資源、(10)生物工学、(11)微生物機能、(12)糖鎖生物学、(13)ケミカルバイオロジー、(14)バイオミメティクス、(15)生物活性物質、(16)天然物化学、(17)生体高分子、(18)分析化学、(19)水産食品化学、(20)機能性食品、(21)水産食品加工・貯蔵、(22)食品微生物、(23)食品衛生、(24)自然毒、(25)食品安全性、(26)ゼロエミッション、(27)水圏バイオマス利用、(28)バイオエネルギー
社会経済農学	経営・経済農学	7401	(1)食料自給・食料安全保障、(2)食料経済、(3)農漁村経済・計画、(4)農業関連産業、(5)食農環境経済、(6)食料政策、(7)農林水産業政策、(8)国際食料経済・貿易、(9)農林水産投資・金融、(10)農畜水産物・食品流通、(11)フードシステム、(12)食の安全・リスク管理、(13)農林水産業経営、(14)農林水産技術・知識評価、(15)経営管理・診断・計画、(16)土地利用、(17)農の付加価値化、(18)マーケティング、(19)経営倫理・CSR、(20)集落営農、(21)農林水産業支援組織、(22)経営主体、(23)食農情報システム、(24)企業の農業参入、(25)農業普及
	社会・開発農学	7402	(1)農村社会、(2)農村生活、(3)地産地消、(4)食農教育、(5)農村リーダー・NPO、(6)都市農村交流、(7)女性の農業・社会参画、(8)農社会と文化、(9)農業・農村の多面的機能、(10)農史・農法比較、(11)農思想・倫理、(12)国際農業、(13)国際農漁村開発、(14)開発プロジェクトマネジメント、(15)技術の普及と移転、(16)食遷移、(17)コモンズ
農業工学	地域環境工学・計画学	7501	(1)農業水利・灌漑排水、(2)農地整備・保全、(3)農村計画、(4)農村環境、(5)地域景観・生態系、(6)地域振興・持続可能性、(7)物質エネルギー循環・管理、(8)水資源、(9)自然エネルギー、(10)地域ガバナンス、(11)地域防災、(12)土壌環境保全、(13)農業施設・ストックマネジメント、(14)農村道路、(15)集落排水、(16)国際農業農村開発、(17)水理、(18)水文・気象、(19)水・水環境、(20)土壌物理、(21)土質力学、(22)応用力学、(23)材料・設計・施工
	農業環境・情報工学	7502	(1)生物生産システム、(2)生物生産機械、(3)施設園芸・植物工場、(4)生物環境調節、(5)バイオプロセス、(6)農業生産環境、(7)農業気象・微気象、(8)気象災害、(9)地球環境・温暖化影響、(10)環境改善・緑化、(11)再生可能エネルギー、(12)農作業技術管理、(13)農業労働科学、(14)ポストハーベスト工学、(15)流通管理、(16)生体計測、(17)細胞計測、(18)非破壊計測、(19)画像計測、(20)環境ストレス応答、(21)バイオセンシング、(22)画像情報処理・画像認識、(23)アグリバイオインフォマティクス、(24)リモートセンシング、(25)地理情報システム、(26)モデリング・シミュレーション、(27)コンピュータネットワーク・ICT、(28)農業ロボティクス、(29)精密農業、(30)生物環境情報、(31)農業情報、(32)農作業情報

## 「分科・細目表」付表キーワード表

このキーワードは、当該分科・細目の内容等を、申請者が理解しやすくするために例示として付したものであり、キーワードに掲げていない内容を当該分科・細目から排除するものではない。

分科	細目名	分科・細目コード	キーワード（記号）
動物生命科学	動物生産科学	7601	(1)育種、(2)繁殖、(3)栄養・飼養、(4)飼料、(5)代謝・内分泌制御
			(6)家畜衛生、(7)動物管理・福祉、(8)環境、(9)施設・生産システム、(10)草地、(11)放牧、(12)畜産物、(13)糞尿処理、(14)畜産バイオマス、(15)畜産経営、(16)畜産物流通
	獣医学	7602	(1)病理、(2)病態、(3)薬理、(4)トキシコロジー、(5)病原微生物、(6)人獣共通感染症、(7)寄生虫、(8)獣医公衆衛生、(9)防疫、(10)疫学 (11)内科、(12)外科、(13)臨床繁殖・産科、(14)診断・検査、(15)臨床病理、(16)治療・看護、(17)疾病予防・制御、(18)麻酔・鎮痛、(19)放射線科学、(20)動物福祉・倫理
統合動物科学	7603	(1)生理、(2)組織、(3)解剖、(4)内分泌、(5)細胞機能、(6)免疫、(7)生体防御、(8)遺伝、(9)エピジェネティクス、(10)ゲノム、(11)発生・分化、(12)生体情報、(13)生態、(14)行動、(15)心理 (16)遺伝子工学、(17)細胞工学、(18)発生工学、(19)幹細胞、(20)再生医療、(21)イメージング、(22)野生動物、(23)実験動物、(24)疾患モデル動物、(25)コンパニオンアニマル、(26)動物介在療法、(27)バイオリソース、(28)生物多様性	
境界農学	昆虫科学	7701	(1)昆虫機能利用・有用物質生産、(2)養蚕・蚕糸、(3)昆虫病理、(4)昆虫病原微生物・ウイルス、(5)昆虫生態、(6)昆虫生理生化学、(7)昆虫分子生物学、(8)昆虫行動、(9)昆虫個体群・群集、(10)昆虫進化・系統分類、(11)昆虫遺伝・ゲノム、(12)昆虫発生・生殖、(13)生活史・季節適応、(14)化学生態学、(15)化学的・物理的交信、(16)寄生・共生、(17)クモ・ダニ・線虫、(18)養蜂、(19)ポリネーション、(20)社会性昆虫、(21)昆虫ミメティクス
	環境農学(含ランドスケープ科学)	7702	(1)バイオマス、(2)生物環境、(3)遺伝資源、(4)生物多様性、(5)環境分析、(6)環境修復、(7)環境浄化、(8)水域汚染、(9)環境適応、(10)生態系サービス、(11)資源環境バランス、(12)資源循環システム、(13)環境価値評価、(14)低炭素社会、(15)LCA、(16)環境調和型農業、(17)流域管理、(18)陸海域の統合農学、(19)地域農学 (20)ランドスケープデザイン、(21)造園、(22)緑地計画、(23)景観形成・保全、(24)文化的景観、(25)自然環境保全・自然再生、(26)都市環境デザイン、(27)自然環境影響評価、(28)生物生息空間、(29)生態系機能、(30)景観生態、(31)都市農地、(32)公園管理・緑地環境管理、(33)都市公園・防災公園、(34)自然公園、(35)環境緑化学、(36)都市緑化植物、(37)観光・グリーンツーリズム・レクリエーション、(38)参加型まちづくり、(39)CSRと緑化
	応用分子細胞生物学	7703	(1)細胞生物学、(2)染色体工学、(3)糖鎖工学、(4)オルガネラ工学、(5)細胞・組織工学、(6)エピジェネティクス、(7)発現制御、(8)発生・分化制御、(9)細胞間相互作用、(10)分子間相互作用、(11)生物間相互作用、(12)バイオセンサー、(13)細胞機能、(14)分子情報、(15)機能分子設計、(16)プロテオーム、(17)メタボローム、(18)物質生産、(19)培養工学、(20)バイオリジクス
薬学	化学系薬学	7801	(1)有機化学、(2)合成化学、(3)生体関連物質、(4)天然物化学、(5)有機反応学、(6)ヘテロ環化学、(7)不斉合成
	物理系薬学	7802	(1)物理化学、(2)分析化学、(3)製剤学、(4)生物物理化学、(5)同位体薬品化学、(6)生命錯体化学、(7)分子構造学、(8)構造生物学、(9)イメージング、(10)ドラッグデリバリー、(11)情報科学
	生物系薬学	7803	(1)生化学、(2)分子生物学、(3)免疫学、(4)細胞生物学、(5)発生生物学、(6)ゲノム機能学、(7)生理化学、(8)内分泌学
	薬理系薬学	7804	(1)薬理学、(2)薬効解析学、(3)神経生物学、(4)薬物治療学、(5)細胞情報伝達学、(6)毒性・医薬品安全性学、(7)システム薬理学、(8)ゲノム薬理学
	天然資源系薬学	7805	(1)生薬学、(2)薬用資源学、(3)天然薬物学、(4)漢方・和漢薬、(5)伝統医薬、(6)生合成、(7)抗生物質・微生物薬品学、(8)天然活性物質、(9)薬用食品学
	創薬化学	7806	(1)医薬品化学、(2)医薬分子設計、(3)医薬品探索、(4)医薬分子機能学、(5)ゲノム創薬、(6)レギュラトリーサイエンス、(7)ケミカルバイオリジック、(8)バイオ医薬品
	環境・衛生系薬学	7807	(1)環境衛生学、(2)環境化学、(3)環境動態学、(4)食品衛生学、(5)栄養化学、(6)微生物・感染症学、(7)中毒学、(8)環境毒性学、(9)化粧品科学、(10)衛生試験
	医療系薬学	7808	(1)薬物動態学、(2)薬物代謝学、(3)薬物輸送担体、(4)薬物動態・代謝スクリーニング系、(5)ヒトの薬物動態・代謝予測系、(6)臨床化学、(7)個別医療 (8)臨床薬学、(9)医療薬理学、(10)医薬品情報・安全性学、(11)薬剤経済学、(12)社会薬学、(13)病院薬学・保険薬局管理学、(14)医療薬学教育学

「分科・細目表」付表キーワード表

このキーワードは、当該分科・細目の内容等を、申請者が理解しやすくするために例示として付したものであり、キーワードに掲げていない内容を当該分科・細目から排除するものではない。

分科	細目名	分科・細目コード	キーワード（記号）
基礎医学	解剖学一般（含組織学・発生学）	7901	(1)肉眼解剖学、(2)機能解剖学、(3)臨床解剖学、(4)比較解剖学、(5)画像解剖学、(6)発生学・形態形成学、(7)先天異常学・奇形学、(8)実験形態学、(9)解剖学教育 (10)細胞学、(11)組織学、(12)細胞分化・組織形成、(13)細胞機能形態学、(14)細胞微細形態学、(15)分子形態学、(16)細胞組織化学、(17)顕微鏡技術
	生理学一般	7902	(1)分子・細胞生理学、(2)生体膜・チャネル・トランスポーター・能動輸送、(3)受容体・細胞内シグナル伝達、(4)刺激分泌連関、(5)上皮機能、(6)遺伝・受精・発生・分化、(7)細胞増殖・細胞死、(8)細胞運動・形態形成・細胞間相互作用、(9)微小循環・末梢循環・循環力学・循環調節、(10)換気力学・血液ガス・呼吸調節、(11)消化管運動・消化吸収、(12)腎・体液・酸塩基平衡、(13)血液凝固・血液レオロジー、(14)病態生理、(15)システム生理・フィジオーム、(16)比較生理学・発達生理学・ゲノム生理学、(17)筋肉生理学
	環境生理学（含体力医学・栄養生理学）	7903	(1)環境生理学、(2)体力医学、(3)栄養生理学、(4)適応・協同生理学、(5)生体リズム、(6)発達・成長・老化、(7)ストレス、(8)宇宙医学、(9)行動生理学、(10)生物時計、(11)温熱生理学、(12)摂食調節、(13)睡眠・覚醒、(14)生殖生理学
	薬理学一般	7904	(1)腎臓、(2)骨格筋・平滑筋、(3)消化器、(4)炎症・免疫、(5)生理活性物質、(6)中枢・末梢神経、(7)脊髄・痛み、(8)受容体・チャネル・輸送系・シグナル情報伝達系、(9)心血管・血液、(10)創薬・ゲノム薬理学、(11)薬物治療・トキシコロジー、(12)生薬・天然物薬理学
	医化学一般	7905	(1)生体分子医学、(2)細胞医化学、(3)ゲノム医化学、(4)発生医学、(5)再生医学、(6)加齢医学、(7)高次生命医学、(8)細胞内シグナル伝達
	病態医化学	7906	(1)代謝異常学、(2)分子病態学、(3)分子遺伝子診断学、(4)分子腫瘍学、(5)分子病態栄養学
	人類遺伝学	7907	(1)ゲノム医科学、(2)分子遺伝学、(3)細胞遺伝学、(4)遺伝生化学、(5)遺伝疫学、(6)遺伝診断学、(7)遺伝子治療学、(8)社会遺伝学、(9)エピジェネティクス
	人体病理学	7908	(1)消化器・唾液腺、(2)泌尿生殖器・内分泌
			(3)脳・神経、(4)呼吸器・縦隔、(5)循環器、(6)骨・関節・筋肉・皮膚・感覚器、(7)血液
			(8)診断病理学、(9)細胞診断学、(10)遺伝子病理診断学、(11)免疫病理診断学、(12)環境病理、(13)移植病理
	実験病理学	7909	(1)細胞傷害、(2)腫瘍、(3)遺伝性疾患、(4)環境、(5)再生医学
			(6)炎症、(7)循環障害、(8)免疫、(9)感染症、(10)代謝異常、(11)小児病理、(12)疾患モデル動物
	寄生虫学（含衛生動物学）	7910	(1)蠕虫、(2)原虫、(3)媒介節足動物、(4)病害動物、(5)国際医療、(6)分子・細胞、(7)発生・遺伝、(8)疫学、(9)診断・治療、(10)感染防御・制御
	細菌学（含真菌学）	7911	(1)遺伝・ゲノム情報、(2)構造・生理、(3)分類、(4)病原性、(5)毒素・エフェクター、(6)薬剤耐性、(7)疫学、(8)診断・治療、(9)感染防御・制御
ウイルス学	7912	(1)分子・構造、(2)細胞・複製、(3)個体・病態、(4)疫学、(5)診断・治療、(6)感染防御・制御、(7)プリオン	
免疫学	7913	(1)サイトカイン、(2)免疫シグナル伝達、(3)抗体・補体、(4)自然免疫、(5)獲得免疫、(6)粘膜免疫、(7)免疫記憶、(8)免疫寛容・自己免疫、(9)免疫監視・腫瘍免疫、(10)免疫不全、(11)アレルギー・免疫関連疾患、(12)感染免疫、(13)炎症、(14)免疫制御・移植免疫	
境界医学	医療社会学	8001	(1)バイオエシックス、(2)医歯薬学教育、(3)医学史、(4)医療経済学、(5)医療行動学
	応用薬理学	8002	(1)臨床薬理学、(2)臨床試験・倫理、(3)薬物治療学、(4)医薬品副作用・薬物相互作用、(5)薬物輸送学、(6)ファーマコゲノミクス、(7)同位体医療薬学、(8)機器医療薬学、(9)薬物代謝酵素・トランスポーター、(10)イメージング、(11)ヒト組織利用研究、(12)薬物依存・薬剤感受性、(13)遺伝子診断・治療、(14)ドラッグデリバリー、(15)薬剤疫学
	病態検査学	8003	(1)臨床検査医学、(2)臨床病理学、(3)臨床化学、(4)免疫血清学、(5)臨床検査システム (6)遺伝子検査学、(7)臨床微生物学、(8)腫瘍検査学、(9)臨床血液学、(10)生理機能検査学

## 「分科・細目表」付表キーワード表

このキーワードは、当該分科・細目の内容等を、申請者が理解しやすくするために例示として付したものであり、キーワードに掲げていない内容を当該分科・細目から排除するものではない。

分科	細目名	分科・細目コード	キーワード（記号）
	疼痛学	8004	(1)疼痛の評価法、(2)疼痛の疫学、(3)鎮痛薬、(4)疼痛の非薬物治療、(5)発痛物質、(6)疼痛の発生・増強機序、(7)疼痛の神経機構、(8)痛覚過敏、(9)疼痛の遺伝的要因、(10)疼痛の発達・加齢要因、(11)疼痛の性差、(12)疼痛反射、(13)しびれ、(14)侵害受容器、(15)組織障害性疼痛、(16)神経障害性疼痛、(17)精神・心理的疼痛、(18)痒み評価法、(19)痒みの疫学、(20)鎮痒薬、(21)起痒物質、(22)痒みの発生・増強機序、(23)痒みの神経機構、(24)搔破行動、(25)痒み過敏、(26)精神・心理的痒み、(27)痒みの発達・加齢要因
	医学物理学・放射線技術学	8005	(1)医用物理学、(2)放射線技術科学、(3)放射線技術工学、(4)放射線診断技術学、(5)放射線治療技術学、(6)核医学物理学、(7)医用画像物理工学、(8)医用画像情報学、(9)放射線測定学、(10)粒子線治療学、(11)加速器工学、(12)放射線防護学
社会医学	疫学・予防医学	8101	(1)臨床疫学、(2)臨床試験、(3)環境疫学、(4)分子遺伝疫学
			(5)疫学、(6)予防医学、(7)健康診断、(8)検診、(9)臨床統計学、(10)集団検診、(11)健康管理、(12)健康増進
	衛生学・公衆衛生学	8102	(1)分子予防、(2)分子疫学、(3)食品衛生、(4)環境保健、(5)産業保健、(6)環境毒性学
			(7)地域保健、(8)地域医療、(9)母子保健、(10)成人保健、(11)高齢者保健、(12)国際保健、(13)保健医療行政、(14)保健医療政策、(15)介護福祉
	病院・医療管理学	8103	(1)病院管理学、(2)医療管理学、(3)医療情報学、(4)医療の質、(5)診療録管理、(6)リスクマネジメント、(7)院内感染管理、(8)クリティカルパス
法医学	8104	(1)法医学、(2)法医鑑定学、(3)アルコール医学、(4)法歯学、(5)DNA多型医学、(6)法医病理学	
内科系臨床医学	内科学一般（含心身医学）	8201	(1)心療内科学、(2)ストレス科学、(3)東洋医学、(4)代替医療、(5)緩和医療、(6)総合診療、(7)プライマリーケア、(8)老年医学
	消化器内科学	8202	(1)上部消化管学(食道、胃、十二指腸)
			(2)下部消化管学(小腸、大腸)
			(3)肝臓学
			(4)胆道学、膵臓学
			(5)消化器内視鏡学
	循環器内科学	8203	(1)臨床心臓学
			(2)臨床血管学
			(3)分子心臓学
			(4)分子血管学
呼吸器内科学	8204	(1)臨床呼吸器学	
		(2)分子細胞呼吸器学	
腎臓内科学	8205	(1)腎臓学	
		(2)高血圧学、(3)水・電解質代謝学、(4)人工透析学	
神経内科学	8206	(1)神経分子病態学	
		(2)神経病態免疫学、(3)臨床神経分子遺伝学	
		(4)臨床神経生理学、(5)臨床神経形態学、(6)臨床神経心理学、(7)神経機能画像学	
内科系臨床医学	代謝学	8207	(1)エネルギー・糖質代謝異常 (2)メタボリックシンドローム、(3)脂質代謝異常、(4)プリン代謝異常、(5)骨・カルシウム代謝異常、(6)電解質代謝異常
	内分泌学	8208	(1)内分泌学、(2)生殖内分泌学
	血液内科学	8209	(1)血液内科学、(2)血栓・止血学、(3)輸血学
(4)血液腫瘍学			
(5)造血幹細胞移植学、(6)血液免疫学、(7)免疫制御学			

## 「分科・細目表」付表キーワード表

このキーワードは、当該分科・細目の内容等を、申請者が理解しやすくするために例示として付したものであり、キーワードに掲げていない内容を当該分科・細目から排除するものではない。

分科	細目名	分科・細目コード	キーワード（記号）		
	膠原病・アレルギー内科学	8210	(1)膠原病学、(2)リウマチ学 (3)アレルギー学、(4)臨床免疫学、(5)炎症学		
	感染症内科学	8211	(1)感染症診断学、(2)感染症治療学、(3)感染症防御学、(4)国際感染症学、(5)感染症学、(6)日和見感染症		
	小児科学	8212	(1)発達小児科学、(2)成育医学、(3)小児代謝・栄養学、(4)遺伝・先天異常学、(5)小児保健学、(6)小児社会医学 (7)小児神経学、(8)小児内分泌学、 (9)小児血液学、(10)小児腫瘍学、(11)小児免疫・アレルギー・膠原病学、(12)小児感染症学 (13)小児循環器学、(14)小児呼吸器学、(15)小児腎・泌尿器学、(16)小児消化器病学		
			胎児・新生児医学	8213	(1)出生前診断、(2)胎児医学、(3)先天異常学、(4)新生児医学、(5)未熟児医学
			皮膚科学	8214	(1)皮膚診断学、(2)皮膚病態学、(3)皮膚生理・生物学、(4)レーザー・光生物学 (5)皮膚腫瘍学、(6)色素細胞学、(7)皮膚免疫・炎症学、(8)皮膚感染症、(9)皮膚再生学、(10)皮膚遺伝学
	精神神経科学	8215	(1)精神薬理学、(2)臨床精神分子遺伝学 (3)精神生理学、(4)精神病理学、(5)老年精神医学 (6)社会精神医学、(7)児童・思春期精神医学、(8)司法精神医学、(9)神経心理学、(10)リエゾン精神医学、(11)精神科リハビリテーション医学		
			放射線科学	8216	(1)画像診断学(含放射線診断学)、(2)エックス線・CT、(3)超音波診断学、(4)放射性医薬品・造影剤 (5)核磁気共鳴画像(MRI)、(6)放射線防護・管理学、(7)医用画像工学 (8)核医学(PETを含む)、(9)インターベンショナルラジオロジー(IVR)、(10)血管形成術・骨形成術・血管塞栓術、(11)ラジオ波治療・ステント治療・リザーバー治療、(12)温熱治療学、(13)超音波治療学、(14)被ばく医療、(15)医学放射線生物学 (16)放射線治療学、(17)放射線腫瘍学、(18)放射線治療物理学、(19)放射線治療生物学、(20)粒子線治療
	外科系臨床医学	外科学一般	8301	(1)外科総論、(2)移植外科学、(3)人工臓器学、(4)内視鏡外科学、(5)ロボット外科学 (6)実験外科学、(7)内分泌外科学、(8)乳腺外科学、(9)代謝栄養外科学	
		消化器外科学	8302	(1)食道外科学、(2)胃十二指腸外科学 (3)小腸大腸肛門外科学 (4)肝臓外科学、(5)脾門脈外科学 (6)胆道外科学、(7)膵臓外科学	
				心臓血管外科学	8303
呼吸器外科学				8304	(1)肺外科 (2)気管外科、(3)縦隔外科、(4)胸膜外科、(5)胸壁外科
脳神経外科学		8305	(1)頭部外傷学、(2)脳血管障害学、(3)脳血管内外科学、(4)実験脳外科学 (5)脳腫瘍学 (6)神経画像診断学、(7)機能脳神経外科学、(8)小児脳神経外科学、(9)脊髄・脊椎疾患学、(10)脳外科手術機器学、(11)放射線脳外科学		
整形外科学		8306	(1)脊椎脊髄病学、(2)筋・神経病学、(3)理学療法・リハビリテーション学 (4)骨・軟部腫瘍学、(5)四肢機能再建学、(6)小児運動器学、(7)運動器外傷学 (8)関節病学、(9)リウマチ病学、(10)骨・軟骨代謝学、(11)スポーツ医学		
			麻酔科学	8307	(1)麻酔学、(2)麻酔蘇生学 (3)周術期管理学 (4)疼痛管理学

## 「分科・細目表」付表キーワード表

このキーワードは、当該分科・細目の内容等を、申請者が理解しやすくするために例示として付したものであり、キーワードに掲げていない内容を当該分科・細目から排除するものではない。

分科	細目名	分科・細目コード	キーワード（記号）		
	泌尿器科学	8308	(1)腫瘍学 (2)排尿機能学、(3)結石症学、(4)感染症学、(5)再生医学、(6)奇形学 (7)副腎外科学、(8)腎移植、(9)アンドロロジー		
	産婦人科学	8309	(1)産科学、(2)生殖医学 (3)婦人科学、(4)婦人科腫瘍学、(5)更年期医学		
	耳鼻咽喉科学	8310	(1)耳科学、(2)平衡科学、(3)聴覚医学 (4)鼻科学、(5)アレルギー学、(6)頭蓋底外科学 (7)口腔咽頭科学、(8)喉頭科学、(9)気管食道科学、(10)頭頸部外科学		
	眼科学	8311	(1)臨床研究、(2)疫学研究、(3)社会医学 (4)眼生化学・分子生物学、(5)眼細胞生物学、(6)眼遺伝学、(7)眼組織学、(8)眼病理学 (9)眼薬理学、(10)眼生理学、(11)眼発生・再生医学、(12)眼免疫学、(13)眼微生物学・感染症学、(14)視能矯正学、(15)眼光学、(16)眼医工学		
	小児外科学	8312	(1)小児消化器疾患学、(2)胎児手術学、(3)小児泌尿器科学、(4)小児呼吸器外科学、(5)小児腫瘍学		
	形成外科学	8313	(1)再建外科学、(2)創傷治癒学、(3)マイクロサージェリー学、(4)組織培養・移植学、(5)再生医学		
	救急医学	8314	(1)集中治療医学、(2)外傷外科学、(3)救急蘇生学、(4)急性中毒学、(5)災害医学		
歯学	形態系基礎歯科学	8401	(1)口腔解剖学(含組織学・発生学)、(2)口腔病理学、(3)口腔細菌学		
	機能系基礎歯科学	8402	(1)口腔生理学、(2)口腔生化学、(3)歯科薬理学		
	病態科学系歯学・歯科放射線学	8403	(1)実験腫瘍学、(2)免疫・感染・炎症、(3)歯科放射線学一般、(4)歯科放射線診断学		
	保存治療系歯学	8404	(1)保存修復学、(2)歯内治療学		
	補綴・理工系歯学	8405	(1)歯科補綴学一般、(2)有床義歯補綴学、(3)冠橋義歯補綴学、(4)顎顔面補綴学 (5)顎口腔機能学、(6)歯科理工学、(7)歯科材料学		
	歯科医用工学・再生歯学	8406	(1)生体材料学、(2)再生歯学、(3)歯科インプラント学		
	外科系歯学	8407	(1)口腔外科学一般 (2)臨床腫瘍学 (3)歯科麻酔学、(4)病態検査学、(5)口腔顎顔面再建外科学		
			(1)歯科矯正学 (2)小児歯科学、(3)小児口腔保健学、(4)顎口腔機能機構学		
	矯正・小児系歯学	8408	(1)歯科矯正学 (2)小児歯科学、(3)小児口腔保健学、(4)顎口腔機能機構学		
	歯周治療系歯学	8409	(1)歯周病態・診断学、(2)歯周治療学、(3)歯周再生医学、(4)歯周予防学		
社会系歯学	8410	(1)口腔衛生学(含公衆衛生学・栄養学)、(2)予防歯科学、(3)歯科医療管理学 (4)歯科法医学、(5)老年歯科学、(6)歯科心身医学、(7)歯学教育学			
看護学	基礎看護学	8501	(1)看護哲学、(2)看護倫理学、(3)看護技術、(4)看護の歴史 (5)看護教育学 (6)看護管理学、(7)看護政策・行政、(8)災害看護		
			臨床看護学	8502	(1)重篤・救急看護学、(2)周手術期看護学、(3)慢性病看護学 (4)リハビリテーション看護学、(5)ターミナルケア、(6)がん看護学
					生涯発達看護学
	高齢看護学	8504	(1)老年看護学、(2)リハビリテーション看護学 (3)精神看護学、(4)在宅看護、(5)訪問看護、(6)家族看護学		
			地域看護学	8505	(1)地域看護学、(2)産業看護 (3)公衆衛生看護学、(4)学校看護